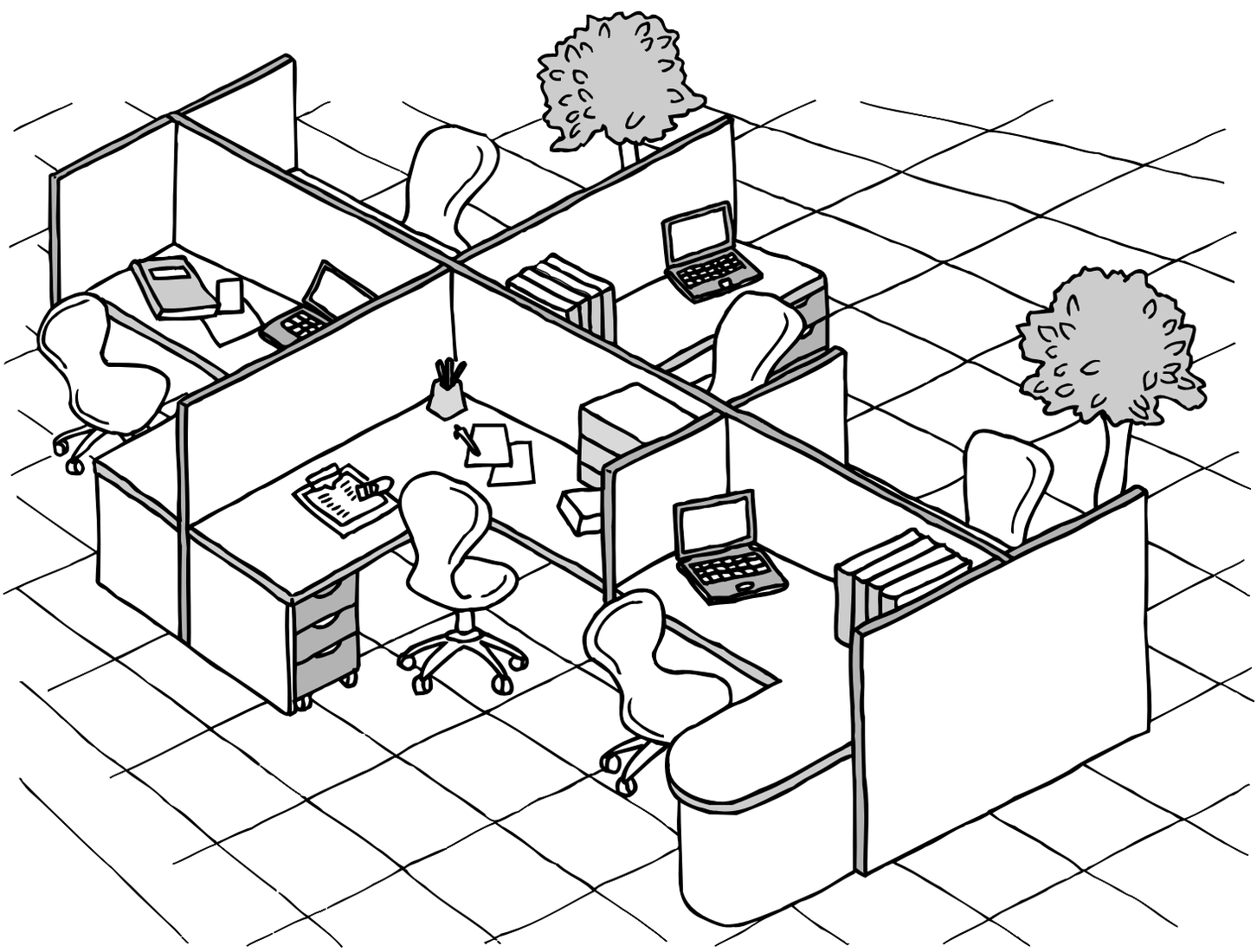
Panasonic

インターネットFAXユニット

取扱説明書

品番 UE-404083



WORKIO

このたびはパナソニックレーザー普通紙ファクシミリをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

上手に使って上手に節電

本取扱説明書は、インターネットFAX ユニットについて説明しております。
安全に正しくお使いいただくために、本体取扱説明書と合わせてご覧ください。
また本書は従来の一般加入回線等での通信に加え、LAN システムを使用したインターネット通信が可能なインターネットファクスについての取扱説明書です。
※ ネットワークとの接続および使用に際しては、本製品以外にソフトウェアおよびLAN 伝送路用品が必要です。

● Microsoft®、Windows®、Outlook®、Windows ロゴは、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

●日本語変換はオムロンソフトウェア（株）のモバイル Wnn を使用しています。
“Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE,Co.Ltd. 1999 All Rights Reserved.

もくじ

お使いになるまえに

安全上のご注意 **6**
取扱上のお願い **11**
インターネットに接続するための事前準備 **13**
■ SMTP 転送としての設定 14
■ POP クライアントとしての設定 15
■ 記載内容説明 17
インターネット通信について **18**
インターネット通信の基本機能 **18**
■ インターネットファクス通信 18
■ インターネットメール受信 18
■ ルーティング 19
■ メモリー転送 19
■ ネットワークスキャナー 20
■ ネットワークプリンター 20
■ LAN 中継同報 21
インターネット通信と一般回線との機能の違い **22**
インターネット通信における注意点 **23**
各部の名前と働き **24**
正面・右側面図 24
背面・左側面図 25
コントロールパネル 26

使い方

LAN を使って送信する **28**
■ 直接ダイヤルで送る 28
■ 短縮ダイヤルで送る 29
■ ワンタッチボタンで送る 30
■ メールアドレスを自動検索して送る 31
■ メールアドレスを組み合わせて送る 32
■ 一度にたくさんの相手に送る（順次同報送信） 33
■ ADF から電話帳機能で送る 34
■ 原稿台ガラスから送信する 35
FROM 選択機能の登録 **42**
受信のしかた **43**
POP 受信 **45**
■ POP による受信の設定 45
■ POP による自動受信 47
■ POP による受信 47
■ POP 手動受信の登録 48
■ ワンタッチボタンによる POP 受信 49

もくじ

ルーティング 50
■ ルーティングの設定 50
通信管理レポート送信 51
■ 通信管理レポート送信の設定 51
送達確認 52
■ 送達確認の設定 52
メモリー転送 53
■ メモリー転送の設定 53
■ メモリー転送の解除 55
ネットワークスキャナー 56
ネットワークプリンター 57
LAN 中継同報 58
■ LAN 中継同報について 58
■ LAN 中継同報指示 59
■ LAN 中継機能の設定 60
■ LAN 中継送信指示の設定 61
■ PC からの LAN 中継同報指示 62
■ LAN 中継同報の通信結果 63
■ PC からインターネットファクス経由でファクスへ送信する 64

各種登録・設定

ダイヤルの登録 65
■ ダイヤル登録操作フロー 65
■ 相手先メールアドレスやネットワークパラメータの文字（英数字）入力をするには 67
■ 文字割り当て一覧 68
■ 文字入力の例 69
■ ワンタッチダイヤルの登録 71
■ 短縮ダイヤルの登録 73
■ 登録済メールアドレスの変更 75
■ 登録済メールアドレスの消去 76
メールリモート登録 77
■ インターネットパラメーターのメールリモート登録 77
■ インターネットパラメーターを初めて登録する 78
■ インターネットパラメーターの取り出し 80
■ バックアップまたは取り出しをしたインターネットパラメーターの編集 83
■ ワンタッチ／短縮ダイヤルのメールリモート登録 86
■ ワンタッチ／短縮ダイヤル全体の削除 87
■ ワンタッチ／短縮ダイヤルを初めて登録する 88
■ ワンタッチ／短縮ダイヤルデータの取り出し 90
■ バックアップまたは取り出しをしたワンタッチ／短縮ダイヤルの編集 92
■ 通信管理レポートの取り出し 95
■ メールリモートの登録 96

もくじ

LAN 中継同報の登録 97
■ 中継局の自局情報の登録 97
■ ワンタッチダイヤルの登録 99
■ 短縮ダイヤルの登録 102
■ 中継局の登録 105
ルーティングの登録 107
■ ワンタッチダイヤルの登録 107
■ 短縮ダイヤルの登録 108
■ 自局情報の登録 109
■ 自局登録の種類（インターネット用） 110
システムの登録 111
■ システム登録のしかた 111
■ システム登録一覧表 112

必要なときにお読みください

こんなときには 113
■ 主なエラーコード 113
■ 主なメッセージ 114
リモート登録時のエラーメッセージ 115
■ エラーメッセージを送付先へ送る 115
■ リモート登録失敗時のエラーメッセージ 116
主な仕様 117
■ インターネット部仕様 117
用語の説明 118
索　引 121

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **警告**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

●本体・オプションの取り扱いについて

⚠警告

■定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使う

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止

●ぬれた手を良くふいて電源プラグ(金属でない部分)を持ってください。

■電源コードを加工しない

火災や感電のおそれがあります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものをのせたり、束ねたりしない。

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやプラグの修理は、サービス実施店へご相談ください。

■電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■機内に水や金属物(クリップやステープル針など)が入ったときは、すぐに電源プラグを抜く

機内の配線がショートして、火災をおこすおそれがあります。

電源プラグを抜く

●電源プラグを抜いて、サービス実施店へご連絡ください。

■本機(オプションを含む)を分解・改造しない

レーザー光線による視力障害、または高温部分や高電圧部分にさわるとやけどや感電するおそれがあります。

分解禁止

●この取扱説明書に記載されていないことは行わないでください。

■発煙・異臭などの異常状態をそのまま放置しない

火災や感電のおそれがあります。

●電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、サービス実施店へご連絡ください。

安全上のご注意

⚠注意

■床、土台が不安定な場所や震動の激しい場所へは設置しない

本機が倒れて、けがをするおそれがあります。

●移動するときは、サービス実施店へご相談ください。

■シンナー・ガソリンなどの引火性の高いものの近くに設置しない

ガソリンなどが発火し火災をおこすおそれがあります。

●移動するときは、サービス実施店へご相談ください。

■油煙や湯気や水のかかる場所、ほこりの多い場所には置かない

調理台や加湿器などのそばに置くと、火災、感電の原因となることがあります。

●移動するときは、サービス実施店へご相談ください。

■湿気の多い場所ではアース線を取り付けて使用する

アース線接続

万一、漏電した場合に、火災、感電のおそれがあります。

●移動するときは、サービス実施店へご相談ください。

■アース線は、ガス管・水道管や避雷針などに接続しない

接地が不十分だったり、落雷などにより、感電したり、火災をおこすおそれがあります。

●移動するときは、サービス実施店へご相談ください。

■電源プラグを抜くときは電源コードを引っぱらない

コードが傷つき、火災、感電のおそれがあります。

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグ（金属でない部分）を持ってください。

■動作中の紙づまりはそのまま放置しない

高温部の紙づまりを放置すると紙が発火し、火災をおこすおそれがあります。

●紙づまりは確実に取り除いてください。

■高温表示部とその周辺にはさわらないよう注意する

高温注意

高温部分にさわるとやけどするおそれがあります。

●紙づまり処置などで内部をさわるときは、十分に注意してください。

⚠ 注意

■鎖の長いブレスレットやネックレスなどをつけて操作しない

機内に触れたり、巻き込まれて、感電やけがをするおそれがあります。

●万一事故がおきたときは、電源スイッチを切り、サービス実施店へご連絡ください。

■動作中に光源ランプを直視しない

ランプの光により、目を傷めるおそれがあります。

●やむをえず、原稿台カバーを開けてコピーするときは、光源ランプを直視しないでください。

■本機の通風孔をふさがない

機内に熱がこもり火災の原因となるおそれがあります。

●本機の回りにダンボール箱などを積み上げないでください。

■機内のみどり色のツマミ以外は操作しない

高温部分や突起のある部品にさわるとやけどやけがをするおそれがあります。

●内部をさわるときは、十分に注意してください。

■本機に重いものを置いたり、乗ったり、トレイなどに体重をかけたりしない

物が落下したり、転んだり、落ちてけがをするおそれがあります。

●本機を台がわりに使用しないでください。

■原稿台（ガラス）に衝撃を与えたり、重いものを載せたりしない

ガラスが割れてけがをするおそれがあります。

●ガラスが割れたときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてサービス実施店へご連絡ください。

■エラー(EX-XX※)表示をしたときや、異音など異常な動作をしたときは、必ず電源プラグを抜く

火災や感電をおこすおそれがあります。

電源プラグを抜く

※ X は数字が表示されます。確認（メモ）して、サービス実施店へご連絡ください。

●電池の取り扱いについて

⚠警告

■充電・ショート・分解・変形・加熱・火に入れるなどしない

液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■電池は幼児の手の届かないところに保管する

●万一、飲みこんだ場合は直ちに医師に相談してください。

■電池を保管、廃棄するときは、テープなどで端子部を絶縁する

他の金属や電池と混ざると液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■電池の⊕極と⊖極は正しく接続する

液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■電池に直接ハンダ付けをしない

液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■液が目に入ったら、すぐに洗い流す

目を傷めるおそれがあります。

●こすらずにきれいな水で洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

⚠注意

■直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する

液漏れ・発熱・破裂の原因になります。

取扱上のお願い

設置上のお願い

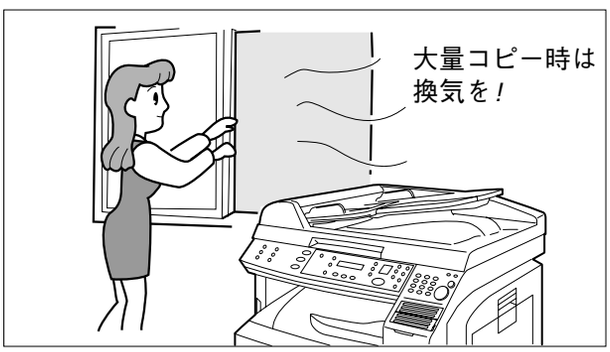
■次の様な場所への設置は避けてください。

●高・低温、低・多湿な場所
（適用温度･湿度：10～30℃、30～80%RH.）
●温度変化の激しい場所
●冷・暖房機の近く（直接風のあたる所）
●加湿機の近く
●テレビ、ラジオなど電子機器の近く
●直射日光のあたる場所
●ほこり、アンモニアガスが発生する場所
●シンナー、ガソリンなどの近く
●換気の悪い場所
●床、土台が不安定な場所、震動の激しい場所

■本機の背面は壁から 15cm 以上離してください。

換気についてのお願い

本機を使用中は、オゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋での長時間使用や、大量にコピーをとる場合には、快適な作業環境を保つために部屋の換気をお勧めいたします。



操作時のお願い

■動作中に電源を切ったり、本体カバー等を開けたり、用紙カセットを引き出したりしないでください。
（紙づまりの原因に！）

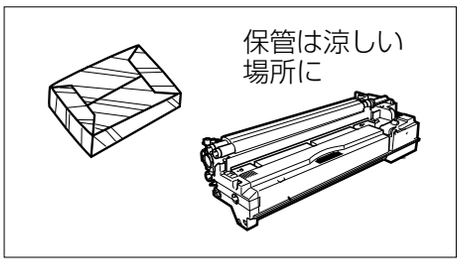
移動時のお願い

■本機の移動や運搬はサービス実施会社におまかせください。

●転居の際は、サービス引継が必要です。
（事前にサービス実施会社へご相談ください。

取扱上のお願い

用紙・トナーに関するお願い



■用紙、トナーなどは湿気の少ない涼しい場所に保管してください。

- 用紙は60～90g/m² (手差しでは 55～130g/m²) の上質紙・再生紙をお使いになれますが、できるだけ当社の推薦紙をご使用ください。
- トナーは当社指定品をご使用ください。

■電波障害防止におけるお願い

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

■法律で禁じられていること

次のようなコピーは所有するだけでも法律により罰せられますから充分ご注意ください。

- 法律でコピーを禁止されているもの
  - ① 国内外で流通する紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券
  - ② 未使用の郵便切手、官製はがき
  - ③ 政府発行の印紙、酒税法や物品法で規定されている証紙類
- 注意を要するもの
  - ① 株券、手形、小切手など民間発行の有価証券、定期券、回数券などは、事業会社が業務上必要最低部数をコピーする以外は政府指導によって注意が呼びかけられています。
  - ② 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可書、身分証明書や通行券、食券などの切符類のコピーも避けてください。
- 著作権の対象となっている書籍、絵画、版画、地図、図面、写真などの著作物は個人的または家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁じられています。

■電源高調波についてのお知らせ

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

インターネットに接続するための事前準備

インターネットに接続するための事前準備

本機をネットワークに接続される前に、この章をご覧いただくことにより各機能についてのご理解がいっそう深まります。
本機は、 10BASE-T/100BASE-TX イーサネット LAN （ローカルエリアネットワーク）へ接続されると以下のような事ができます。

- ドキュメント情報をインターネット電子メールで送信
- インターネット電子メールを自動的に受信し印刷する
- ファクスもしくは電子メールで受信したものを、自動的にあらかじめ設定した電子メールアドレスもしくは通常のファクスへ転送（メモリー転送に関する 54 ページを参照）
- G3 ファクスから受信したものを、自動的に ITU-T のサブアドレスを使って、発信者の指定した電子メールアドレスもしくはファクスへルーティングする（ルーティングに関する 50 ページを参照）
- ファクスから受信したものを、自動的に発信側のファクスのID（数字ID）を使って、発信者の指定した電子メールアドレスもしくはファクスへルーティングする(ルーティングに関する50ページを参照)
- インターネット電子メールを通常のファクス送信としてファクスへ中継(中継送信に関する58ページを参照)
- ネットワークスキャナー、プリンターとしての利用

ここに記載した機能をご利用になるには、本機をネットワークへ正しく設定する必要があります。現在のネットワーク設定値については、お客様のシステム管理者へお問合せ願います。

この章の 16 ページに添付されている事前設定調査表をコピーの上、 MAC (Media Access Control) アドレスを記入した後に、表にある残りの項目を埋めていただきますようシステム管理者へご依頼願います。
本機の MAC アドレスは、自局情報リスト（ファンクション ○ 6 MNO 5 JKL セット ○）を押して印刷されます。
本機は、SMTP 転送もしくは POP クライアントによる受信のいづれかが設定できます。また設定により、ご利用になれる機能が以下の表の通り異なります。

機　　能	SMTP 転送	POP クライアント
ドキュメント情報をインターネット電子メールで送信	○	○
インターネット電子メールの自動受信と印刷	○	○
インターネット電子メールの手動受信と印刷	×	○
受信したファクスもしくは電子メールの自動転送	○	○
ファクスの自動振り分け転送（ルーティング）	○	○
インターネット電子メールからファクスへの中継	○	×

お知らせ

- SMTP 転送機能をご利用になるには、本機の電子メールアドレスにお客様のドメインとホスト名を含まなければなりません。ホスト名はお客様のネットワークの DNS (Domain Name System)サーバーへ登録されていなければなりません。
- 自動的にSMTP転送もしくはPOP受信を実行します。POP クライアントとしての設定時には、手動操作による受信ができます。
- 本機が受信、印刷、転送、中継可能な電子メールは、テキスト本文と TIFF-F 形式画像の添付ファイルのみです。
- DHCP はサポートしていません。

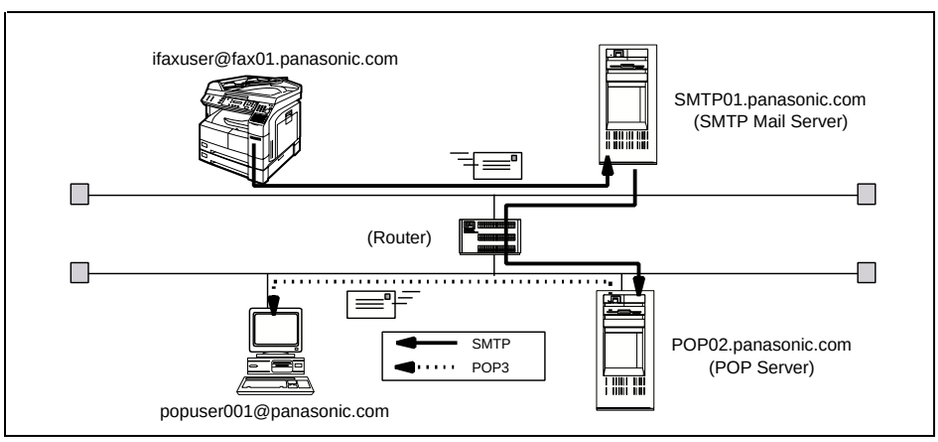
インターネットに接続するための事前準備

■ SMTP 転送としての設定

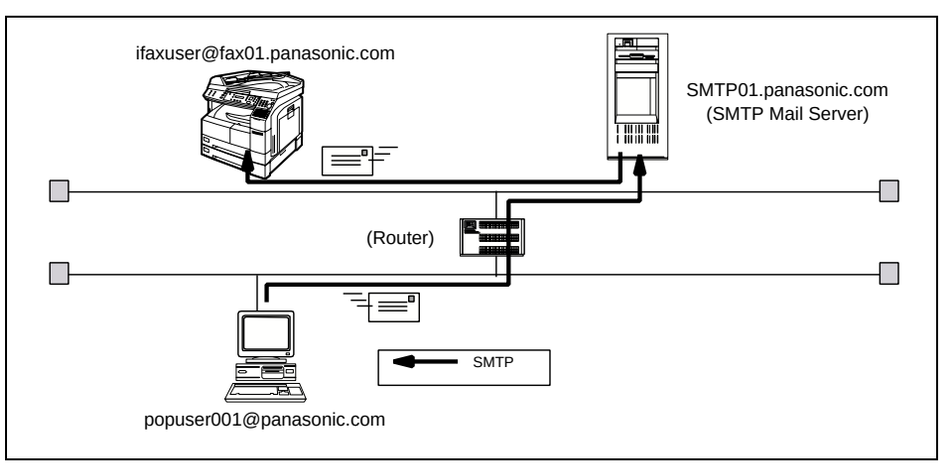
本機をSMTP転送設定でご利用頂くには、次のようなネットワークパラメーターの設定が必要です。

- DNS サーバーの IP アドレス(DNS が利用できない場合は、お知らせを参照)
- 本機の IP アドレス
- 本機のサブネットマスク
- SMTP メールサーバー名もしくは IP アドレス
- デフォルトルーターの IP アドレス
- 本機の電子メールアドレス（お知らせを参照）
- ホスト名

電子メール送信例
（本機～ PC へ送信）



電子メール受信例
（PC ～本機で受信）



お知らせ

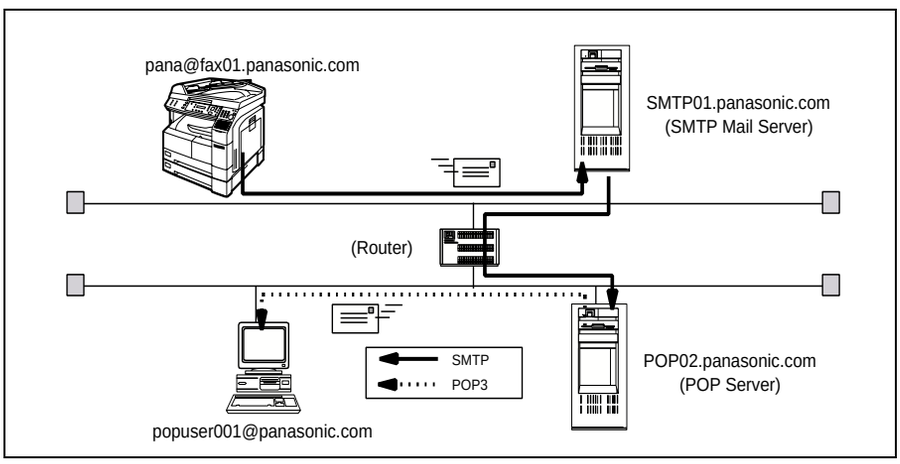
- SMTP 転送機能をご利用になるには、本機の電子メールアドレスにお客様のドメインとホスト名を含まなければなりません。ホスト名はお客様のネットワークの DNS(Domain Name System)サーバーへ登録されていなければなりません。
  登録は「○○○@ホスト名 . ドメイン名」の形式で行います。
  例： ifaxuser@ifax01.panasonic.com
- お買い上げ時の設定では、 DNS サーバーの IP アドレスと SMTP サーバー名が必要です。DNS サーバーがご利用になれない場合は、システム登録の No. 161 (DNS 設定)を "1:なし" へ変更してください。その後 SMTP サーバーの IP アドレスを入力することができるようになります
- DHCP はサポートしていません。

■ POP クライアントとしての設定

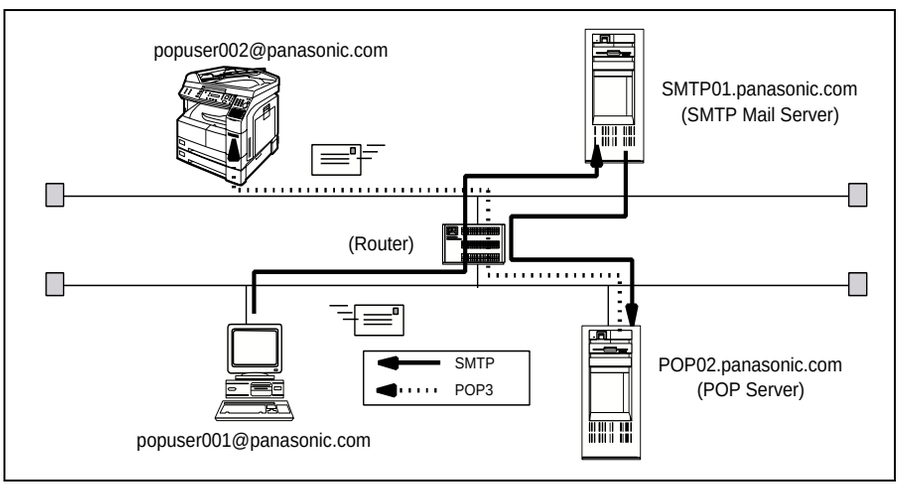
本機をPOPクライアントとして利用いただくには、次のようなネットワークパラメーターの設定が必要です。

- DNS サーバーの IP アドレス（DNS が利用できない場合は、お知らせを参照)
- 本機の IP アドレス
- 本機のサブネットマスク
- SMTP メールサーバー名もしくは IP アドレス
- デフォルトルーターの IP アドレス
- POP サーバー名もしくは IP アドレス
- POP ユーザーアカウント名
- POP パスワード
- 本機の電子メールアドレス（お知らせを参照）

電子メール送信例
（本機～ PC へ送信）



電子メール受信例
（PC ～本機で受信）



お知らせ

- ●電子メールアドレス形式は、通常の電子メールアドレスと同じです。
  登録は「 POP ユーザー名 @ ドメイン名」の形式で行います。
  例： popuser002@panasonic.com
- ●お買い上げ時の設定では、 DNS サーバーの IP アドレスと SMTP サーバー名が必要です。DNS サーバーがご利用になれない場合は、システム登録の No. 161 (DNS 設定)を"1:なし"へ変更してください。その後 SMTP サーバーの IP アドレスを入力することができるようになります。

インターネットに接続するための事前準備

LAN 経由で全体のシステムが正しく動作するために、確定情報と追加パラメーターを設定しなければなりません。システム管理者から必要な情報を得た上で LAN へ接続してください。

ユーザー情報	
社名	
住所	
部署名	
電話番号	ファクス番号

自局情報リスト	
(1)　自局 IP アドレス：	
(2)　サブネットマスク：	
(3)　メールサーバー名：	もしくはメールサーバー IP アドレス：
(4)　デフォルトルーター IP アドレス：	
(5)　自局メールアドレス：	
(6)　DNS サーバー IP アドレス：	
(7)　POP サーバー名：	もしくは POP サーバー IP アドレス：
(8)　POP ユーザー名：	
(9)　POP パスワード：	
(10) ホスト名：	
(11) デフォルトサブジェクト：	
(12) デフォルトドメイン：	
(13) リモートパスワード：	
(14) 中継用パスワード：	
(15) 管理者メールアドレス：	
(16) ドメイン名（中継許可）：	
1.	6.
2.	7.
3.	8.
4.	9.
5.	10.

インターネットに接続するための事前準備

■記載内容説明

(1) 自局 IP アドレス： インターネットプロトコルアドレス
(2) サブネットマスク： サブネットマスク番号
(3) メールサーバー名もしくは メールサーバー名（60 桁まで）、メールサーバーの IP アドレス
メールサーバー IP アドレス：
(4) デフォルトルーター IP アドレス：デフォルトルーターの IP アドレス
(5) 自局メールアドレス： 60 桁まで
(6) DNS サーバー IP アドレス： DNS サーバーの IP アドレス
(7) POP サーバー名もしくは POP サーバー名(60桁まで)、POP サーバーの IP アドレス
POP サーバー IP アドレス：
(8) POP ユーザー名： 40 桁まで
(9) POP パスワード： 10 桁まで
(10) ホスト名： 60 桁まで
(11) デフォルトサブジェクト： 件名(Subject)の部分に自動挿入される内容（15 文字まで）
(12) デフォルトドメイン： 電子メールアドレス省略時の付加ドメイン名（50 桁まで）
例： mgcs.co.jp（@は自動で付加されます）
(13) リモートパスワード： 電子メールを使ったリモート操作によるインターネットパラメーター、宛先登録、通信管理レポートの取得に関するパスワード（10 桁）
(14) 中継用パスワード： LAN 中継送信時の中継許可用パスワード（10 文字まで）
(15) 管理者メールアドレス： LAN 中継送信状況モニターと通信費用管理として利用（60 桁まで）
(16) ドメイン名（中継許可）： 中継許可ドメイン（30 桁まで）

お知らせ

- (1)～(10)はシステム管理者から提供される情報です。
- お買い上げ時の状態では、SMTP と POP サーバーを IP アドレスで指定することができません。（ドメイン形式のアドレス指定のみ可能です）
- DNSサーバーがご利用になれない場合は、システム登録の No.161（DNS 設定）を"1:なし"に変更してください。SMTP と POP サーバーの IP アドレスを入力できるようになります。
- Mac アドレスは、自局情報リスト（ファンクション ○ 6 は MNO 5 な JKL セット ○）を押して印刷されます。
- DHCP はサポートしていません。

インターネット通信について

インターネット通信の基本機能

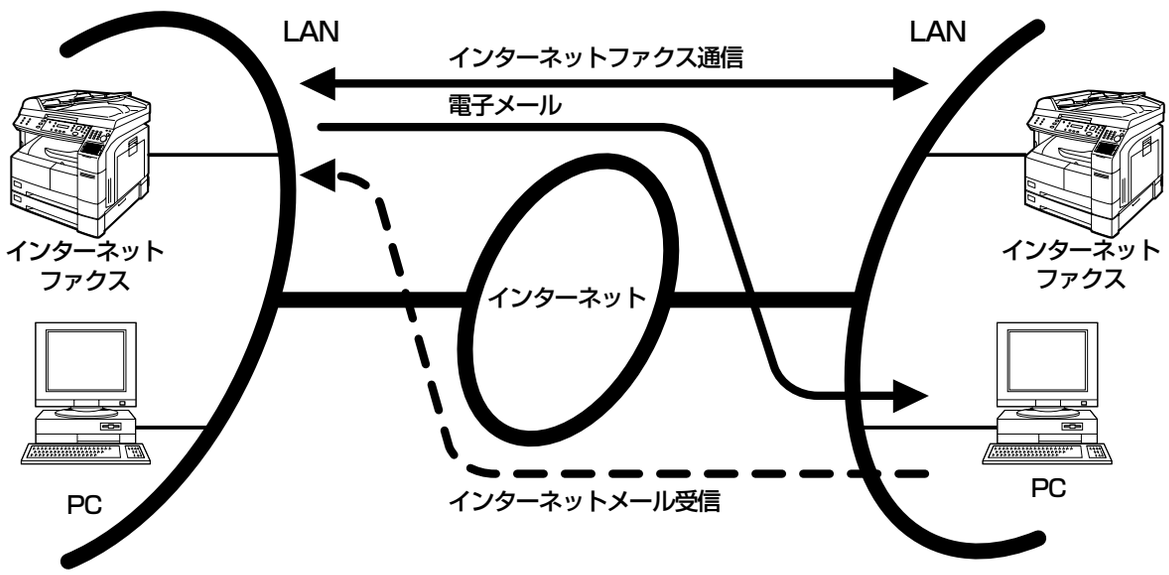
■インターネットファクス通信（☛28 ページ）

原稿をインターネットファクスから相手先のPC、あるいはインターネットファクスへ送信する機能です。インターネットファクスからの簡単操作で相手先のメールアドレスへ送信できます。

原稿は、電子メールの TIFF 形式の添付ファイルとして相手先の PC に送信されます。PC 側のメールソフトが MIME 形式に対応していない場合は、TIFF 形式の添付ファイルを使用できないため相手先へ正しく届きません。また、相手先のメールサーバーによっては正しく届かなかったことを送信側へ知らせる「エラーメール」（☛41 ページ）が返信されない場合もありますので、PC へ送信する場合は、相手先の PC に TIFF ファイルを表示できる環境が整っているか確認した上で操作してください。

■インターネットメール受信（☛45 ページ）

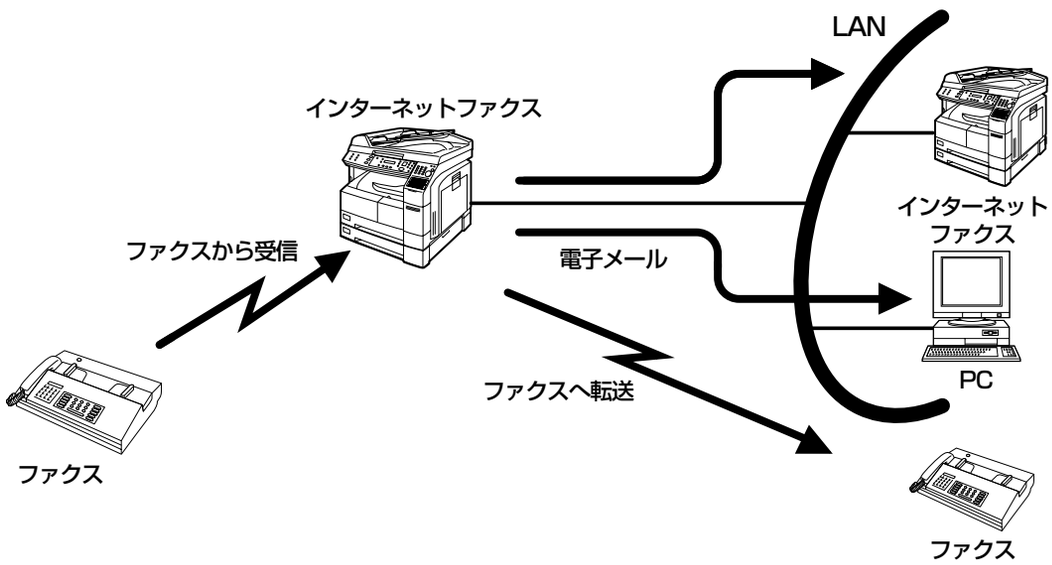
PCからインターネットファクスに送られてきた電子メールを自動プリントする機能です。ただし、インターネットファクスがサポートしている TIFF 形式以外の添付ファイルが送られてきた場合は、エラーメッセージをプリントし、プリントできなかったことを知らせます。



インターネット通信について

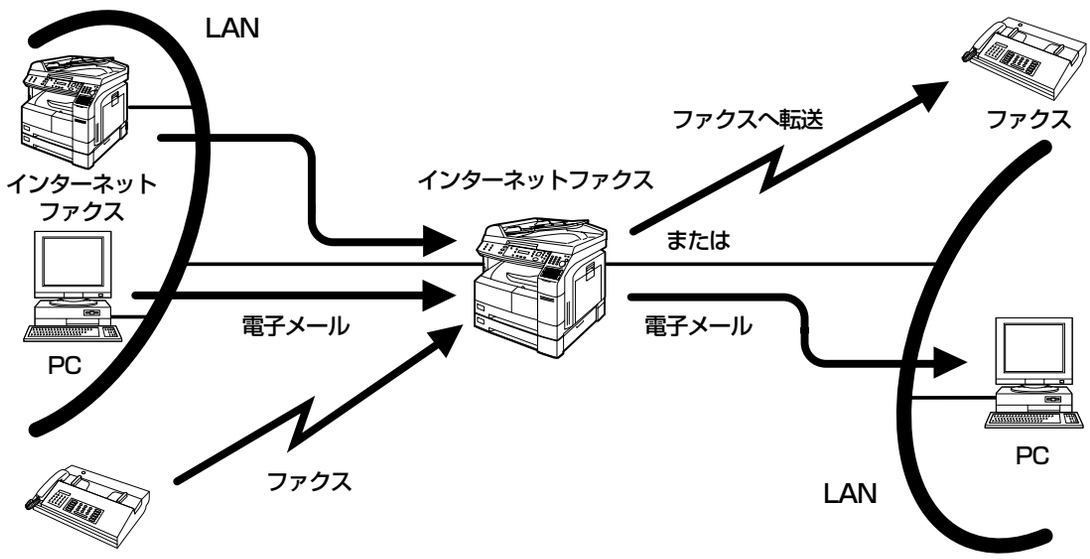
■ルーティング（☛50 ページ）

一般回線のファクスから受信した文書を、LANに接続したPCまたは、インターネットファクスにメール送信することができます。
また、別の一般回線のファクスにファクス送信することもできます。
送信機のG3 ファクスがＦコードの通信の指示機能がご利用できるファクスの場合、登録したサブアドレスを指示することで通信毎に宛先を選択して送信することができます。
Ｆコード通信に対応していないファクスの場合は、宛先を選択することはできませんが、数字ID を登録しておくことで送信機毎に個別の宛先に送信することができます。
ご利用できるファクスに関して、ご不明な場合は、サービス実施店にお問い合わせください。



■メモリー転送（☛53 ページ）

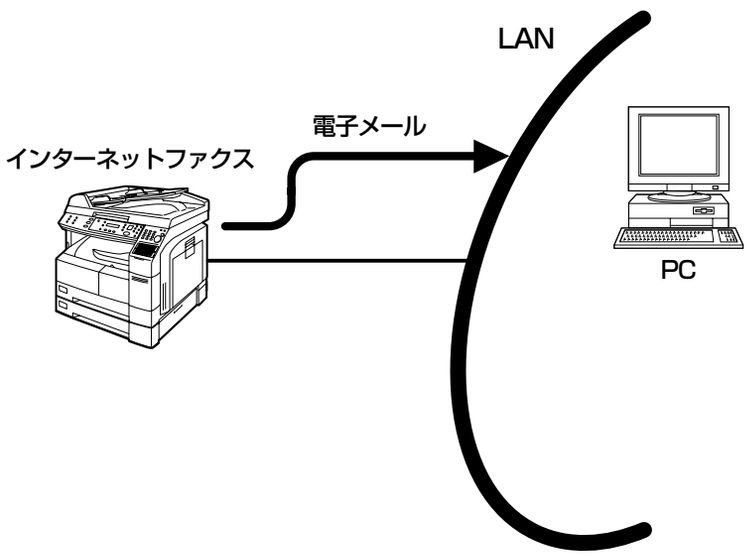
インターネットファクスのメモリーに受信した電子メールやファクスを、あらかじめ設定した一つの宛先（ファクスやPC）へ転送する機能です。



インターネット通信について

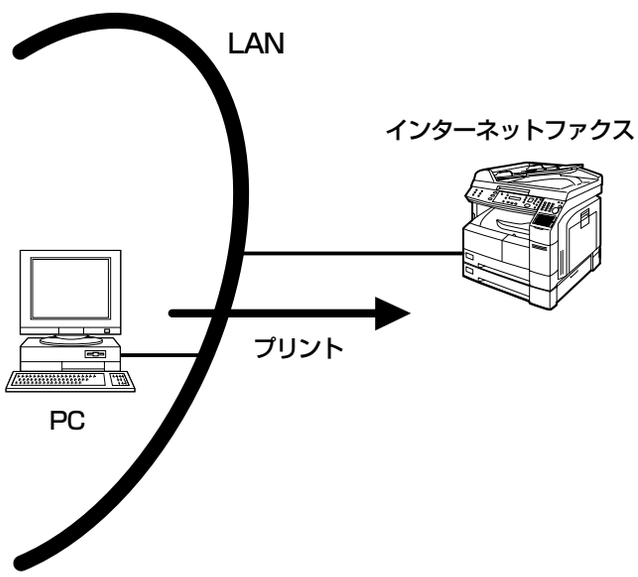
■ネットワークスキャナー（☛56 ページ）

インターネットファクスをスキャナーとしてご利用になれます。
インターネット通信を利用して、原稿をインターネットファクスからPCへメール送信することにより、原稿の画像イメージをPC側で見ることができます。



■ネットワークプリンター（☛57 ページ）

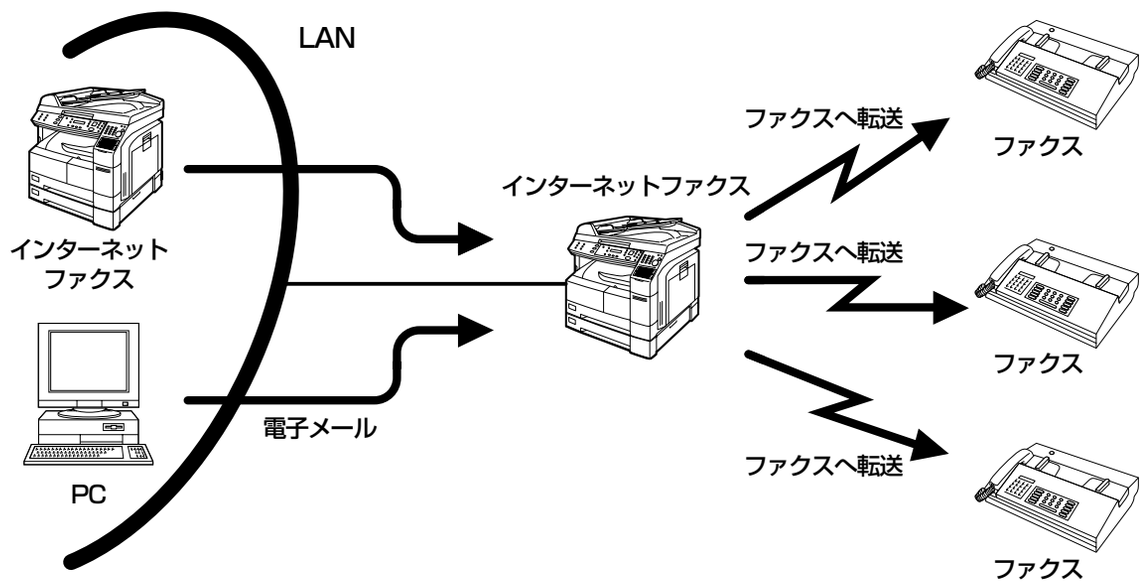
インターネットファクスをプリンターとしてご利用になれます。
PC の各種アプリケーションで作成した書類を PC からの操作により、LAN に接続したインターネットファクスへプリントすることができます。ただし、ネットワークプリンター機能を利用するためには、ホームページからソフトウェア（プリンタードライバーおよび LPR ）をダウンロードして PC にインストールする必要があります。（☛44 ページ）
プリンタードライバーのインストールの方法や操作方法については、ダウンロードしたホームページを参照してください。（☛44 ページ）



インターネット通信について

■ LAN 中継同報（☛ 58 ページ）

LANに接続したインターネットファクスやPCから送信した電子メールを、LAN中継同報機能を持ったインターネットファクスを経由して、一般回線に接続された複数のファクスへLAN同報送信することができます。電子メールには、TIFF 形式のファイルを添付することができます。
また、表計算ソフトなどの各種アプリケーションのデータファイルを TIFF 形式のファイルにするには、ホームページからソフトウェア（プリンタードライバー）をダウンロードして PC にインストールする必要があります。
プリンタードライバーのインストールの方法や操作方法については、ダウンロードしたホームページを参照してください。（☛ 44 ページ）



インターネット通信について

インターネット通信と一般回線との機能の違い

本機で使用できる機能は、インターネット通信の場合と一般回線通信の場合とで異なります。
本書では、インターネット通信と一般回線通信のうち「インターネット通信」について記載しています。
「一般回線通信」については、ファクス編取扱説明書を参照してください。
次にインターネット通信時に使用できる機能と一般回線通信時に使用できる機能の一覧を示します。
●：インターネット通信のみの機能です。
○：インターネット通信と一般回線通信の操作が同じ機能です。
△：インターネット通信と一般回線通信の操作が異なる機能です。それぞれの編を参照してください。
▲：一般回線通信のみの機能です。

	機能名称	インターネット通信時	一般回線通信時
基本的な使い方	送信のしかた	△	△
	受信のしかた	△	△
	コピーのしかた	○	○
	ダイヤルのしかた	−	▲
	電話の使いかた（オプション）	−	▲
便利な使いかた	複数宛先送信	○	○
	プログラム通信	△	△
	ルーティング	○	○
	通信管理レポート送信	●	−
	送達確認	●	−
	メモリー転送	○	○
	ネットワークスキャナー	●	−
	ネットワークプリンター	●	−
	LAN 中継同報	●	−
	節電タイマー	○	○
	通信予約の確認・取り消し	○	○
	順次同報送信	○	○
	優先通信	−	▲
	ポーリング受信	−	▲
登録のしかた	メールアドレスの登録	●	−
	中継同報の登録	△	△
	自局情報の登録	○	○
	システム登録	○	○
	ダイヤル番号の登録	−	▲

インターネット通信における注意点

LANシステムとの接続による通信は、基本的に電子メールと同様で、一般回線用のファクスによる通信とは異なります。
インターネット通信をする上で、注意しなければならないことについて説明します。

■正常に送信されましたか？

- インターネット通信はLAN経由でのメールサーバーとの通信となり、直接相手との通信はできません。したがって、何らかの原因で送信できなかった場合だけ、メールサーバーからエラーメールが返送されます。（☛ 41 ページ「エラーメール」）
- 相手先の場所、インターネットなどの回線の混み具合、 LAN システムの構成にもよりますが、エラーメールが返送されるまで長い時間がかかることがあります。
（通常は 20 ～ 30 分ぐらいと思われます。）
- エラーメールが何らかの原因で返送されて来ない場合もあります。重要な書類、緊急を要する書類、またそれに準じる書類を送信される場合には、送信後に必ず電話で確認願います。
またインターネット経由の場合には秘匿性が低いので、重要な書類は、一般回線のご利用をお勧めします。
- 送信する相手のメールシステムが MIME に対応していない場合、原稿を相手先に正しく送信することができません。また、相手のメールサーバーによってはエラーメールが返送されない場合があります。
- 原稿枚数が多い場合やイメージデータ量が多いと、送信できない場合があります。

■LAN 経由での電話はできません

- 電話は一般回線で使用できます。（オプション）
- LAN 経由の通信中でも、一般回線を使用したファクス通信はできます。

■読取モードの文字サイズ

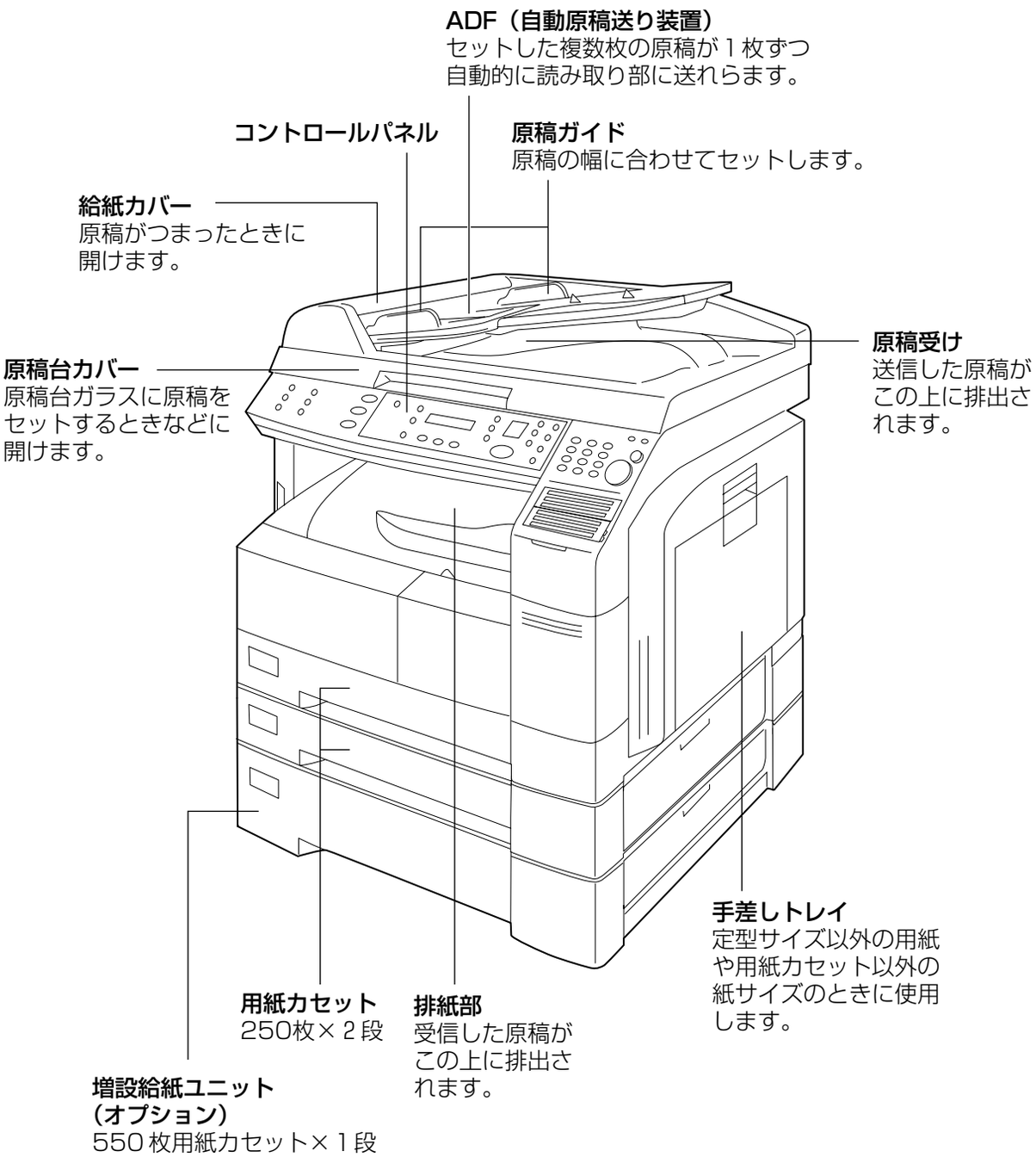
- 読取モードの文字サイズは、 PC への送信を考慮して、お買い上げ時の設定を『小さい』にしてあります。
この設定は、使用する原稿に合わせて変更することもできます。

■インターネットメール受信

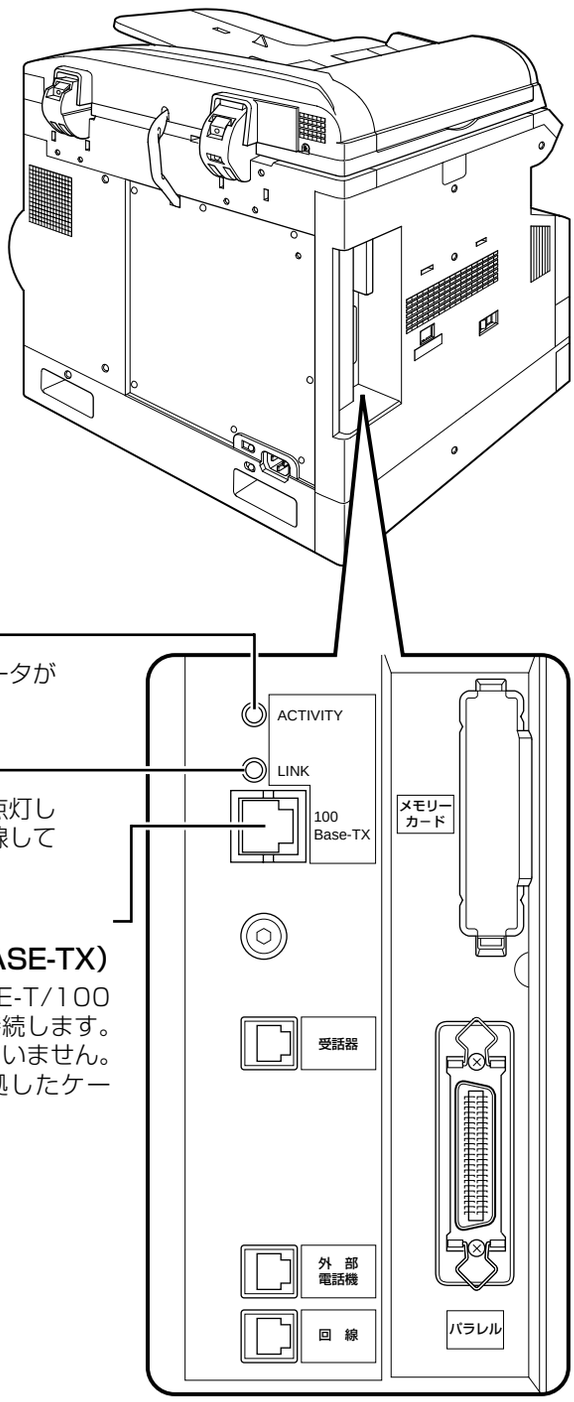
- 本機は、PC からの電子メールを受信しますが、受信したデータの内、英数字、ひらがな、カタカナと第 1、2 水準の漢字が記録可能です。
- 受信したフォントや文字の大きさは変更できません。
- 受信データを全角文字で約 60 桁、約 77 行を 1 ページで出力します。

各部の名前と働き

正面・右側面図



背面・左側面図



ACTIVITYランプ

接続されているLANのデータがあるときに点灯します。

LINKランプ

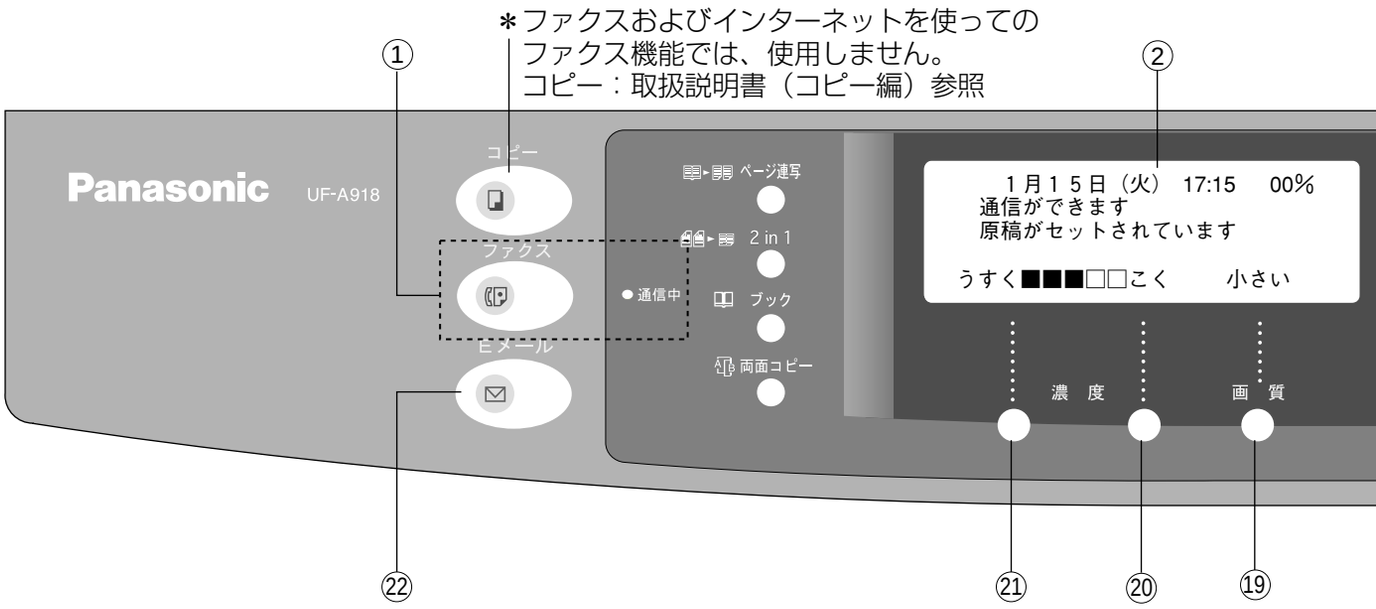
LANに接続されていると点灯します。LANケーブルが断線していると点灯しません。

LAN接続用ジャック（10BASE-T/100BASE-TX）

LANケーブル（10BASE-T/100BASE-TXケーブル）を接続します。（LANケーブルは付属していません。EIA 568A CAT.5に準拠したケーブルをご用意ください。）

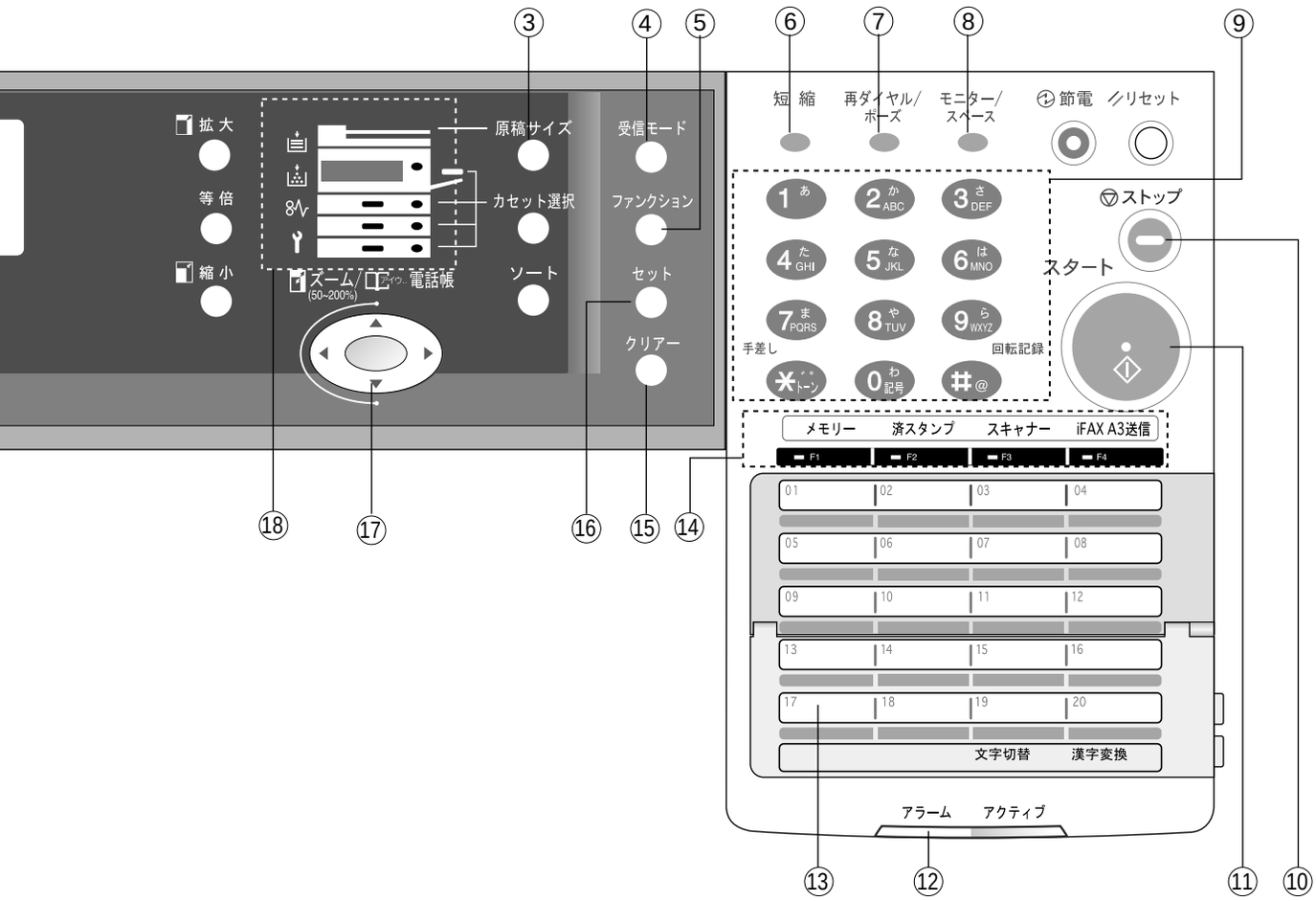
各部の名前と働き

コントロールパネル



No.	なまえ	はたらき
①	ファクスボタン 通信中ランプ	ファクスおよびインターネットを使ってのファクスを送信選択するときに押します。通信中はランプが点灯します。
②	メッセージディスプレイ	機械の状態、各種設定の状況を表示できます。
③	原稿サイズボタン	原稿サイズを手動で選択したいときに押します。
④	受信モード選択ボタン	手動受信と自動受信を選択するときに押します。
⑤	ファンクションボタン	各種機能を選ぶときや、登録するときに押します。
⑥	短縮ボタン	短縮ダイヤルするとき、または、番号の間にハイフンを入れるときに押します。
⑦	再ダイヤル / ポーズボタン	再ダイヤルするとき、または、番号の間に空白時間を入れるときに押します。
⑧	モニター/スペースボタン	受話器(オプション)を置いたまま、ダイヤルするとき、または、番号の間にスペースを入れるときに使用します。
⑨	テンキーボタン	ダイヤルするときや、各種の機能を選ぶときに押します。
⑩	ストップボタン	送信やコピー、登録などを途中で止めるとき、または、アラーム音を止めるときに押します。
⑪	スタートボタン	ファクス送信や受信をするときに押します。
⑫	アラームランプ	(点灯) 通信異常があります / 用紙がつまっています / すべてのカセットおよび手差しトレイに用紙がありません (点滅) いずれかのカセット / または手差しトレイに用紙がありません
⑬	ワンタッチボタン	ワンタッチダイヤルするときに押します。また、プログラムに登録した通信をするときに押します。

各部の名前と働き

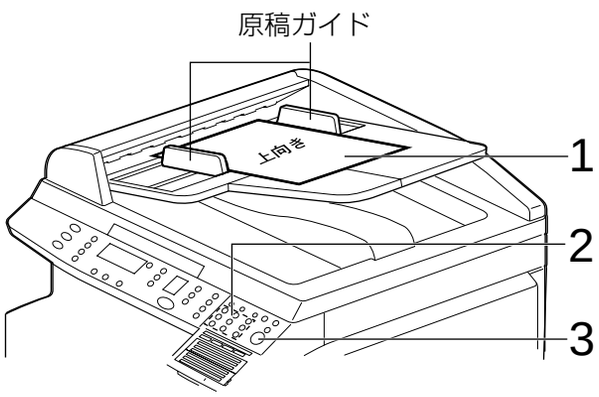


No.	なまえ	はたらき
⑭	機能ボタン（ランプ）	Ｆ１～Ｆ４に機能登録をして使います。お買い上げ時は、下記の設定となっています。（各機能を有効にする場合はランプを点灯させます） F1：メモリー通信をするときに押します。 F2：済スタンプ（する、しない）を選択するときに押します。 F3：インターネットを利用したネットワークスキャナー機能を使うときに押します。 F4：インターネットFAX通信にてA3原稿を等倍で送信するときに押します。
⑮	クリアーボタン	入力した文字や数字を訂正するときに押します。
⑯	セットボタン	選択した内容を確定するときに押します。
⑰	カーソルボタン	呼出音量を大きくしたり、小さくしたりします。また、文字などの入力のときカーソールを左右に移動させるときに押します。また、電話帳を検索するときにも使います。
⑱	警告表示ランプ	用紙補給、プロセスカートリッジ補給が必要となったときや用紙がつまったときに点灯します。
⑲	画質ボタン	原稿の文字の大きさまたは、ハーフトーンを選ぶときに選択します。
⑳	こくボタン	原稿の濃さが薄いときに押します。
㉑	うすくボタン	原稿の濃さが濃いときに押します。
㉒	Eメールボタン	メールアドレスを直接入力するときに使います。テンキーによる入力、およびメールアドレスの自動検索をする場合に利用します。

使い方

LANを使って送信する

■直接ダイヤルで送る



(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
(☛ファクス編取扱説明書を参照してください。)

```
  1月10日（木） 17:15   00%
通信ができます
原稿がセットされています

うすく■■■□□こく      小さい
```

2 (Eメール) を押して、メールアドレスを入力する（最大60桁）

```
メモリー送信              宛先数：000
abc@panasonic.com
                          英記号
うすく■■■□□こく      小さい
```

3 (スタート) を押す

・原稿読取開始されます。
・読取が終了した原稿から送信が開始されます。

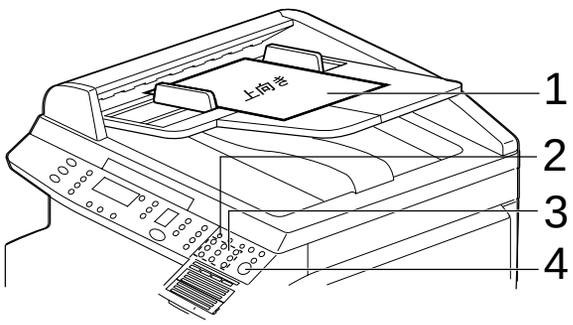
```
メモリー送信              宛先数：001
通信中（LAN）             送信頁01/01
abc@panasonic.com

うすく■■■□□こく      小さい
```

お知らせ

- 宛先を間違えたときは、(クリアー)を押して再指定してください。
- 送信を途中でやめるときは、(ストップ)を押したあとに (1あ)(はい) を押してください。
- メールアドレスの入力を途中でやめ、モードをコピーに切り替えるときは、(ストップ)を押したあとに (コピー) を押してください。
- 正常に送信できなかった場合は、メールサーバーからエラーメールが返信されます。(☛ 41ページ)
- システム登録の「145 FROM 選択機能」が「あり」のときは手順4で (スタート) を押したあと、FROM選択画面になります。
  FROM（発信元）選択後 (スタート) を押すと、原稿の読取が開始されます。
  お買い上げ時の設定は「なし」になっています。(☛ 42ページ)

■短縮ダイヤルで送る

あらかじめメールアドレスを短縮ダイヤルに登録しておいてください。(☛73 ページ)
短縮ダイヤルは 00 ～ 99 までの任意の 100ヵ所をお使いになれます。



(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
(☛ファクス編取扱説明書を参照してください。)

```
  1月10日（木） 17:15   00%
通信ができます
原稿がセットされています

うすく■■■□□こく      小さい
```

2 (短縮) を押す

```
メモリー送信          宛先数：000

短縮：__    （2桁）

うすく■■■□□こく      小さい
```

3 短縮番号（00～99）を選ぶ

・ダイヤルボタンで短縮番号を選びます。

```
メモリー送信          宛先数：001
松下電送システム
短縮：01   （2桁）

うすく■■■□□こく      小さい
```

4 (スタート) を押す

・原稿読取が開始されます。
・読取が終了した原稿から送信が開始されます。

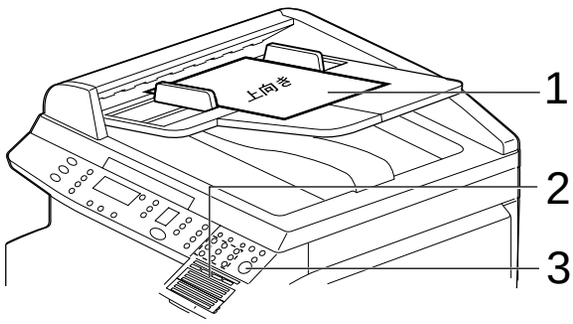
```
メモリー送信          受付No.001
通信中（LAN）         送信頁：01/01
松下電送システム

うすく■■■□□こく      小さい
```

お知らせ

- 宛先を間違えたときは、(ストップ) を押して再指定してください。
- 送信を途中でやめるときは、(ストップ) を押したあとに (1*)(はい) を押してください。
- 正常に送信できなかった場合は、メールサーバーからエラーメールが返信されます。(☛ 41 ページ)
- システム登録の「145 FROM 選択機能」が「あり」のときは手順４で (スタート) を押したあと、FROM 選択画面になります。
  FROM（発信元）選択後 (スタート) を押すと、原稿の読取が開始されます。
  お買い上げ時の設定は「なし」になっています。(☛ 42 ページ)

■ワンタッチボタンで送る

あらかじめワンタッチダイヤルにメールアドレスを登録しておいてください。（☛71 ページ）



(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☛ファクス編取扱説明書を参照してください。）

```
  1月10日（木） 17:15   00%
通信ができます
原稿がセットされています

うすく■■■□□こく      小さい
```

2 ワンタッチボタン（01 ～ 60）を押す

```
メモリー送信          宛先数：001
東京本社
ワンタッチ：01

うすく■■■□□こく      小さい
```

3 (スタート) を押す

・原稿読取が開始されます。
・読取が終了した原稿から送信が開始されます。

```
メモリー送信          受付No.001
通信中（LAN）      送信頁：01/01
東京本社

うすく■■■□□こく      小さい
```

お知らせ

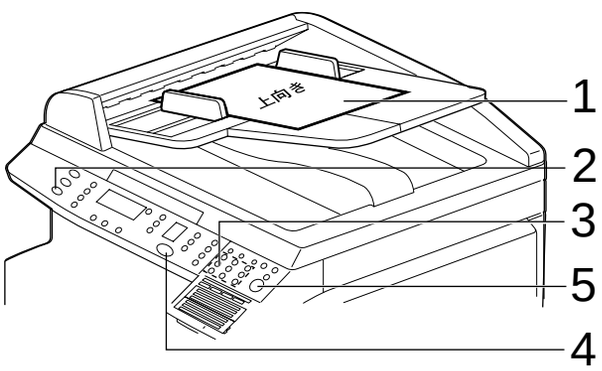
- 宛先を間違えたときは、(ストップ)を押して再指定してください。
- 送信を途中でやめるときは、(ストップ)を押したあとに (1あ)(はい) を押してください。
- 正常に送信できなかった場合は、メールサーバーからエラーメールが返信されます。（☛ 41 ページ）

★ 複数の宛先が登録されているワンタッチボタン＋ (スタート)を選ぶと、自動的に順次同報送信を始めます。

●システム登録の「145 FROM 選択機能」が「あり」のときは手順３で (スタート) を押したあと、FROM 選択画面になります。
FROM（発信元）選択後 (スタート) を押すと、原稿の読取が開始されます。
お買い上げ時の設定は「なし」になっています。（☛ 41 ページ）

■メールアドレスを自動検索して送る

あらかじめ電子電話帳にメールアドレスを登録しておけば、メールアドレスを最後まで入力しなくても、入力の途中で目的のメールアドレスを検索して送信することができます。



(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
(☛ファクス編取扱説明書を参照してください。)

```
  1月10日（木） 17:15   00%
通信ができます
原稿がセットされています
うすく■■■□□こく      小さい
```

2 (Eメール) を押す

```
メモリー送信          宛先数：000
_                        英記号
うすく■■■□□こく      小さい
```

3 検索するメールアドレスを入力する（最大20桁）

・テンキーから英数字を入力してください。
・入力された文字と一致する短縮ダイヤルまたはワンタッチダイヤルに登録された宛先が下段に表示されます。

```
メモリー送信          宛先数：000
abc_
abc@panafax.com          英記号
うすく■■■□□こく      小さい
```

4 宛先を選ぶ

・▼ または ▲ を押して、宛先を選びます。

```
メモリー送信          宛先数：000
abc_
abc@panafax.com          英記号
うすく■■■□□こく      小さい
```

5 目的の候補が検索されたら (スタート) を押す

・原稿読取が開始されます。
・読取が終了した原稿から送信が開始されます。

お知らせ

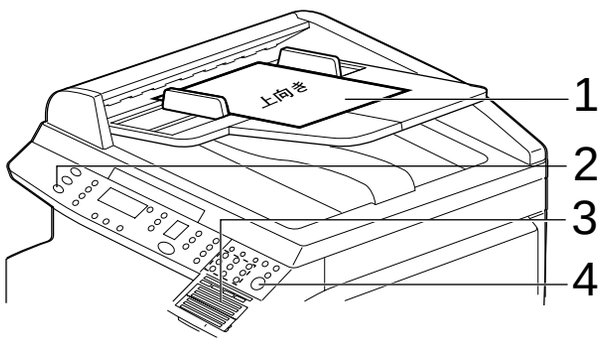
- 手順3 で自動宛先検索を解除するときは、もう一度 (Eメール) を押してください。
- 宛先を間違えたときは、(クリアー) を押して再指定してください。
- 送信を途中でやめるときは、(ストップ) を押したあとに (1あ)(はい) を押してください。
- 正常に送信できなかった場合は、メールサーバーからエラーメールが返信されます。(☛ 41ページ)
- 自動宛先検索機能は、短縮ダイヤル・ワンタッチダイヤルから宛先を検索しますので、あらかじめ短縮ダイヤル・ワンタッチダイヤルの登録を行ってからご使用ください。
- 入力文字が20 文字を越えると、自動宛先検索機能は解除されます。
- 自動宛先検索機能により下段に宛先を表示中に、(セット) または (スタート) を押しますと下段表示中の短縮ダイヤル・ワンタッチダイヤルを指定したときと同様の通信となります。
- 目的のメールアドレスがない場合は、メールアドレスを直接指定してください。
- ダイヤル中や通信中でも、次の通信を予約できます。手順1 からの操作をしてください。
- システム登録の「145 FROM 選択機能」が「あり」のときは手順5で (スタート) を押したあと、FROM（発信元）選択後 (スタート) を押すと、原稿の読取が開始されます。お買い上げ時の設定は「なし」になっています。(☛ 42ページ)

■ メールアドレスを組み合わせて送る

ワンタッチチェーンを使えば、ワンタッチボタンの（01～60）に登録したメールアドレスを組み合わせてお使いになることができます。

●あらかじめワンタッチボタン（01～60）にワンタッチチェーン用のメールアドレスを登録してください。（☛71 ページ）

例：「ワンタッチボタン20」に登録されている「@mgcs.mei.co.jp」と直接入力するメールアドレス「matsushita」を組み合わせてお使いになる場合。



ファックス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☛ファクス編取扱説明書を参照してください。）

```
  1月10日（木） 17:15   00%
通信ができます
原稿がセットされています

うすく■■■□□こく      小さい
```

2 Eメール を押しメールアドレスを入力する

```
メモリー送信          宛先数：000
matsushita
                      英記号
うすく■■■□□こく      小さい
```

3 組み合わせるワンタッチボタンを押す

例：ワンタッチチェーンとするメールアドレスが登録されている「ワンタッチボタン20」を押す

```
メモリー送信          宛先数：000
matsushita@mgcs.mei.
co.jp                 英記号
うすく■■■□□こく      小さい
```

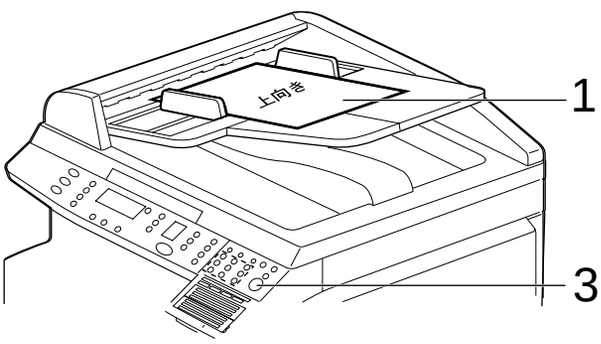
4 スタート を押す

・原稿読取が開始されます。
・読取が終了した原稿から送信が開始されます。

お知らせ

- 送信を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
- メールアドレスの入力を途中でやめ、モードをコピーに切り替えるときは、ストップ を押したあとに コピー を押してください。
- システム登録の「145 FROM 選択機能」が「あり」のときは手順４で スタート を押したあと、FROM 選択画面になります。
  FROM（発信元）選択後 スタート を押すと、原稿の読取が開始されます。
  お買い上げ時の設定は「なし」になっています。（☛ 42 ページ）

■一度にたくさんの相手に送る（順次同報送信）



ファックス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☛ファクス編取扱説明書を参照してください。）

```
  1月10日（木） 17:15   00%
通信ができます
原稿がセットされています

うすく■■■□□こく      小さい
```

2 複数の宛先を選ぶ

・複数宛先の指定のしかた
（☛38 ページ）

3 スタート を押す

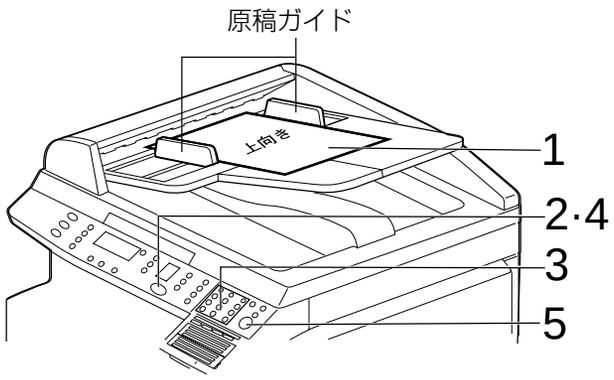
・原稿読取が開始されます。

お知らせ

- 送信を途中でやめるときは、ストップ を押したあとに 1あ（はい）を押してください。
- システム登録の「145 FROM 選択機能」が「あり」のときは手順３で スタート を押したあと、FROM 選択画面になります。
  FROM（発信元）選択後 スタート を押すと、原稿の読取が開始されます。
  お買い上げ時の設定は「なし」になっています。（☛ 42 ページ）

■ ADF から電話帳機能で送る

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録（☛99 ページ）してある宛先を電話帳機能で検索してダイヤルできます。



ファックス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・ 原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☛ファクス編取扱説明書を参照してください。）

```
  1月15日（火） 17:15   00%
通信ができます
原稿がセットされています

うすく■■■□□こく      小さい
```

2 ▲ または ▼ （電話帳）を押す

```
［あ］                  短縮：15
宛先名：愛知支店

うすく■■■□□こく      小さい
```

3 検索文字を選ぶ

・ 1あ ～ 0わ記号 ボタンを使って検索文字を選びます。

```
［と］                  短縮：12
宛先名：東北支店

うすく■■■□□こく      小さい
```

4 ▲ ▼を押して宛先を選ぶ

例：「東京本社」

例：「東京本社」

```
［と］                  短縮：01
宛先名：東京本社

うすく■■■□□こく      小さい
```

5 スタート を押す

・原稿読取が開始されます。
・読取が終了した原稿から送信が開始されます。

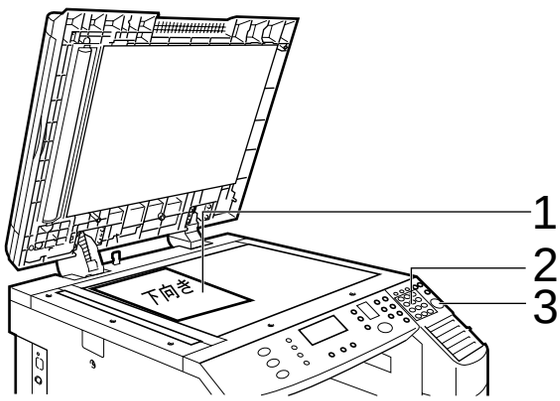
```
メモリー送信          受付No.001
通信中（ＬＡＮ）      送信頁:01
東京本社

うすく■■■□□こく      小さい
```

お知らせ

- 宛先を間違えたときは、ストップ を押してください。
- 送信を途中でやめるときは、ストップ を押したあとに 1あ（はい）を押してください。
- システム登録の「145 FROM 選択機能」が「あり」のときは手順５で スタート を押したあと、FROM 選択画面になります。
  FROM（発信元）選択後 スタート を押すと、原稿の読取が開始されます。
  お買い上げ時の設定は「なし」になっています。（☛ 42 ページ）

■原稿台ガラスから送信する

原稿台ガラス上の原稿をメモリーに読み込んでから、宛先へ送信します。



ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☛ファクス編取扱説明書を参照してください。）

```
  1月15日（火） 17:15   00%
通信ができます
原稿サイズ＝A4

うすく■■■□□こく      小さい
```

2 宛先を指定する

・直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル グループダイヤル 電話帳

```
メモリー送信          宛先数：000
東京本社
ワンタッチ：01

うすく■■■□□こく      小さい
```

3 スタート を押す

・原稿の読み取りが始まります。
・原稿を1 枚だけ送信するときは、手順6へ進みます。
・複数枚の原稿を送信するときは、手順4へ進みます。

```
メモリー送信          受付No.001
まだ読み込み原稿はありますか
1．いいえ    2．はい

うすく■■■□□こく      小さい
```

4 続けて送信する原稿があるとき、2 か ABC セット を押す

```
メモリー送信          受付No.001
原稿サイズ＝A4
スタートを押してください

うすく■■■□□こく      小さい
```

5 原稿をセットし、スタート を押す

・原稿に合わせて、原稿サイズや画質モードを設定します。
・読み取りが終わると、手順３の表示に戻ります。

6 送信する原稿が無くなったら1 あ セット を押す

・宛先へダイヤルを始めます。
・通信中ランプが点灯します。
・送信原稿をお持ち帰りください。

7 自動的に送信を始める
送信が終わると、待機状態に戻ります。

お知らせ

- 宛先を間違えたときは ストップ を押して手順 1 からやり直してください。
- 手順2で「ピピピ」と鳴ったときは、すでに30個の通信予約をしています。インターネットファクスをするときは、他の通信が終わってから送信してください。
- 送信できなかったときは、自動的に通信結果レポートがプリントされます。（☛40 ページ）
- ダイヤル中や通信中でも、次の通信を予約できます。手順1からの操作をしてください。
- メモリーには、A4 標準原稿で約 120 枚まで蓄積できます。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされているときは、原稿台ガラスにセットしてある原稿を読み取ることはできません。
- インデックスなどはみ出した部分のある原稿や、紙の色が濃く反射率が極端に低い原稿などの場合、あるいは、原稿台ガラスにセットした本の片方のページだけを送信したい場合などは、手順1でディスプレイに「原稿サイズ=○○」と表示されているときに 原稿サイズ を押して、原稿サイズを指定できます。
- サイズを読み取れない原稿の場合は、 原稿サイズ を押して原稿サイズを指定します。
- A4 サイズの原稿を A4 方向にセットしてメモリー送信すると、自動的に回転送信されます。
  回転送信されないように設定することもできます。（☛39 ページ）
- 手順3または5で原稿の読み取りが終わったあと、約1分間何も操作しないと、送信を中止して待機状態に戻ります。

iFAX A3送信 F4 ボタンについて

LANでA3原稿、B4原稿を送る場合、あらかじめ相手の能力を決定して、送信原稿サイズを決めておく必要があります。

iFAX A3送信 F4 ボタン、システム登録「141 LAN縮小送信」の設定によって、下の表のように動作します。

iFAX A3送信 F4 ボタン　LED点灯：　読み取った原稿を等倍で送信します。
LED消灯：　A3原稿はB4以下に縮小して送信します。
また、システム登録「141 LAN縮小送信」の設定に従って縮小して送信します。

原稿サイズ ＼ 送信原稿サイズ	iFAX A3送信ボタン LED点灯時	iFAXA3送信ボタン　LED消灯時	
		システム登録「141 LAN縮小送信」「なし」設定時	システム登録「141 LAN縮小送信」「あり」設定時
A3	A3	B4	A4
B4	B4	B4	A4
A4	A4	A4	A4

お知らせ

- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルのみで宛先指定の場合、iFAX A3送信 F4 ボタンのLEDの点灯／消灯に関係なく、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに「送信時A3→B4に縮小する」が登録されている場合は、上の表でiFAXA3送信ボタンLED消灯時と同様に動作します。
- 直接ダイヤルをふくむワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルによる複数宛先指定でも、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに1宛先でも「送信時A3→B4に縮小する」が登録されていた場合は、iFAX A3送信 F4 ボタンのLEDの点灯／消灯に関係なく、上の表でiFAXA3送信ボタンLED消灯時と同様に動作します。
- システム登録「141 LAN縮小送信」の初期設定は「なし」です。

複数宛先の指定のしかた

宛先は直接ダイヤルで30カ所、短縮ダイヤル・ワンタッチボタンのうちで160カ所の計190カ所まで指定できます。

- ●直接ダイヤルで選ぶ→ Eメールボタン ＋ 宛先のメールアドレス ＋ セット →次の宛先を選べる
- ●短縮ダイヤルで選ぶ→ 短縮 ＋ 指定する短縮番号 →次の宛先を選べる
- ●ワンタッチボタンで選ぶ
  →指定するワンタッチボタンを押す→次の宛先を選べる
- ●メールアドレス自動検索で選ぶ
  → Eメール（ボタン） ＋ 宛先のメールアドレスの一部 ＋ 宛先を表示させる ＋ セット →次の宛先を選べる
- ●ワンタッチチェーンで選ぶ
  → Eメール（ボタン） ＋ 宛先のメールアドレス ＋ 組み合わせるワンタッチボタン ＋ セット → 次の宛先を選べる

例：「abc@mgcs.mei.co.jp」「ワンタッチボタン01」「短縮ダイヤル01」を指定する。

ファクス **ランプ点灯状態で** ・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 原稿をセットする

2 Eメール **を押し、メールアドレスを入力する**

```
メモリー送信          宛先数：000
abc@panasonic.com
                        英記号
うすく■■■□□こく      小さい
```

3 セット **を押す**

```
メモリー送信          宛先数：001
宛先を追加してください
又はスタートで通信します
うすく■■■□□こく      小さい
```

4 01 **を押す**

```
メモリー送信          宛先数：002
東京本社
ワンタッチ：01
うすく■■■□□こく      小さい
```

5 短縮 **0わ記号** **1あ** **を押す**

```
メモリー送信          宛先数：003
松下電送システム
短縮：01（2桁）
うすく■■■□□こく      小さい
```

6 セット **を押す**

```
メモリー送信          宛先数：003
宛先を追加してください
又はスタートで通信します
うすく■■■□□こく      小さい
```

7 スタート **を押す**

原稿を読み取り、送信が開始されます。

お知らせ

- ● 複数宛先指定の途中で ◀ ▶ ボタンを押すと、指定した宛先の確認ができます。
- ● 間違った宛先を指定したときは、◀ ▶ ボタンで宛先を表示させてから クリアー を押してください。

回転送信について

A4原稿を「← 」方向へセットしたとき、読み取った画像を90°回転し送信して、相手のA4用紙に等倍送信します。

ファクス ランプ点灯状態で
・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **システム登録を選ぶ**　ファンクション　7 ま PQRS　4 た GHI　セット

2 **回転送信の設定を選ぶ**　0 わ 記号　7 ま PQRS　8 や TUV　セット

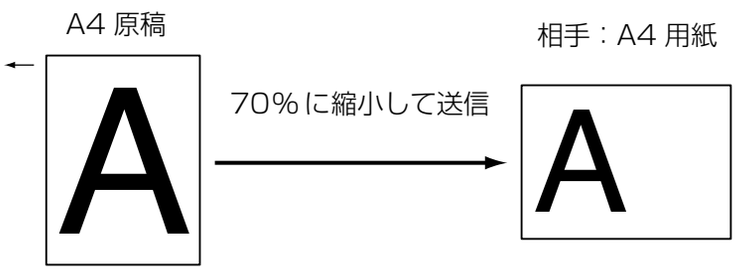
```
078 回転送信              設定：1
1．なし        2．あり
うすく■■■□□こく      小さい
```

3 **回転送信を有効にする**　2 か ABC　セット

4 **ストップ を押す**
・待機状態に戻ります。

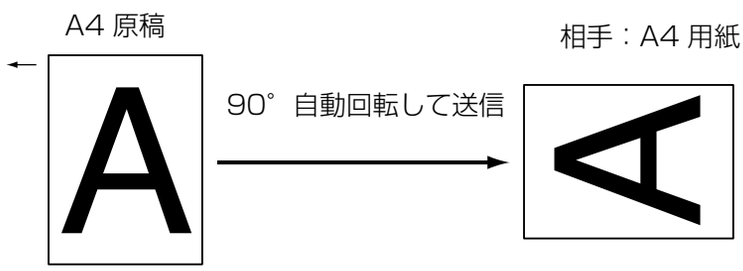
■回転送信をしない場合

（図1）　ウラ向きにして原稿台に挿入



■回転送信を有効にした場合

（図2）　ウラ向きにして原稿台に挿入



お知らせ

- 回転送信は、メモリー送信（メモリーランプが点灯）のときにご利用できます。
- お買い上げ時の設定では、システム登録の「078 回転送信」は“あり”になっています。

メモリーがいっぱいになると

インターネット通信を使って送信する場合、システムの「０８２ クイックメモリー送信」（ファクス編取扱説明書を参照してください）の設定が“あり”で宛先数が１つの場合にメモリーがいっぱいになった場合は送信できません。また、設定が“なし”のときまたは、設定が”あり”で宛先数が複数な場合にメモリーがいっぱいになった場合は、次のどちらかの操作をしてください。

- １ ：中止で動作を中止し、メモリーの内容の消去を行います。再度すべての原稿を「ダイレクト送信」してください。
- ２ ：実行で、完全に蓄積されたページまでを送信します。残りの原稿を送信し直してください。

1 **アラームが鳴る**

```
メモリーが一杯になりました
送信しますか
１：中止        ２：実行

うすく■■■□□こく        ふつう
```

2 **(1 あ)または(2 か ABC)を押す**

お知らせ

- 1 ページ目でメモリーがいっぱいになったときは、送信することはできません。
- 取り消しの選択画面が表示されてから、約 1 分、何も操作しないと、自動的にメモリーの内容が宛先に送信されます。
- システム登録の「082 クイックメモリー送信」（ファクス編取扱説明書を参照してください）の設定が“なし”のとき、宛先数が1つで複数枚メモリー送信する場合、メモリー使用量が 70%を超えた場合は、自動的にダイレクト送信に切り替わって送信します。

通信結果レポート

送信をしたとき、宛先や通信結果をレポートにしてプリントできます。

- システム登録の「012 通信結果レポート」を設定すれば、レポートのプリント方法を選択できます。（☛ファクス編取扱説明書を参照してください）
- お買い上げ時は、通信エラーのときだけレポートをプリントします。

```
                                        01頁
                                  UF-A918 AJV10000AZ
通信結果レポート
                                  松下電送システム株式会社
                                  02年01月15日17時24分

＊＊＊  未通信があります。＊＊＊
受付番号：012
受付日時：01月15日17時15分
完了日時：01月15日17時24分
```

発信元情報について

送信したとき、発信元に登録（☛ファクス編取扱説明書を参照してください）された会社名や部署名を通信時刻などと一緒に相手の用紙の先端にプリントできます。

相手用紙のプリント例

```
'02年01月15日(火)17時15分  宛先松下電送システム本社    発信：松下電送システム営業    R:204  P.01／01
```

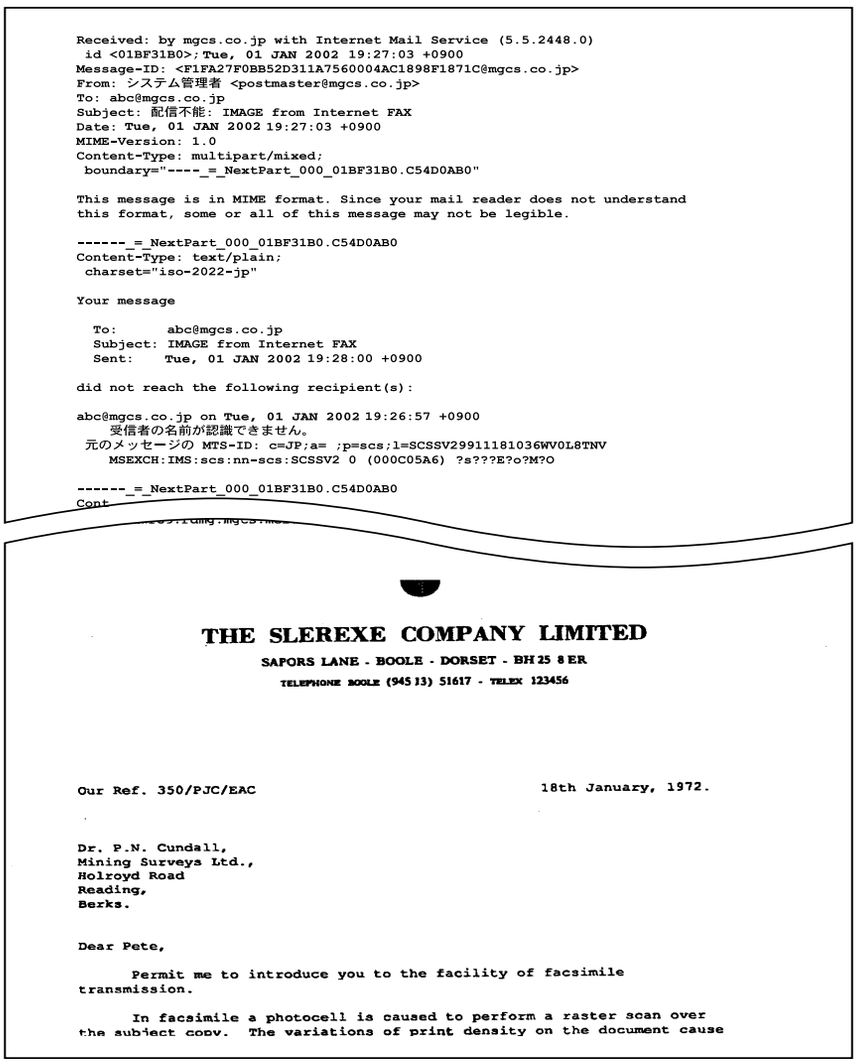
メーリングリストを使う

複数の相手のメールアドレスを指定するかわりに、あらかじめメールサーバーに登録されたメーリングリストを利用すると、１回の操作で、簡単に複数宛先送信ができます。
●直接ダイヤル（「メールアドレスを直接指定して送信する」（☛ 28 ページ））
●ワンタッチダイヤル（☛ 30 ページ）
●短縮ダイヤル（☛ 29 ページ）
メーリングリストのご利用については、システム管理者とよくご相談のうえご使用ください。

エラーメール

インターネットファクス通信では、正常に送れなかった場合にメールサーバーからエラーメールが返送されてきます。メールサーバーからの情報としてテキストと１枚目の画情報がプリントされます。

〈エラーメールのプリント例〉（電子メールアドレスが正しくない場合）



```
Received: by mgcs.co.jp with Internet Mail Service (5.5.2448.0)
 id <01BF31B0>; Tue, 01 JAN 2002 19:27:03 +0900
Message-ID: <F1FA27F0BB52D311A7560004AC1898F1871C@mgcs.co.jp>
From: システム管理者 <postmaster@mgcs.co.jp>
To: abc@mgcs.co.jp
Subject: 配信不能: IMAGE from Internet FAX
Date: Tue, 01 JAN 2002 19:27:03 +0900
MIME-Version: 1.0
Content-Type: multipart/mixed;
 boundary="----_=_NextPart_000_01BF31B0.C54D0AB0"

This message is in MIME format. Since your mail reader does not understand
this format, some or all of this message may not be legible.

------_=_NextPart_000_01BF31B0.C54D0AB0
Content-Type: text/plain;
 charset="iso-2022-jp"

Your message

  To:      abc@mgcs.co.jp
  Subject: IMAGE from Internet FAX
  Sent:    Tue, 01 JAN 2002 19:28:00 +0900

did not reach the following recipient(s):

abc@mgcs.co.jp on Tue, 01 JAN 2002 19:26:57 +0900
    受信者の名前が認識できません。
 元のメッセージの MTS-ID: c=JP;a= ;p=scs;l=SCSSV29911181036WV0L8TNV
    MSEXCH:IMS:scs:nn-scs:SCSSV2 0 (000C05A6) ?s???E?o?M?O

------_=_NextPart_000_01BF31B0.C54D0AB0
Cont
```

THE SLEREXE COMPANY LIMITED

SAPORS LANE - BOOLE - DORSET - BH 25 8 ER

TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC　　18th January, 1972.

Dr. P.N. Cundall,
Mining Surveys Ltd.,
Holroyd Road
Reading,
Berks.

Dear Pete,

Permit me to introduce you to the facility of facsimile transmission.

In facsimile a photocell is caused to perform a raster scan over the subject copy. The variations of print density on the document cause

FROM 選択機能の登録

システム登録「145 FROM選択機能」を「あり」にすると、メール送信時に、発信元やメールのFrom欄の内容を選ぶことができます。お買い上げ時の設定は「なし」になっています。
24 個（No.01 ～No.24）の名称とアドレスを登録できます。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション ○ 7 PQRS 4 GHI セット ○ 1 あ 4 GHI 5 JKL セット ○ **を押す**

```
145 ＦＲＯＭ選択機能      設定：１
１．なし          ２．あり
うすく■■■□□こく      小さい
```

2 2 ABC セット ○ **を押す**

```
145 ＦＲＯＭ選択機能
番号入力または∨、∧
を入力してください
うすく■■■□□こく      小さい
```

3 **▼ を押す**

```
No.：０１
名称を登録してください（かな漢）
＿
うすく■■■□□こく      小さい
```

4 **名称を登録する**

・最大 20 文字まで登録できます。
・名称を入れます。
（☛ ファクス編の取扱説明書を参照してください）

```
松下太郎＿
  入力モード：かな漢
■
うすく■■■□□こく      小さい
```

5 セット ○ **を押す**

```
No.：０１
アドレスを指定してください
＿                    英記号
うすく■■■□□こく      小さい
```

6 **アドレスを指定する**

・最大 60 桁まで登録できます。

```
No.：０１
アドレスを指定してください
Taro@pana.co.jp＿     英記号
うすく■■■□□こく      小さい
```

7 セット ○ **を押す**

・続けて登録ができます。
・手順３からの操作を繰り返します。

```
No.：０２
名称を登録してください(かな漢)
＿
うすく■■■□□こく      小さい
```

お知らせ ● 登録を途中でやめるときは、ストップ ⊖ を押してください。

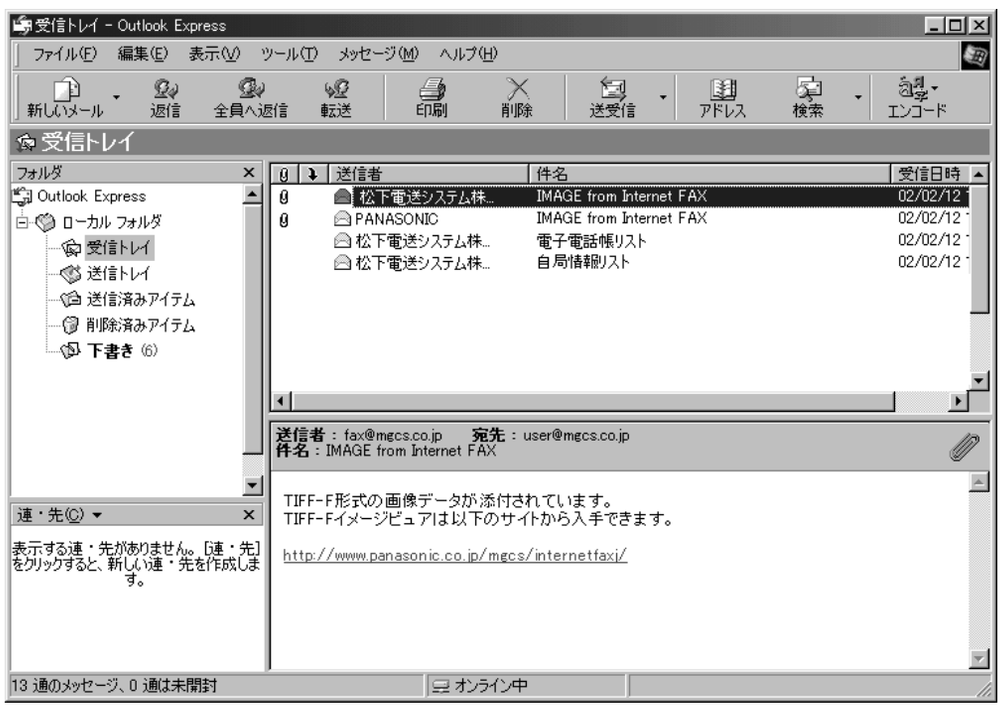
受信のしかた

LAN内のPCおよびインターネットファクスからの受信については、自動的にプリントされて受信トレイに排出されます。受信するための設定はありません。ただし、POPサーバーに接続してインターネットファクスをご利用の場合は、POP 関連の設定が必要になります。（☛ 45 ページ）

インターネットファクスは原稿以外に電子メールも受信できます。
電子メールをPC で見る場合の操作については、お使いのメールソフトやビューアーソフトの取扱説明書をご覧ください。

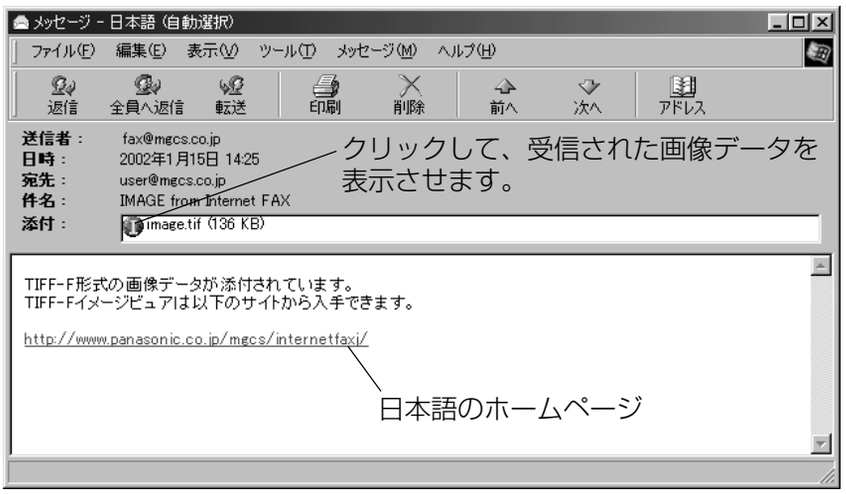
次に電子メールを PC で見る場合の一例を示します。

〈インターネットファクス送信を PC で受信した場合の画面〉



インターネットファクスからの電子メールは件名が「IMAGE from Internet FAX」となっています。

〈インターネットファクスから受信したメールを表示させた場合の画面〉



ソフトウェアのダウンロードについて

フリーソフトの TIFF ビューアー、 TIFF コンバーター、プリンタードライバー、 LPR が以下のホームページからダウンロードできます。

・日本語のホームページ　　http://www.panasonic.co.jp/mgcs/internetfaxj/
・英語のホームページ　　http://www.panasonic.co.jp/mgcs/internetfax/

●ダウンロードしたソフトウェアのインストール作業並びにインストール後の動作に関しましては、お客様の責任の元お取り扱いいただきますようお願いいたします。当社では、このソフトウェアについての動作保証、インストール後の二次的損害に関しては一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

POP 受信

POP サーバーに接続してご利用されている場合には、以下の方法で受信できます。
（お使いの機器がPOPサーバーに接続されているかどうかは、システム管理者の方におたずねください）

■POP による受信の設定

●システム登録の、「146 POP取得間隔」、「147 POP自動受信」、「148 POP受信後削除」、「149 POP エラー時削除」を設定します。

「POP 取得間隔」　：POP サーバーに受信メールの問い合わせを行う間隔（0 ～ 60 分）を設定します。（0 分の時は自動で問い合わせは行いません。）

「POP 自動受信」　：POPサーバー自動問い合わせで受信メールが有る場合、メールを受信し、プリントします。
オフの場合は、ディスプレイに受信メールの件数のみを表示します。

「POP 受信後削除」　：メール受信後、サーバーからメールを削除する･しないを設定します。

「POP エラー時削除」：プリントできない添付ファイルを受信した場合、サーバーからメールを削除する・しないを設定します。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 登録モードを選ぶ

ファンクション ◯ (7 ま PQRS) を押す

```
登録モード                （1－7）
番号入力または∨、∧
を入力してください
うすく■■■□□こく　　小さい
```

2 システム登録を選ぶ

(4 た GHI) セット ◯ を押す

```
システムの登録            (001-165)
No.＝_　　（3 桁）
うすく■■■□□こく　　小さい
```

3 POP 取得間隔を選ぶ

(1 あ) (4 た GHI) (6 は MNO) セット ◯ を押す

```
146 ＰＯＰ取得間隔
 0 3 分（0～6 0［分］）
うすく■■■□□こく　　小さい
```

4 取得間隔（0 ～ 60 分）を入力する

・ テンキーで 0 ～ 60 の数字を入力します。
・ 間違えたときは クリアー ◯ で消去して再度入力します。

5 セット ◯ を押す

・ POP 自動受信の登録表示に移ります。

```
147 ＰＯＰ自動受信　　設定：2
1．なし　　2．あり
うすく■■■□□こく　　小さい
```

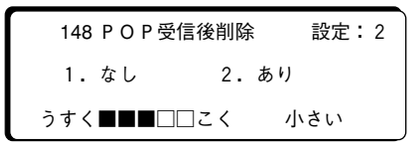
6 “なし”または“あり”を選ぶ

(1 あ) または (2 か ABC) を押す

```
148 ＰＯＰ受信後削除　　設定：1
1．なし　　2．あり
うすく■■■□□こく　　小さい
```

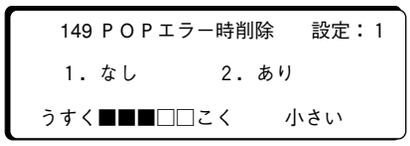
7 セット ○ **を押す**

・POP 受信後削除の登録表示に移ります。



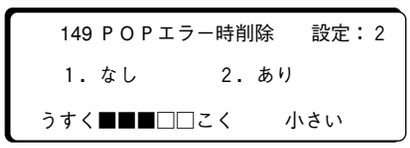
8 **“なし”または“あり”を選ぶ**

1 あ **または** 2 か ABC **を押す**



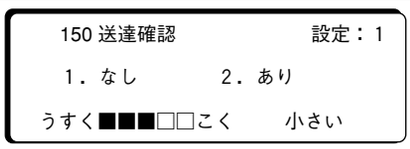
9 セット ○ **を押す**

・POP エラー時削除の登録表示に移ります。

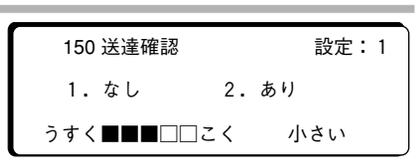


10 **“なし”または“あり”を選ぶ**

1 あ **または** 2 か ABC **を押す**



11 セット ○ **を押す**



12 ストップ ⊖ **を押す**

・待機状態に戻ります。

お知らせ

- 設定を途中でやめるときは、ストップ ⊖ を押してください。
- 設定項目の一覧は、112 ページを参照してください。
- プリントできない添付ファイルを受信した場合、エラーメッセージをプリントし、プリントできなかったことを知らせます。
  「149 POP エラー時削除」を“なし”に設定しておけば、エラーになったメールをサーバーから削除しないため、あとから PC で受信することができます。
- 「148 POP 受信後削除」、「149 POP エラー時削除」を“なし”に設定した場合は、サーバーが保存できるメール数に限りがあるため、定期的にサーバーからメールを削除する必要があります。
  PC で受信するか、「148 POP 受信後削除」、「149 POP エラー時削除」を“あり”に設定し POP 受信を行い、サーバーからメールを削除してください。
- 「148 POP 受信後削除」、「149 POP エラー時削除」を“なし”から“あり”に変更し POP 受信を行うと、サーバーに残っているメールをすべて受信するため、以前にプリントしたメールが再度プリントされる場合があります。

■POP による自動受信

システム登録の、「146 POP 取得間隔」が“0 分”以外で、「147 POP 自動受信」が、“あり”の場合（☛45 ページ）、「146 POP 取得間隔」で指定されて時間間隔で POP サーバーに受信メールの有り無しを問い合わせ、有る場合は自動受信し、プリントします。

- 「POP 取得間隔」が 0 分の場合は自動で POP サーバーに受信メールの有り無しを問い合わせにいかないため自動受信はしません。この場合は、手動で POP 受信を行ってください。
- 「POP 自動受信」が“なし”の場合、「POP 取得間隔」で指定された時間間隔で POP サーバーに受信メールの有り無しを問い合わせ、有る場合は件数をディスプレイ上に表示します。

■POP による受信

システム登録の「147 POP 自動受信」を「なし」に設定した場合（☛112 ページ）は、手動で POP サーバーから受信できます。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 スタート を押す

```
 1月10日（木） 17:15    00%
通信ができます

うすく■■■□□こく      小さい
```

または

```
 1月10日（木） 17:15    00%
メールが届いています
受信件数：1件

うすく■■■□□こく      小さい
```

2 サーバーに受信メールがない場合はエラーを表示します。

```
 ＰＯＰ受信
受信メールはありません

うすく■■■□□こく      小さい
```

3 サーバーに受信メールが有る場合は、件数を表示した後メールを受信し、プリントします。

```
 受信
通信中（LAN）受信頁：０１
aaa@panasonic.com
うすく■■■□□こく      小さい
```

```
 受信データ
プリントしています

うすく■■■□□こく      小さい
```

お知らせ

- ワンタッチボタンにユーザー名、パスワードを登録することで、自局設定以外のユーザー名で POP 受信することができます。（☛49 ページ）
- 1 度の操作で受信できるメールは 20 件までです。
  20 件以上のメールが POP サーバーにある場合、ディスプレイ上に表示されるメールの件数は 20 件となります。
- ディスプレイに表示されるメールの件数が 20 件の場合は、手順 3 の受信終了後、もう一度手順 1 からの操作を行って受信メールがないことを確認してください。

■ POP 手動受信の登録

ワンタッチにPOPサーバーのユーザー名、パスワードを登録してPOPサーバーからメールを受信することができます。

(ファクス) ランプ点灯状態で ・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **ファンクション ○ 7 ま PQRS 3 さ DEF セット ○ 5 な JKL セット ○ を押す**

```
ＰＯＰ手動受信の登録
ボタン（１～６０）
              を押してください
うすく■■■□□こく      小さい
```

2 **登録するワンタッチ（01 ～ 60）を押す**

・ 指定したワンタッチに登録内容があるときは 3 段目にその内容を表示します。

```
ＰＯＰユーザー名の登録
名称を登録してください
_                      英記号
うすく■■■□□こく      小さい
```

3 **ユーザー名称を入れる**

・ ワンタッチダイヤルやテンキーから英数字を入力してください。 最大 40 文字まで入力できます。

```
ＰＯＰユーザー名の登録
名称を登録してください
taro                   英記号
うすく■■■□□こく      小さい
```

4 **セット ○ を押す**

```
ＰＯＰパスワードの登録
_                      英記号
うすく■■■□□こく      小さい
```

5 **パスワードを入れる**

・ ワンタッチダイヤルやテンキーから英数字を入力してください。 最大 10 文字まで入力できます。

```
ＰＯＰパスワードの登録
Pana123                英記号
うすく■■■□□こく      小さい
```

6 **セット ○ を押す**

```
メールの削除           設定：1
1．しない    2．する
うすく■■■□□こく      小さい
```

7 **POP 受信後メールを削除する時は 2 か ABC を押します。**

・ POP 受信後メールを削除しない時は 1 あ を押します

```
メールの削除           設定：2
1．しない    2．する
うすく■■■□□こく      小さい
```

8 **セット ○ を押す**

・ 続けて POP 手動受信の登録ができます。
・ 手順 2 から操作を繰り返します。

9 **ストップ ⊖ を押す**

お知らせ

- 登録を途中でやめるときは、ストップ ⊖ を押してください。
- 手順5で何も入力しないでセットを押すと、ワンタッチを使ったPOP受信時に入力することができます。（☛49 ページ）

■ワンタッチボタンによる POP 受信

ワンタッチにPOPサーバーのユーザー名、パスワードを登録してPOPサーバーからメールを受信することができます。

- あらかじめワンタッチに POP 手動受信の登録をしておいてください。（☛48 ページ）
- あらかじめ登録したユーザー名は、ワンタッチによるPOP受信操作時に変更することができます。
- パスワードは登録時省略することができます。その時はワンタッチによるPOP受信時に入力します。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **POP 手動受信が登録してあるワンタッチ（01 ～ 60）を押す**

・ユーザー名が表示されます。
・ユーザー名を変更するときは (クリアー) で消去し、英数字で入力します。最大 40 文字まで入力します。

```
ＰＯＰユーザー名
taro
うすく■■■□□こく　　小さい
```

```
ＰＯＰユーザー名
_
うすく■■■□□こく　　小さい
```

2 (スタート) **を押す**

・パスワードが登録されている時は手順 3 へ進みます。
・パスワードが登録されていない時は右のようになります。ワンタッチダイヤルやテンキーから英数字を入力してください。最大 10 文字まで入力できます。

```
ＰＯＰパスワード
_
うすく■■■□□こく　　小さい
```

3 **サーバーに受信メールがない場合は次のメッセージを表示します。**

```
ＰＯＰ受信
受信メールはありません
うすく■■■□□こく　　小さい
```

4 **サーバーに受信メールがある場合は件数を表示した後メールを受信し、プリントします。**

```
受信
通信中（LAN）　受信頁：０１
aaa@panasonic.com
うすく■■■□□こく　　小さい
```

▼

```
受信データ
プリントしています
うすく■■■□□こく　　小さい
```

お知らせ

- 1 度の操作で受信できるメールは 20 件までです。
- 20 件以上のメールが POP サーバーにある場合、ディスプレイ上に表示されるメールの件数は 20 件となります。
- ディスプレイに表示されるメールの件数が 20 件の場合は、手順 4 の受信終了後、もう一度手順 1 からの操作をおこなって受信メールがないことを確認してください。

ルーティング

一般回線のファクスから受信した文書を、LAN 上のパソコンまたはインターネットファクスにメール送信することができます。
また、別の一般回線のファクスにファクス送信することもできます。

■ルーティングの設定

●システム登録の、「152 SUB ルーティング」、「153 数字 ID ルーティング」を両方またはどちらか一つを「あり」に設定します。

「SUB ルーティング」　：Fコード通信（サブアドレス通信）を利用できるG3ファクスからFコードのサブアドレスを使用してルーティングする場合に“あり”に設定します。
送信側 G3 ファクスから F コードのサブアドレスで本機に登録されている宛先を指定してルーティングすることが可能です。（☛107 ページ）

「数字 ID ルーティング」：F コード通信を利用できないファクスから、ルーティングさせる場合に“あり”に設定します。
送信側ファクスから送られてくる数字IDで本機に登録されている宛先にルーティングすることが可能です。（☛107 ページ）

ファクス ランプ点灯状態で　・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 登録モードを選ぶ
ファンクション　7 ま PQRS

2 システム登録を選ぶ
4 た GHI　セット

3 SUB ルーティングを選ぶ
1 あ　5 な JKL　2 か ABC　セット を押す

```
152 SUBルーティング      設定：2
1．なし          2．あり
うすく■■■□□こく      小さい
```

4 “あり”を選ぶ
2 か ABC を押す

```
152 SUBルーティング      設定：2
1．なし          2．あり
うすく■■■□□こく      小さい
```

5 セット を押す
・数字 ID ルーティングの登録表示に変わります。

```
153 数字IDルーティング    設定：1
1．なし          2．あり
うすく■■■□□こく      小さい
```

6 “あり”を選び 2 か ABC を押す

```
153 数字IDルーティング    設定：2
1．なし          2．あり
うすく■■■□□こく      小さい
```

7 セット を押す

```
154 ルーティング時FROM   設定：1
1．中継局        2．指示局
うすく■■■□□こく      小さい
```

8 ストップ を押す
・待機状態に戻ります。

お知らせ
- 設定を途中でやめるときは、ストップを押してください。
- 設定項目の一覧は、112 ページを参照してください。
- ご利用できるファクスに関して、ご不明な場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施店にご相談ください。

通信管理レポート送信

通信管理レポートを指定したメールアドレスにメール送信することができます。
システム登録「013 通信管理レポート」が”あり”のときは通常自機で通信管理レポートをプリントしますが、システム登録「157 管理レポート送信」を設定することにより、指定した宛先にメール送信することができます。

■通信管理レポート送信の設定

●システム登録の、「157 管理レポート送信」を設定します。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 登録モードを選ぶ

ファンクション ○ 7(ま PQRS)

2 システム登録を選ぶ

4(た GHI) セット ○

3 管理レポート送信を選ぶ

1(あ) 5(な JKL) 7(ま PQRS) セット ○ を押す

```
157 管理レポート送信      設定：1
1．なし          2．あり
うすく■■■□□こく      小さい
```

4 “あり”を選ぶ

2(か ABC) を押す

```
157 管理レポート送信      設定：2
1．なし          2．あり
うすく■■■□□こく      小さい
```

5 セット ○ を押す

```
157 管理レポート送信
宛先を指定してください
うすく■■■□□こく      小さい
```

6 宛先を指定する

・ ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル で指定できます。
・ 間違えたときは クリアー ○ で消去して再度入力します。

```
157 管理レポート送信
abc@panasonic.com
短縮：１０　（２桁）
うすく■■■□□こく      小さい
```

7 セット ○ を押す

```
158 メールリモート登録    設定：1
1．なし          2．あり
うすく■■■□□こく      小さい
```

8 ストップ ⊖ を押す

・ 待機状態に戻ります。

お知らせ

● 通信管理レポートは 40 通信に達した時に自動送信されます。
● 設定を途中でやめるときは、ストップ ⊖ を押してください。
● 設定項目の一覧は、112 ページを参照してください。

送達確認

メール受信したときは、送信元に受信確認メールを自動的に送信することができます。
送達確認の送信は、送信元の機種が限定されます。詳しくは、お買い上げの販売店または、サービス実施店にご相談ください。

■送達確認の設定

● システム登録の「150 送達確認」を設定します。
“1：なし”受信確認メールを送信しません。
“2：あり”メールを受信したときに受信確認メールを送信します。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 登録モードを選ぶ

ファンクション ○ 7ま PQRS

2 システム登録を選ぶ

4た GHI セット ○

3 送達確認を選ぶ

1あ 5な JKL 0わ 記号 セット ○ を押す

```
150 送達確認              設定：1
 1．なし        2．あり
うすく■■■□□こく      小さい
```

4 返送条件を選ぶ

1あ または 2か ABC

```
150 送達確認              設定：2
 1．なし        2．あり
うすく■■■□□こく      小さい
```

5 セット ○ を押す

```
151 メールヘッダー表示    設定：3
 1．なし
 2．全て        3．編集
うすく■■■□□こく      小さい
```

6 ストップ ⊖ を押す

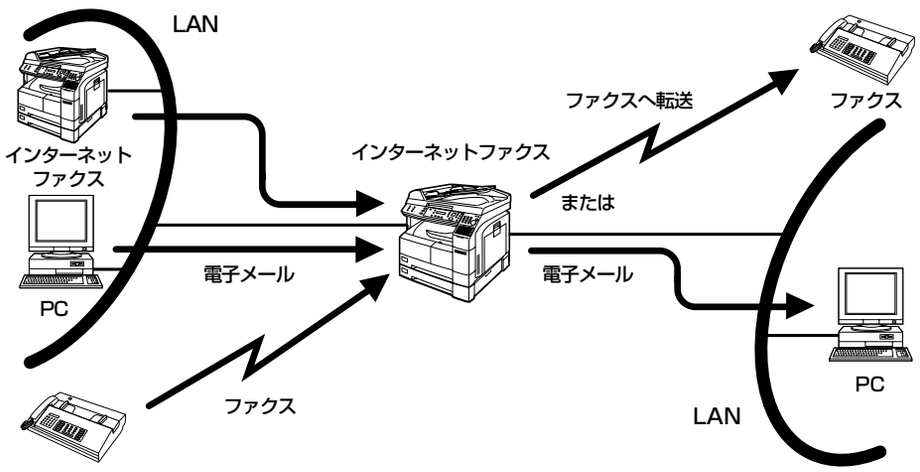
・待機状態に戻ります。

お知らせ

● 設定を途中でやめるときは、ストップ ⊖を押してください。
● 設定項目の一覧は、112ページを参照してください。
● PCから送信したメールを受信したときは、送信元に受信確認メールを送信することはできません。

メモリー転送

一般回線用ファクスからの受信原稿と、LAN 経由で受信した電子メールが転送できます。
また宛先としては、メールアドレスか電話番号のどちらかが登録できます。



■メモリー転送の設定

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 登録モードを選ぶ

ファンクション ○　7 ま PQRS

2 システム登録を選ぶ

4 た GHI　セット ○

3 メモリー転送を選ぶ

0 わ 記号　5 な JKL　4 た GHI　セット ○ を押す

```
054 メモリー転送          設定：1
 1．なし        2．あり
うすく■■■□□こく      小さい
```

4 “あり”を選ぶ

2 か ABC を押す

```
054 メモリー転送          設定：2
 1．なし        2．あり
うすく■■■□□こく      小さい
```

5 セット ○ を押す

```
054 メモリー転送先の指定
宛先を指定してください

うすく■■■□□こく      小さい
```

6 宛先を指定する

・短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤルで指定できます。

例：「短縮ダイヤル01」

```
054 メモリー転送先の指定
松下電送システム
短縮：０１　（２桁）
うすく■■■□□こく      小さい
```

7 セット ○ **を押す**

・着信ポートの指定をします。

例：(1あ) ～ (3さDEF) で指定します

「選択画面例」

```
054 着信ポートの指定
1．外線          2．ＬＡＮ
3．指定なし

うすく■■■□□こく      小さい
```

8 **メモリー転送時間帯の指定をする**

```
054 メモリー転送時間帯の指定
1．なし          2．あり
うすく■■■□□こく      小さい
```

9 **メモリー転送時間帯の指定をしない時は (1あ) を押す**

・指定する時は (2かABC) を押して、開始時刻と終了時刻を入力します。

```
054 自端末出力の指定
1．なし          2．あり
うすく■■■□□こく      小さい
```

10 **自端末出力の指定をしない時は (1あ) を押す**

・指定する時は (2かABC) を押します。

```
061 ファクス／コピーモード 設定：1
1．ファクス      2．コピー
うすく■■■□□こく      小さい
```

11 ストップ ⊖ **を押す**

お知らせ

- 手順７で着信ポートにLANを指定する時は“２．ＬＡＮ”を指定します。
- メモリー転送の設定を途中でやめるときは、ストップ ⊖ を押してください。
- 手動受信した原稿は転送せずにプリントします。

メモリー転送をセットしているとき ファクスまたは電子メールを受信すると

メモリー転送設定中 → ファクスまたは電子メールを受信する → 受信が終わる → 登録されている転送先へ受信した原稿または電子メールの送信を始める

お知らせ

- メモリー受信中にメモリーがいっぱいになった場合は、メモリーに受信できたページまでを転送します。
- 転送先が話し中などでつながらなかったときは、通信結果レポートと受信した原稿をプリントします。（☛ファクス編取扱説明書を参照してください）
- メモリー容量が約98%以上のときは、送信されても呼出音を鳴らすだけで受信できません。インターネットからの送信の場合は呼出音は鳴りません。

■メモリー転送の解除

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 登録モードを選ぶ

ファンクション　7 ま PQRS

2 システム登録を選ぶ

4 た GHI　セット

3 メモリー転送を選ぶ

0 わ 記号　5 な JKL　4 た GHI　セット を押す

```
054 メモリー転送          設定：2
1．なし        2．あり
うすく■■■□□こく      小さい
```

4 “なし”を選ぶ

1 あ を押す

```
054 メモリー転送          設定：1
1．なし        2．あり
うすく■■■□□こく      小さい
```

5 セット を押す

```
061 ファクス／コピーモード 設定：1
1．ファクス    2．コピー
うすく■■■□□こく      小さい
```

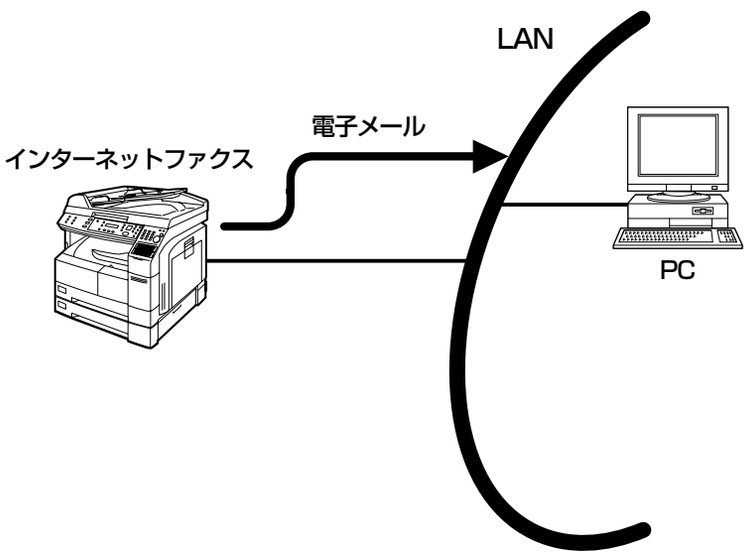
6 ストップ を押す

お知らせ

● メモリー転送の解除を途中でやめるときは、ストップを押してください。

ネットワークスキャナー

インターネットファクスをスキャナーとしてご利用になれます。
インターネット通信を利用して、画像（原稿）をインターネットファクスからPCのメールアドレスへ送信することにより、画像データをPC側で読み込むことができます。



ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 原稿をセットする

・原稿に合わせて、読取モードが設定できます。

```
   1月10日（木） 17:15    00%
通信ができます
原稿がセットされています

うすく■■■□□こく       小さい
```

2 F3 （スキャナー）を押す

3 宛先を指定する（☛28～38ページ）

・ 直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル

・複数の宛先を指定できます。短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤルを組み合わせて入力する場合は最大160宛先、メールアドレスを直接入力する場合は最大30宛先まで指定できます。（☛38ページ「複数宛先の指定のしかた」）

例：「短縮11」

```
メモリー送信              宛先数：001
松下インターネット
短縮：11（2桁）

うすく■■■□□こく       小さい
```

4 スタート を押す

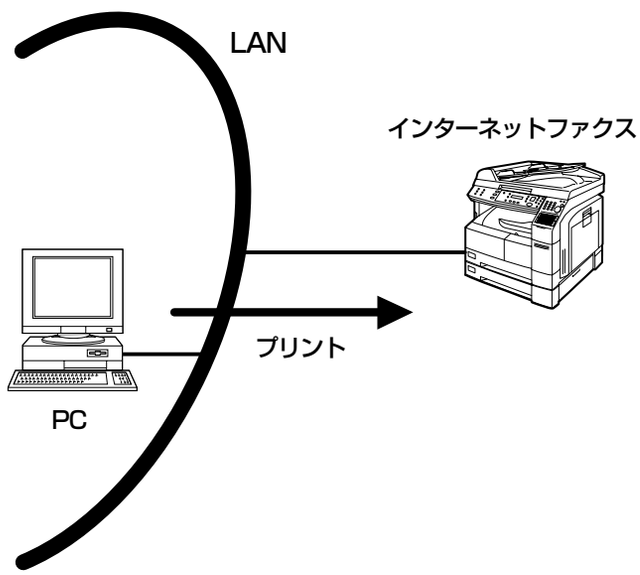
・通信を始めます。

お知らせ

● F3（スキャナー）を押すことにより、発信元印字が付加されません。

ネットワークプリンター

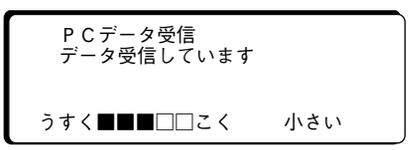
インターネットファクスをネットワークプリンターとしてご利用になれます。
PCの各種アプリケーションで作成した書類をPCからの操作により、LANに接続したインターネットファクスへプリントすることができます。ネットワークプリンター機能を利用するためには、ホームページからソフトウェア(プリンタードライバーおよびLPR)をダウンロードして PC にインストールする必要があります。(☛ 44ページ)



1 PC でプリンターの種別をインターネットファクスに設定する

2 PC からインターネットファクスにプリントする

3 インターネットファクスから出力する



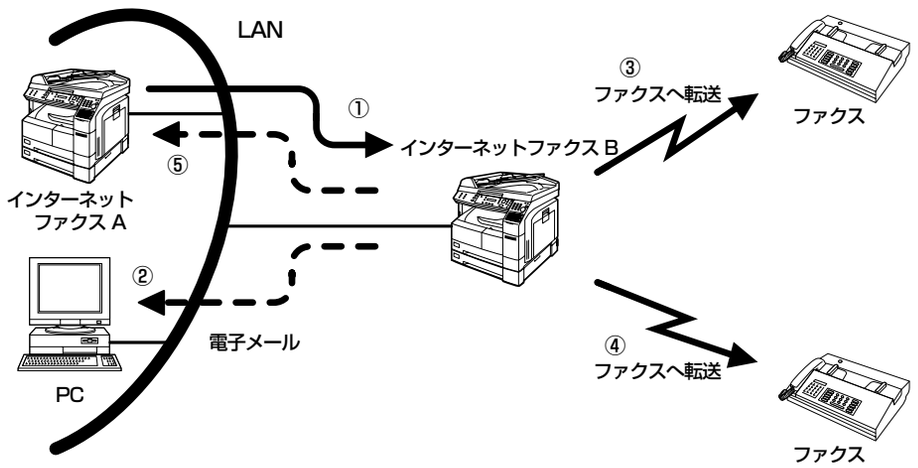
お知らせ

● プリンタードライバーのインストール方法や操作方法については、ダウンロードしたホームページを参照してください。(☛44 ページ)

LAN 中継同報

LAN 中継同報機能を持ったインターネットファクスとネットワークを組むことにより、LAN 経由で送信した電子メールを、一般回線に接続された複数のファクスへ同報送信することができます。

■LAN 中継同報について



以下に LAN 中継同報の流れを説明します。

① LAN中継機能を持ったインターネットファクス Bに、電子メール（TIFF形式のファイルを添付することができます）で、LAN 中継同報を指示します。
あらかじめ、 LAN 中継指示を登録したワンタッチダイヤル（☛99ページ）、短縮ダイヤル（☛102ページ）を使用すると、簡単に LAN 中継同報の指示ができます。（☛ 59ページ）

② 管理者用の PC に、LAN 中継同報指示されたことを電子メールで通知します。（☛ 63ページ）

③ LAN 中継指示された電子メールを、一般回線に接続されたファクスへ順次同報します。
受信した電子メールは、1 枚目にメールヘッダ及びメール本文、2 枚目以降に添付ファイルを出力します。

④ ③のファクスに引き続き、④のファクスに転送します。

⑤ LAN 中継同報が終了したら、通信結果をLAN中継同報を指示したインターネットファクス A（またはPC）へ送達通知メール（☛ 63ページ）で返送します。（送達通知メールには送信原稿がTIFFファイルで添付されます）

お知らせ

- 本機には、LAN経由の中継同報を指示する機能と、LAN中継指示を受けて一般回線に接続されたファクスに送信する機能があります。LAN中継同報の指示については59ページ、62ページ、LAN中継同報指示の為の登録については99～106ページを参照してください。またLAN 中継同報指示受付の為の登録については60、97 ページを参照してください。
- 一般回線に接続されたファクスから、本機にLAN中継同報を指示することはできません。
- LAN に接続されたインターネットファクスやPCを宛先として、LAN経由でLAN中継同報を指示することはできません。
- 本機が LAN 中継指示を一度に受け付ける宛先数は、最大 20 カ所です。20 カ所を越えるLAN中継指示が受け付けられた場合は分割されて処理されます。その場合の中継結果レポートは分割された処理ごとに返送されます。
- POPサーバーに接続してご利用されている場合には、LAN中継指示を受け付けて一般回線に接続されたファクスに送信する機能はご利用になることはできません。

■LAN 中継同報指示

LAN 中継同報送信をする前に

● システム登録の「142 LAN 中継機能」、「143 LAN 中継結果返送」および「140 LAN 中継指示」を設定しておいてください。(☛ 112ページ)

ファクス ランプ点灯状態で　・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 原稿をセットする

・原稿に合わせて、画質を設定できます。

```
   1月10日（木） 17:15    00%
通信ができます
原稿がセットされています

うすく■■■□□こく      小さい
```

2 中継局を選ぶ

ファンクション ○ 2 か ABC 8 や TUV セット ○ を押す

```
LAN中継同報指示
中継局を指定してください

うすく■■■□□こく      小さい
```

3 中継局のメールアドレスを入れる

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル

・ワンタッチダイヤル（01 ～60)、短縮ダイヤル（00 ～99)、直接ダイヤルで 1 局を指定します。

例：「短縮11」

```
LAN中継局の指定
松下インターネット
短縮：11　（2桁）

うすく■■■□□こく      小さい
```

4 セット ○ を押す

```
LAN中継宛先          宛先数：000
宛先を指定してください

うすく■■■□□こく      小さい
```

5 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル

・ワンタッチダイヤル（01 ～60)、短縮ダイヤル（00 ～99)、直接ダイヤルを組み合わせて、最大190宛先まで指定できます。

例：「短縮01」

```
LAN中継宛先          宛先数：001
松下インターネット
短縮：01　（2桁）

うすく■■■□□こく      小さい
```

6 スタート を押す

・原稿の読み取りが始まります。

7 自動的に送信が始まります。

・送信が終わると、待機状態に戻ります。

お知らせ

● 手順3で指定する中継局は、中継局に登録されている中継用パスワードを含んだ、メールアドレスを指定します。
● LAN 中継同報の結果は送達通知メールで返送されてきます。(☛63 ページ)
● LAN に接続されたインターネットファクスや PC を宛先として、LAN 経由で中継同報を指示することはできません。
● 中継局を直接ダイヤルで指定するときはを Eメール 押してからメールアドレスを入力してください。

■LAN 中継機能の設定

●システム登録の「142 LAN 中継機能」、「143 LAN 中継結果返送」を登録します。
「LAN 中継機能」　　：LAN経由で中継通信を行う機能を設定します。
「LAN 中継結果返送」　：LAN中継通信の結果レポート返送の設定をします。

ファクス ランプ点灯状態で　・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **登録モードを選ぶ**
ファンクション ○ 7 ま PQRS を押す

2 **システム登録を選ぶ**
4 た GHI セット ○ を押す

3 **LAN 中継機能を選ぶ**
1 あ 4 た GHI 2 か ABC セット ○ を押す

```
142 ＬＡＮ中継機能        設定：1
 1．なし          2．あり
うすく■■■□□こく      小さい
```

4 **“あり”を選ぶ**
2 か ABC を押す

```
142 ＬＡＮ中継機能        設定：2
 1．なし          2．あり
うすく■■■□□こく      小さい
```

5 セット ○ を押す
・LAN 中継結果返送の登録表示に移ります。

```
143 ＬＡＮ中継結果返送    設定：2
 1．なし
 2．全通信        3．異常時
うすく■■■□□こく      小さい
```

6 **返送条件を選ぶ** 1 あ **または** 2 か ABC **または** 3 さ DEF
・中継結果の返送が不要の時は 1 あ を押します。
・全ての中継通信の結果を返送する時は 2 か ABC を押します。
・未通信の中継結果だけを返送する時は 3 さ DEF を押します。

```
143 ＬＡＮ中継結果返送    設定：2
 1．なし
 2．全通信        3．異常時
うすく■■■□□こく      小さい
```

7 セット ○ を押す

```
145ＦＲＯＭ選択機能       設定：1
 1．なし          2．あり
うすく■■■□□こく      小さい
```

8 ストップ ⊖ を押す
・待機状態に戻ります。

お知らせ
- 設定を途中でやめるときは、ストップ ⊖ を押してください。
- 設定項目の一覧は、112 ページを参照してください。
- POPサーバーに接続してご利用されている場合は、LAN中継機能をご利用になることはできません。

■LAN 中継送信指示の設定

●システム登録の「140 LAN 中継指示」を“あり”に設定します。
“1：なし” ： LAN 中継送信指示することはできません。
“2：あり” ： LAN経由の中継送信指示のみ可能になります(一般回線に接続されている中継局に、中継指示することはできません)。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 登録モードを選ぶ
ファンクション (7 ま PQRS) を押す

2 システム登録を選ぶ
(4 た GHI) (セット) を押す

3 LAN 中継指示を選ぶ
(1 あ) (4 た GHI) (0 わ 記号) (セット) を押す

```
140 ＬＡＮ中継指示        設定：1
1．なし        2．あり
うすく■■■□□こく      小さい
```

4 “あり”を選ぶ
(2 か ABC) を押す

```
140 ＬＡＮ中継指示        設定：2
1．なし        2．あり
うすく■■■□□こく      小さい
```

5 (セット) を押す

```
141 ＬＡＮ縮小送信        設定：1
1．なし        2．あり
うすく■■■□□こく      小さい
```

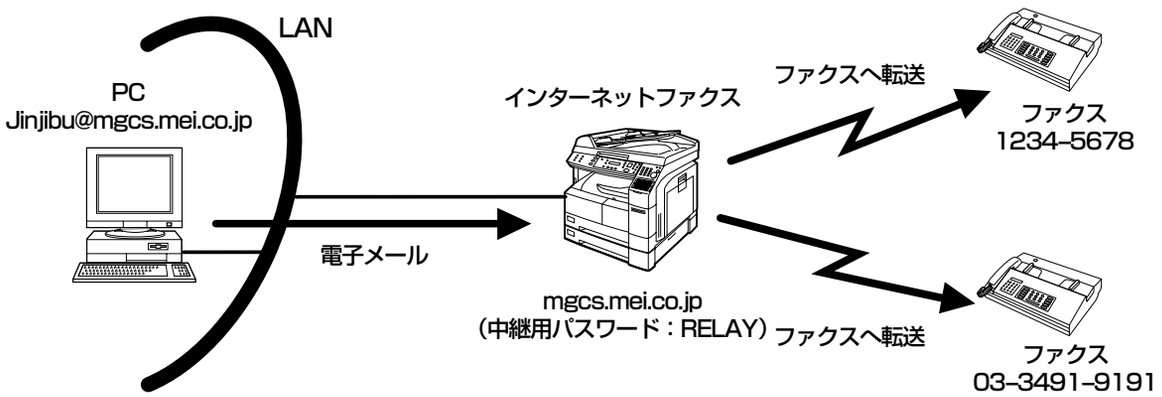
6 (ストップ) を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ
● 設定を途中でやめるときは、(ストップ)を押してください。
● 設定項目の一覧は、112 ページを参照してください。

■PC からの LAN 中継同報指示

ネットワーク上のPCから送信した電子メールを、LAN中継同報機能を持ったインターネットファクスを経由して、一般回線に接続された複数のファクスへ同報送信することができます。
あらかじめ、LAN中継機能を持ったインターネットファクスに、「LAN中継機能の設定」（☛ 60ページ）と「中継局の自局情報登録」（☛ 97 ページ）を登録しておいてください。



電子メールの宛先に、「中継用パスワード＃電話番号 @ 中継局のドメイン名」の形式でファクスの電話番号を含めて指定します。中継局は、あらかじめ登録されている「中継許可用ドメイン名」と、中継を指示したインターネットファクスや PC のメールアドレスを比較して一致した場合だけ、LAN 中継同報を行います。（指示欄のメールアドレスの右から順に、中継許可用ドメイン名の文字数分の比較を行います。）

【LAN 中継指示の例】
［宛先情報］ RELAY # 0W0334919191 @ mgcs.mei.co.jp
［指示機アドレス］ Jinjibu@mgcs.mei.co.jp
　中継用パスワード：RELAY
　宛先の電話番号：0W0334919191（最大 60 桁で、0 ～ 9、*、#、W、T が使用できます。）
　　・＃＊中継宛先（ワンタッチ番号）　　：＃*1001　—＃*1060
　　・＃＊中継宛先（短縮ダイヤル番号）　　：＃*000 —＃*099
　　中継許可用ドメイン名： mei.co.jp
　　・ 中継用パスワードと電話番号の間には＃を入れてください。
　　・ 電話番号と中継局のドメイン名の間には @ を入れてください。
　　・ 電話番号中の W はポーズをあらわします。
　　構内交換機等での発呼などで、必要な場合に挿入してください。
　　・ 電話番号中に T を入れるとプッシュボタン信号に切り替えることができます。回転ダイヤル式回線で、プッシュホン信号に切り替える必要があるとき挿入してください。

　複数の宛先を指定するときは、カンマ（,）で区切って、1 宛先ずつ「中継用パスワード＃電話番号 @ 中継局のドメイン名」を複数回入力してください。（最大 20 宛先）
【複数宛先の例】
　RELAY # 0W0334919191@mgcs.mei.co.jp,RELAY # 0W12345678@mgcs.mei.co.jp

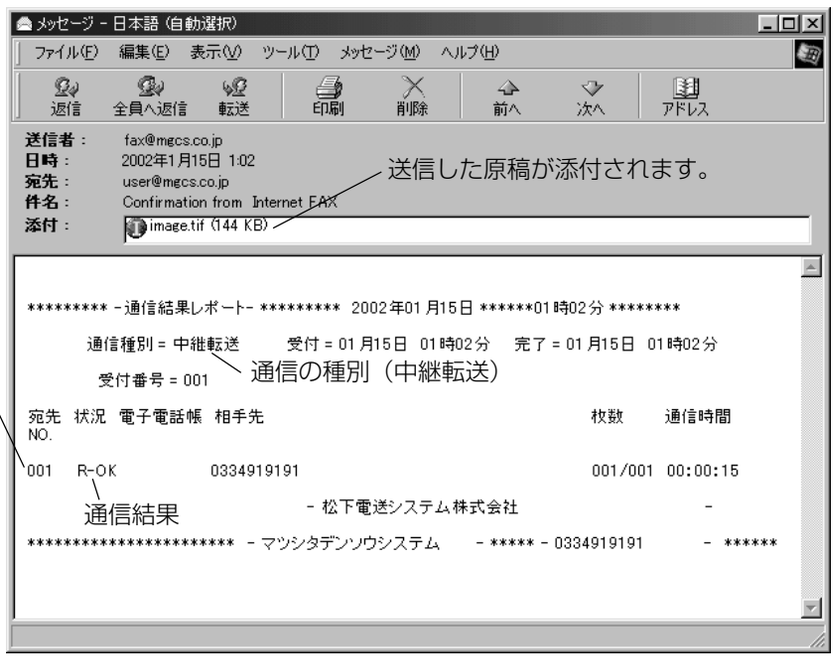
お知らせ

- 誤送信を防ぐために、宛先の電話番号を指定する時は、必ず市外局番から指定してください。
- 中継の宛先にはファクスへの電話番号だけを指定してください。LAN に接続された宛先を一緒に指定すると、その宛先へもLAN中継指示の宛先情報が送られてしまいます。

■LAN 中継同報の通信結果

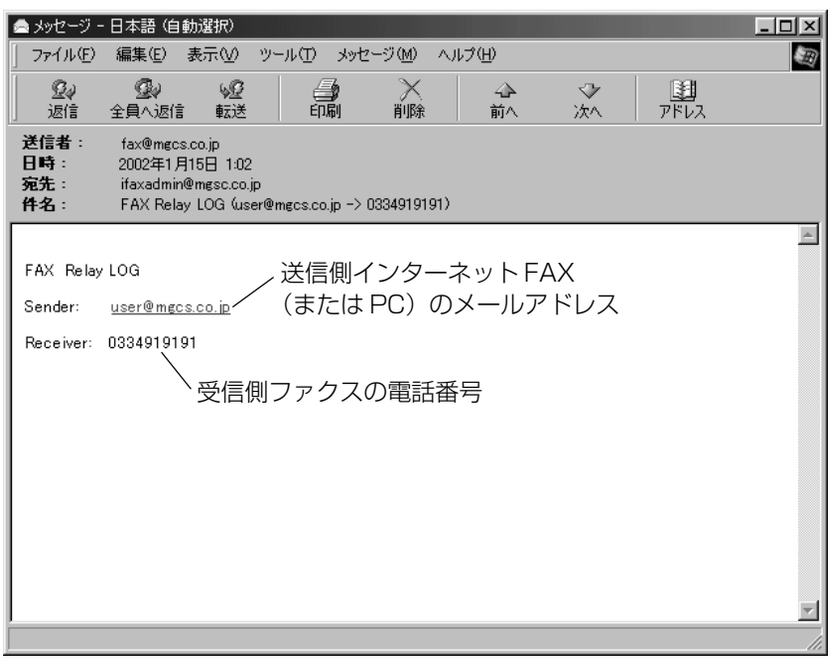
●送達通知メール

LAN 中継同報通信の結果は、中継機から送達通知メールで返送されてきます。


メッセージ - 日本語 (自動選択)
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) メッセージ(M) ヘルプ(H)
返信 全員へ返信 転送 印刷 削除 前へ 次へ アドレス
送信者： fax@mgcs.co.jp
日時： 2002年1月15日 1:02
宛先： user@mgcs.co.jp
件名： Confirmation from Internet FAX
添付： image.tif (144 KB)
送信した原稿が添付されます。
LAN 中継同報の
宛先順に 001 から
順に番号がつきます
********* -通信結果レポート- ********* 2002年01月15日 ******01時02分 ********
通信種別 = 中継転送 受付 = 01月15日 01時02分 完了 = 01月15日 01時02分
受付番号 = 001
通信の種別（中継転送）
宛先 NO. 状況 電子電話帳 相手先 枚数 通信時間
001 R-OK 0334919191 001/001 00:00:15
通信結果
- 松下電送システム株式会社 -
********** - マツシタデンソウシステム - ***** - 0334919191 - ******

●管理者宛メール

中継機は、LAN 中継同報の指示を受け付けると、登録されている管理者（☛97 ページ）へ、電子メールで通知します。



■PC からインターネットファクス経由でファクスへ送信する

Outlook 等の電子メールアプリケーションを使って、TIFF-FX 形式のファイルを添付すれば、複数の宛先のファクスへ中継送信することができます。
この機能をご利用になるには、事前に本機のパラメーター（自局情報の中継パスワード）を正しく設定しておく必要があります。
同時にDNS サーバーへホスト名登録と、適切なSMTP セキュリティ設置をしていただく必要があります。
DNSサーバーへの登録と、セキュリティー設定については、お客様のネットワークを管理しているシステム管理者へお問合わせください。

PC から中継送信する場合、電子メールアプリケーションの宛先（To）に相当するフィールドには次のように入力します。

（例）

sg-rly#8133111234@singapore.panasonic.co.sg

もしくは

sg-rly#*001@singapore.panasonic.co.sg

sg-rly　　：中継用パスワード（本機の自局情報登録の内容と合致させる）
#8133111234　：ファクスの番号
と @ の間は直接番号の他、ワンタッチボタン、短縮ボタン等の情報を入力することもできます。
PBX などを利用して内線から外線へ発信する際にポーズが必要な場合は、ハイフン " － " をファクス番号の部分に入力してください。
#*1001 ～ #*1060 ：ワンタッチボタン
#*000 ～ #*099　　：短縮ボタン

@ のあとには DNS サーバーへ登録されたホスト名とドメイン名が入ります。
中継送信が完了すると、中継結果を通信ジャーナルとして PC へ返送します。
これにより、中継結果を確認することができます。

TIFF コンバーターは、インターネットファクスが受信可能な TIFF ファイル形式へ変換するアプリケーションです。
MS-Word、Excel などで作成されたファイルを、中継機能を使ってファクスへ送信される場合には、あらかじめ TIFF コンバーターを使って TIFF 形式のファイルへ変換した後に送信してください。
そのまま *.doc、*.xls 形式のファイルを添付して送信することはできません。

変換する時の解像度は、通常 200dpi を選択してください。
400dpi は、あらかじめ受信相手側が400dpi処理能力を保有していることがわかっている時に使用します。
MAPI アプリケーションは、TIFF ファイルへ変換後、MAPI を使って電子メールアプリケーションを自動的に起動するアドインプログラムです。
MAPI に対応した電子メールアプリケーションと連動することにより、MS-Word、Excel 等のアプリケーションから印刷を行なう感覚で、インターネットファクスへ送信することができます。
TIFFコンバータ並びにMAPIアプリケーションは、以下のURLからダウンロードすることができます。

http://www.panasonic.co.jp/mgcs/internetFAXJ/

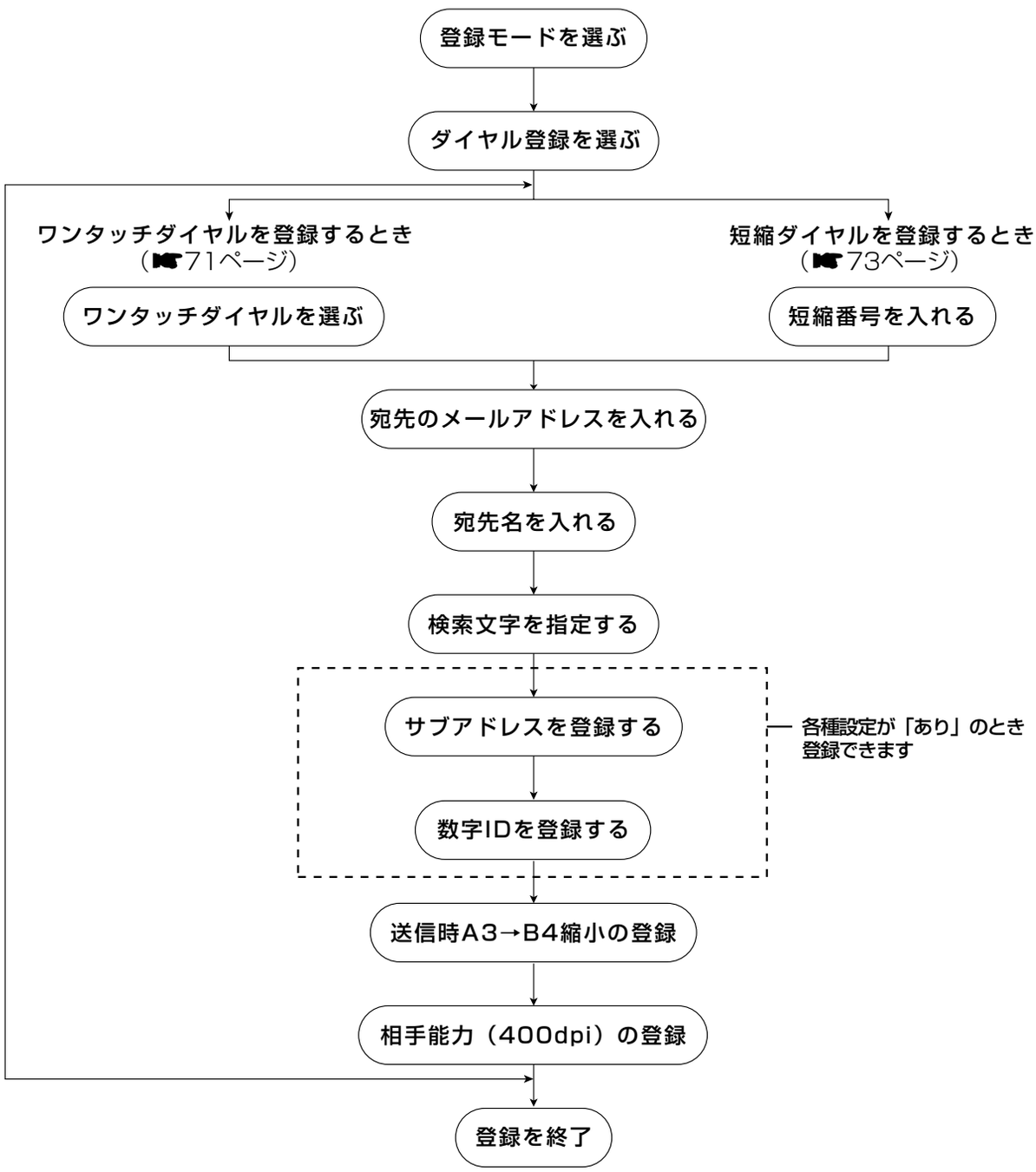
各種登録・設定

ダイヤルの登録

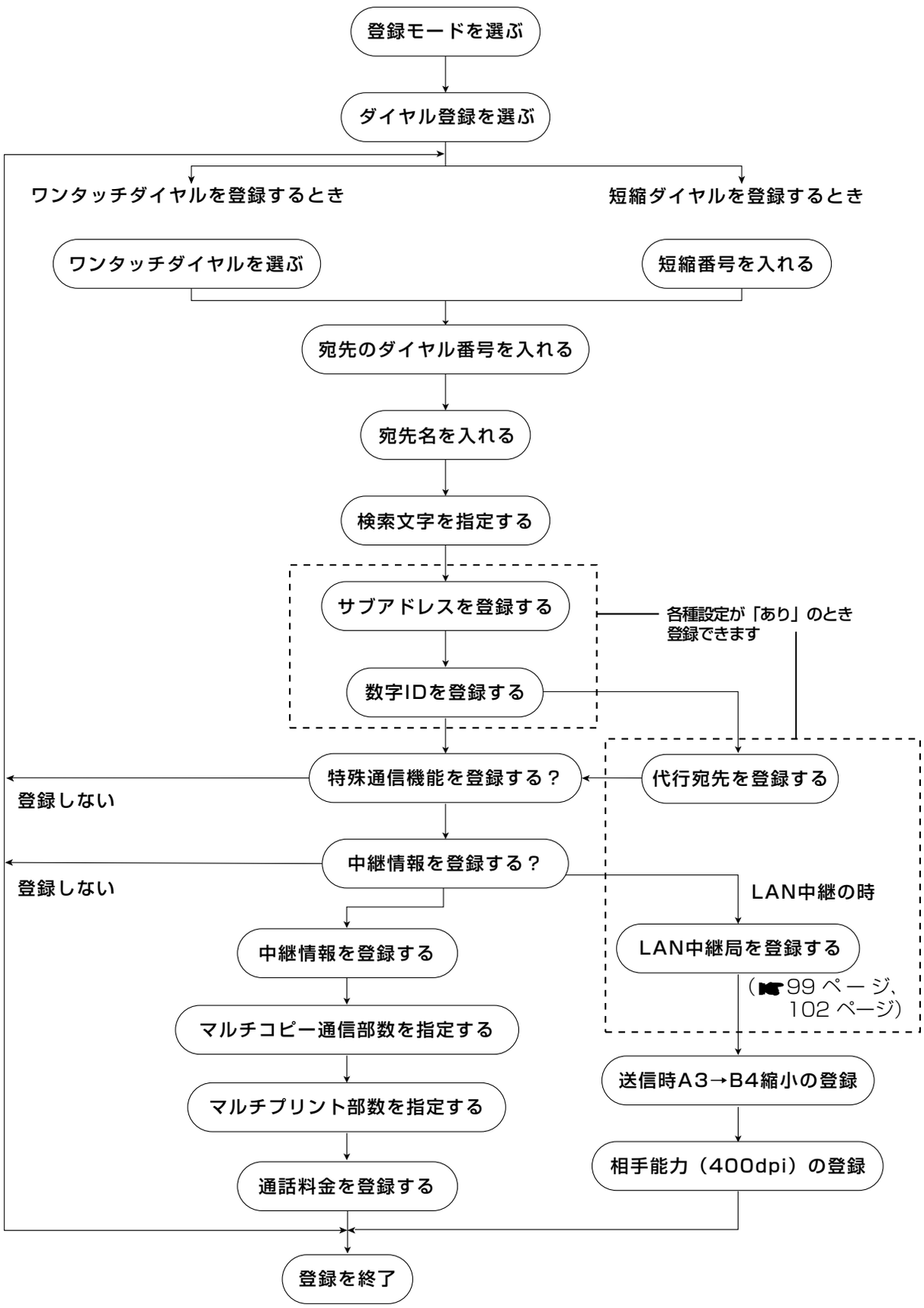
■ ダイヤル登録操作フロー

メールアドレスをワンタッチダイヤル（01～60）や短縮ダイヤル（00～99）に登録して、簡単な操作で相手にダイヤルすることができます。

メールアドレスを登録するとき



ダイヤル番号を登録するとき



■相手先メールアドレスやネットワークパラメーターの文字入力をするには

送信時にメールアドレスを入力したり、ネットワークパラメーター（自局情報登録の自局のメールアドレスやサーバー名、ドメイン名、ホスト名、ユーザー名、パスワードなど）を登録するときには、テンキー ボタンと ワンタッチ ボタンを使って、英字、記号、数字の入力ができます。また英記号モード時に (#@) を押すと「.com」や「.co.jp」などのよく使う定型文字を簡単に入力することができます。

■入力モードの切り替え

相手先メールアドレスやネットワークパラメーターの入力時はワンタッチボタン 19 、 39 、 59 が 文字切替 ボタンとなり、押すごとに英記号モードと数字モードが切り替わります。待機状態では「英記号モード」に設定されています。

例：自局メールアドレス登録

英記号モード　　英記号モード

■英記号モードでの入力

68 ページの一覧表のように、 テンキー ボタン（0 ～ 9 、＃、＊）を何回押したかで、入力される文字が決定します。

例：「M」を入力する場合
文字切替 ボタン（ワンタッチボタン 19、39、59）で英記号モードに切り替えて、(6 MNO) を４回押します。

■数字モードでの入力

数字モード時にダイヤルボタンを１回押すと、その テンキー ボタンの数字・記号（0 ～ 9 、＃、＊）がそのまま入力されます。

お知らせ

- IP アドレスを入力するには、自局の IP アドレス、メールサーバ IP アドレスやサブネットマスクを入力する画面が表示されたときは、テンキーの (0 わ記号) ～ (9 WXYZ) と (*) (「.」：ドット）を使って入力します。英字、記号、＃や＊は入力できません。
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの登録で相手先の名前を入力するには（☛取扱説明書（ファクス編）「文字を入力するには」）

■ 文字割り当て一覧

英記号モード

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回
テンキー「1」											
テンキー「2」	a	b	c	A	B	C					
テンキー「3」	d	e	f	D	E	F					
テンキー「4」	g	h	i	G	H	I					
テンキー「5」	j	k	l	J	K	L					
テンキー「6」	m	n	o	M	N	O					
テンキー「7」	p	q	r	s	P	Q	R	S			
テンキー「8」	t	u	v	T	U	V					
テンキー「9」	w	x	y	z	W	X	Y	Z			
テンキー「0」	※下記参照										
テンキー「*」											
テンキー「#」	※下記参照										

英記号モード（ダイヤル「0」を押したとき）

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回
テンキー「0」	.	−	_	／	:	!	?	¯	(	)	*
	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回	19回	20回	21回	22回
	#	+	,	^	;	<	=	>	$	¥	%
	23回	24回	25回	26回	27回	28回	29回	30回	31回		
	&	[	]	´	`	{	|	}	“		

英記号モード（ダイヤル「#」を押したとき）

	1回	2回	3回	4回	5回	6回
テンキー「0」	@	.co.jp	.ne.jp	.ac.jp	.or.jp	.com

数字モード

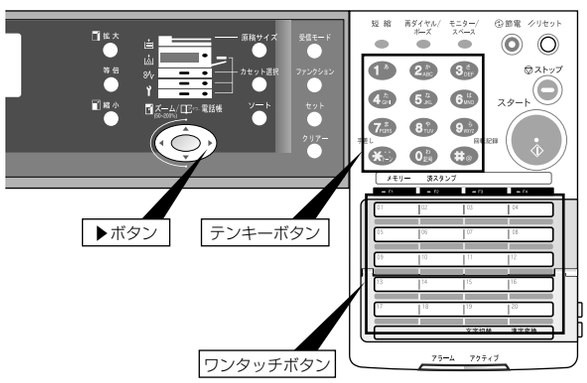
	1回
テンキー「1」	1
テンキー「2」	2
テンキー「3」	3
テンキー「4」	4
テンキー「5」	5
テンキー「6」	6
テンキー「7」	7
テンキー「8」	8
テンキー「9」	9
テンキー「0」	0
テンキー「*」	*
テンキー「#」	#

お知らせ

● インターネットFAXをご利用になられていないときは、英記号モード時に (#@) を押しても定型文字を入力することはできません。「@」のみの入力となります。

■文字入力の例

自局のメールアドレスに「iFAX1@abc.com」を入力します。



■テンキーの表示

テンキーには、文字入力の目安となる文字が表示されています。

「文字割り当て一覧（☛68 ページ）」

1 自局のメールアドレス入力画面を表示させます。（☛109 ページ 、手順 1、2）

自局メールアドレス
_ 英記号
うすく■■■□□こく 小さい

2 文字割り当て一覧を参照して、「iFAX」を入力します

「i」：(4 GHI) を3回
「F」：(3 DEF) を6回
「A」：(2 ABC) を4回
「X」：(9 WXYZ) を6回

自局メールアドレス
iFAX 英記号
うすく■■■□□こく 小さい

3 文字切替 ボタン（ワンタッチボタン 19、39、59）を 1 回押します

・入力モードが「数字モード」に切り替わります。

自局メールアドレス
iFAX_ 数 字
うすく■■■□□こく 小さい

4 (1 あ) を押します

・「1」が入力されます。

自局メールアドレス
iFAX1_ 数 字
うすく■■■□□こく 小さい

5 文字切替 ボタン（ワンタッチボタン 19、39、59）を 1 回押します

・入力モードが「英記号モード」に切り替わります。

自局メールアドレス
iFAX1_ 英記号
うすく■■■□□こく 小さい

6 (#@) を１回押します

・「@」が入力されます。

7 文字割り当て一覧を参照して、「abc」を入力します

「a」：(2 か ABC) を１回
「b」：(2 か ABC) を２回
「c」：(2 か ABC) を３回

「abc」など、同じボタンで入力する文字が続いたときは、１文字目を入力したあと、▶ ボタンを押してカーソルを１文字分右へ移動してから次の文字を入力します。

8 (#@) を６回押します

・定型文字の「.com」が入力されます。

お知らせ

- 登録を途中でやめるときは、(ストップ ⊖) を押してください。
- 入力を間違えたときは、◀ または ▶ ボタンを押してカーソルを間違えた文字の右隣に移動し、(クリアー ◯) を押してから入力し直します。
- 文字をすべて消去するには、カーソルを左はじに移動し、(クリアー ◯) を押します。

■ワンタッチダイヤルの登録

よく使う宛先のメールアドレスをワンタッチダイヤル（01 ～60）に登録しておくことができます。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション ○ 7 まPQRS 2 かABC セット ○ **を押す**

```
ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録

うすく■■■□□こく　　小さい
```

2 1 あ **を押す**

```
ワンタッチダイヤルの登録
ボタン（1～60）
　　を押してください

うすく■■■□□こく　　小さい
```

3 **ワンタッチボタン（01 ～60）を押す**

・すでに登録されている内容がある場合、その番号が表示されます。

・間違えたときや登録済のボタンを押した場合は、▼▲を押し、ほかのワンタッチボタンを選べます。

```
ワンタッチダイヤル登録：01
ダイヤルを登録してください
_
うすく■■■□□こく　　小さい
```

4 Eメール ✉ **を押し、宛先のメールアドレス（最大60桁）入れる**

・間違えた場合は、◀▶を押してカーソルを移動させて クリアー ○ で消してから、入れ直します。

例

```
ワンタッチダイヤル登録：01
アドレスを登録してください
abc@mgcs.mei.co.jp_　　英記号
うすく■■■□□こく　　小さい
```

5 セット ○ **を押す**

・メールアドレスが登録されます。

```
ワンタッチダイヤル登録：01
名称を登録してください(かな漢)
_
うすく■■■□□こく　　小さい
```

6 **宛先名（最大 20 文字）を入れる**

・宛先の名前を入れます。

（☛取扱説明書（ファクス編）「文字入力のしかた」を参照してください）

```
東京本社_
　入力モード：かな漢
■
うすく■■■□□こく　　小さい
```

7 セット ○ **を押す**

・宛先が登録されます。

```
ワンタッチダイヤル登録：01
検索文字を入力してください
検索文字：と
うすく■■■□□こく　　小さい
```

8 検索文字を確認して セット を押す

・検索文字が登録されます。
・システム登録の「152 SUB ルーティング」（☛112 ページ）の設定が「あり」の場合、登録できます。

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
サブアドレスを登録してください
―
うすく■■■□□こく　　小さい
```

9 サブアドレスを登録して セット を押す

・サブアドレスが登録されます。
・システム登録の「153 数字IDルーティング」（☛112 ページ）の設定が「あり」の場合、登録できます。

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
数字ＩＤを登録してください
―
うすく■■■□□こく　　小さい
```

10 数字 ID を登録して セット を押す

・数字 ID が登録されます。

11 送信時のA3原稿をB4に縮小するかを設定する

・(1 あ) または (2 かABC) を押します。
・相手機の能力に合わせて設定します。

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
送信時Ａ３→Ｂ４縮小をしますか
1．しない　　2．する
うすく■■■□□こく　　小さい
```

12 送信時の画質を設定する

・(1 あ) または (2 かABC) を押します。
・相手機の能力に合わせて設定します。

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
相手能力（400dpi）の登録
1．しない　　2．する
うすく■■■□□こく　　小さい
```

13 続けてワンタッチダイヤルの登録ができます。手順３からの操作をします。

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
ボタン（０１～６０）
　　を押してください
うすく■■■□□こく　　小さい
```

14 ストップ を押す

お知らせ

- 登録を途中でやめるときは、ストップを押してください。
- 他機種に400dpiで送信した場合、正常に通信できないことがあります。また、複数宛先を行った場合、400dpiの登録が「しない」で設定されている宛先が含まれていると、同報する全ての送信は 400dpi で送信されません。

■短縮ダイヤルの登録

よく使う宛先のメールアドレスを２桁の短縮番号（00～99）に登録しておくことができます。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション ○ 7 ま PQRS 2 か ABC セット ○ **を押す**

```
ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録

うすく■■■□□こく　　小さい
```

2 2 か ABC **を押す**

```
短縮ダイヤルの登録　　設定数：000
短縮番号を指定してください
短縮：__　　（２桁）

うすく■■■□□こく　　小さい
```

3 **短縮番号（00～99）を押す**

・すでに登録されている内容がある場合、その番号が表示されます。

・間違えたときは、▼▲を押し、ほかの短縮番号を選べます。

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮：０１
ダイヤルを登録してください
－

うすく■■■□□こく　　小さい
```

4 Eメール ✉ **を押し、宛先のメールアドレス（最大60桁）を入れる**

・間違えたときや登録済のボタンを押した場合は、◀▶を押してカーソルを移動させて クリアー ○ で消してから、入れ直します。

例

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮：０１
アドレスを登録してください
def@mgcs.mei.co.jp_　　英記号

うすく■■■□□こく　　小さい
```

5 セット ○ **を押す**

・メールアドレスが登録されます。

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮：０１
名称を登録してください(かな漢)
＿

うすく■■■□□こく　　小さい
```

6 **宛先名（最大 20 文字）を入れる**

・宛先の名前を入れます。

（☛取扱説明書（ファクス編）「文字入力のしかた」を参照してください）

```
松下電送システム＿
　入力モード
■

うすく■■■□□こく　　小さい
```

7 セット ○ **を押す**

・宛先が登録されます。

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮：０１
検索文字を入力してください
検索文字：ま

うすく■■■□□こく　　小さい
```

8 検索文字を確認して セット を押す

・検索文字が登録されます。
・システム登録の「152 SUB ルーティング」（☛112 ページ）の設定が「あり」の場合、登録できます。

```
短縮ダイヤルの登録      短縮：０１
サブアドレスを登録してください
_
うすく■■■□□こく      小さい
```

9 サブアドレスを登録して セット を押す

・サブアドレスが登録されます。
・システム登録の「153 数字IDルーティング」（☛112 ページ）の設定が「あり」の場合、登録できます。

```
短縮ダイヤルの登録      短縮：０１
数字ＩＤを登録してください
_
うすく■■■□□こく      小さい
```

10 数字 ID を登録して セット を押す

・数字 ID が登録されます。

11 送信時の A3 原稿を B4 に縮小するかを設定する

・(1 あ) または (2 か ABC) を押します。
・相手機の能力に合わせて設定します。

```
短縮ダイヤルの登録      短縮：０１
送信時Ａ３→Ｂ４縮小をしますか
1．しない        2．する
うすく■■■□□こく      小さい
```

12 送信時の画質を設定する

・(1 あ) または (2 か ABC) を押します。
・相手機の能力に合わせて設定します。

```
短縮ダイヤルの登録      短縮：０１
相手能力（400dpi）の登録
1．しない        2．する
うすく■■■□□こく      小さい
```

13 続けて短縮ダイヤルの登録ができます。手順３からの操作をします。

```
短縮ダイヤルの登録      設定数：001
短縮番号を指定してください
短縮：__      （２桁）
うすく■■■□□こく      小さい
```

14 ストップ を押す

お知らせ

● 登録を途中でやめるときは、ストップを押してください。
● 他機種に400dpiで送信した場合、正常に通信できないことがあります。また、複数宛先を行った場合、400dpiの登録が「しない」で設定されている宛先が含まれていると、同報する全ての送信は 400dpi で送信されません。

■登録済メールアドレスの変更

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されている内容を変更します。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション ○ (7 ま PQRS) (2 か ABC) セット ○ **を押す**

```
ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録

うすく■■■□□こく　　小さい
```

2 (1 あ) **または** (2 か ABC) **を押す**

・(1 あ) ：ワンタッチダイヤルを変更する場合

・(2 か ABC) ：短縮ダイヤルを変更する場合

例：「1」

```
ワンタッチダイヤルの登録
ボタン（1～60）
　　を押してください

うすく■■■□□こく　　小さい
```

3 **変更するワンタッチダイヤル（01～60）または短縮ダイヤルの番号（00～99）を押す**

・登録されている内容が表示されます。

例：「ワンタッチ：01」

```
ワンタッチダイヤルの登録：01
アドレスを登録してください
abc@mgcs.mei.co.jp_　　英記号

うすく■■■□□こく　　小さい
```

4 クリアー ○ **を押す**

・表示されている内容が消去されます。

これから先は、「ワンタッチダイヤルの登録」（☛71 ページ）または「短縮ダイヤルの登録」（☛73 ページ）の手順４からの操作をします。

■登録済メールアドレスの消去

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されている内容を消去します。

(ファクス) ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **ファンクション ○ 7 まPQRS 2 かABC セット ○ を押す**

```
ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録

うすく■■■□□こく      小さい
```

2 **1 あ または 2 かABC を押す**

・ 1 あ ：ワンタッチダイヤルを消去する場合

・ 2 かABC ：短縮ダイヤルを消去する場合

例：「1」

```
ワンタッチダイヤルの登録
ボタン（1～60）
          を押してください

うすく■■■□□こく      小さい
```

3 **消去するワンタッチダイヤル（01～60）または短縮ダイヤルの番号（00～99）を押す**

・登録されている内容が表示されます。

例：「ワンタッチ：01」

```
ワンタッチダイヤルの登録：01
アドレスを登録してください
abc@mgcs.mei.co.jp_        英記号

うすく■■■□□こく      小さい
```

4 **クリアー ○ を押す**

・表示されている内容が消去されます。

5 **セット ○ ストップ ⊖ を押す**

・指定したワンタッチダイヤルが消去されます。

・セット ○ を押したあとに、手順3からの操作をくり返せば、続けてメールアドレスの消去ができます。

お知らせ

● 短縮ダイヤルの変更および消去を途中でやめるときは、ストップ ⊖ を押してください。

メールリモート登録

この機能は簡単に自局情報のインターネットパラメーター、ワンタッチ、短縮ダイヤル、通信管理レポート等を、PC から本機へ電子メールを送信することにより登録もしくは内容の取り出しをすることができます。
件名"Subject"をコマンドラインフィールドとして利用することにより、本機は次の表のコマンドを処理することが出来ます。

	"Subject" コマンドライン	機　　能
1	#set parameters(password)#	インターネットパラメーターの登録
2	#get parameters(password)#	インターネットパラメーターの取り出し
3	#set abbr(password)#	ワンタッチ、短縮ダイヤルの登録
4	#get abbr(password)#	ワンタッチ、短縮ダイヤルの取り出し
5	#get jnl(password)#	現在の通信管理レポートの取り出し

・ "password" 本機の自局情報の登録設定項目に登録されたリモートパスワード(例: 123456789)の事です。パスワードの両端はカッコ"()"で囲まなければなりません。
・ コマンドの両端は # で囲まなければなりません。
・ コマンドラインは半角文字で入力しなければなりません。

■インターネットパラメーターのメールリモート登録

この機能は、PC から電子メールを本機へ送信する事により便利にしかも簡単にインターネットパラメーターを設定することができます。
次のパラメーターが、PCからリモートで登録できます。その他のパラメーターは、本体側で自局情報の登録をしなければなりません。

－ FROM 選択 (ユーザー名：最大 20 文字まで)
－ドメイン名(中継許可ドメイン名：最大 30 桁まで)
－デフォルトドメイン
－管理者メールアドレス
－リモートパスワード
－中継用パスワード

本機は、PCによる電子メールの件名"Subject"に入力されたコマンドを解析し、インターネットパラメーターの登録または取り出しを実行します。

● データの登録をするには：**#set parameters(password)#** と入力する。
パスワードは、本機のユーザーパラメーターで設定したリモートパスワードです。
(例:1234567879)
このコマンドラインは、初めてご利用になる場合を想定していますので、すでにデータが設定されている場合は使用しないでください。現在の設定値は削除され上書きされてしまいます。その場合は、次のページ 78 ～ 80 に説明する取り出しを最初に実行してください。
● データの取り出しをするには：**#get parameters(password)#** と入力します。

お知らせ

● この機能を利用するには、システム登録のNo.158 (メールリモート登録) を“2：あり”に変更する必要があります。(☛96 ページ)
● 本機は、PC からの電子メールを受信しますが、受信したデータの内、英数字、ひらがな、カタカナと第１、２水準の漢字が記録可能です。

■インターネットパラメーターを初めて登録する

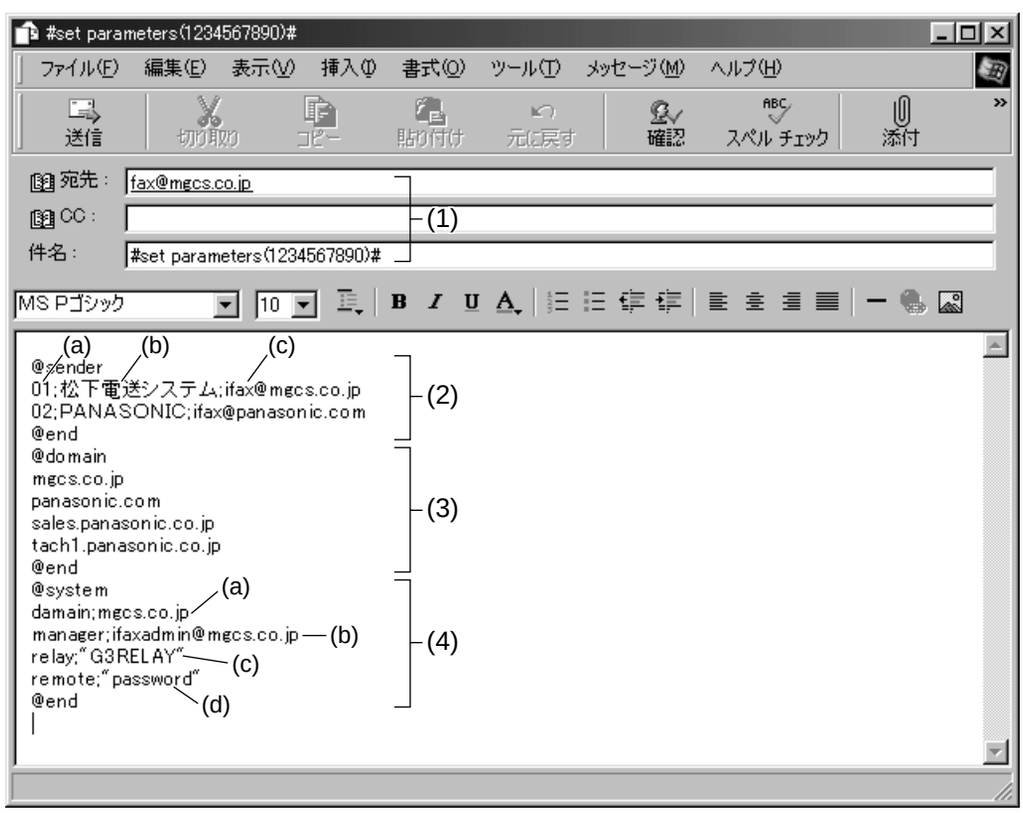
電子メール本文にテキストで記述し本機の電子メールアドレスへ送信します。件名"Subject"コマンドラインは次の通りです。

#set parameters(password)#:
ここでいうパスワードは本機のインターネットパラメーター（自局情報）にあるリモートパスワードのことです。セキュリティー確保のために、リモートパスワードは常に設定してください。

お知らせ

- すでに登録済みデータがある場合は、現在の設定値が上書きされてしまいますので、上記のコマンドを実行しないでください。まず最初に、インターネットパラメーター（自局情報）の取り出しと編集（80～85ページ）を行って、バックアップした後に実行してください。

インターネットパラメーター（自局情報）の記述サンプル例



(1) 宛先(To) : 本機のメールアドレス
差出人(From) : 新規電子メールメッセージを作成する時、通常このフィールドは表示されませんが、デフォルトの電子メールアドレスが入っています。このフィールドは、インターネットパラメーターの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。
件名(Subject) : データを登録するには # set parameters (password) # と記述してください。

(2) @ sender ～ @ end
: 発信者（FROM）情報を(2)の @ sender ～ @ end の間に記述します。
24 個以内で発信者選択用ユーザー名称、メールアドレスを登録します。
各データの区切りにセミコロン(;)を記入します。以降のフィールドが空白の場合は、各区切り毎にセミコロン(;)を挿入します。
各発信者選択用の記述データは、単一行で完結する必要があります。
構文は＜発信者選択番号＞；＜ユーザー名称＞；＜メールアドレス＞
(a) 01 ～ 24 ：発信者選択番号の表示
(b) ユーザー名称（かな漢字英数字 20 文字）
(c) メールアドレス（最大 60 桁）

(3) @domain ～ @end
: ドメイン名を (3)の @domain ～ @end の部分へ記述します。
インターネットFAXから一般FAXへ中継送信を許可するドメイン名を最大10個まで登録します。

(4) @ system ～ @ end : インターネットパラメーターを (4)の @ system ～ @ end の部分へ設定します。
登録するインターネットパラメーターは次の通りです。
(a) デフォルトドメイン（最大 50 桁）
構文は domain ；＜デフォルトドメイン＞
(b) 管理者メールアドレス（最大 60 桁）
構文は manager ；＜管理者のメールアドレス＞
(c) 中継用パスワード（最大 10 文字）
構文は relay ；＜中継用パスワード＞
例にならって" "で中継用パスワードを囲む必要があります。
(d) リモートパスワード（最大 10 桁）
構文は remote ；＜リモートパスワード＞
例にならって" "でリモートパスワードを囲む必要があります。

お知らせ

- 「ユーザー名称」以外は半角文字で入力してください。
- 以下の場合、電子メール経由での登録はできません。
  - ・通信予約がある場合
  - ・LAN ボードが動作中の場合
- ご利用のメールアプリケーションによってはある一定の桁数に達すると、本文途中で自動的に改行を行うものがあります。その場合は、自動改行送りを無効にする、一行あたりの桁数を増やす等の対応をしてください。

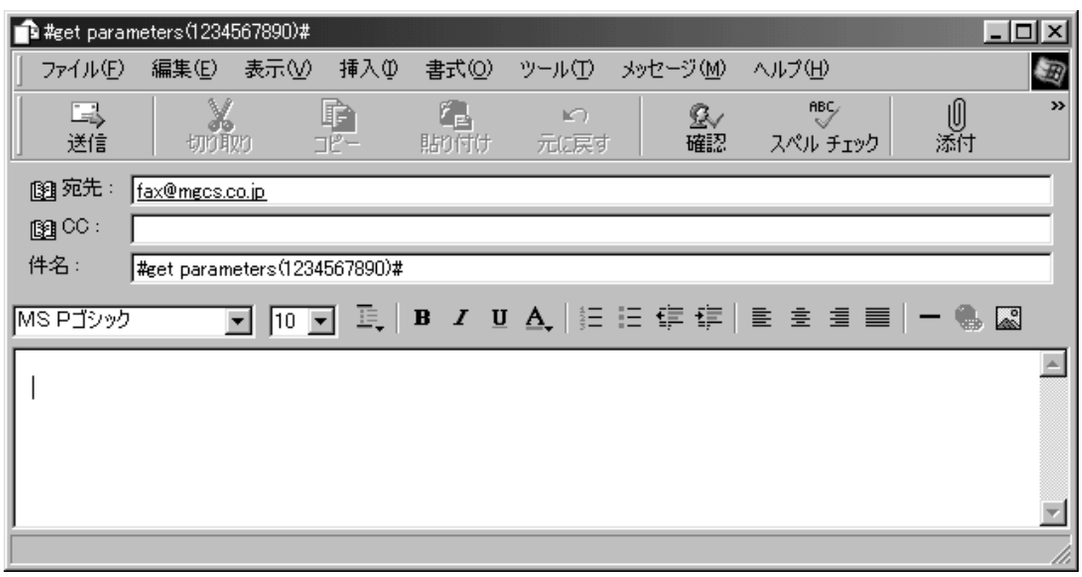
■インターネットパラメーターの取り出し

現在のインターネットパラメーターの取り出しをするには、本機の電子メールアドレスへ、以下に示すコマンドラインを件名"Subject"に記述してテキストメールを送信します。

#get parameters(password)#:

パスワードは、本機のインターネットパラメーター（自局情報）へ登録されたリモートパスワードの事です。セキュリティー確保のために、リモートパスワードは常に設定してください。CC、Bccなどの欄は空欄で送信してください。

インターネットパラメーター（自局情報）の電子メール例



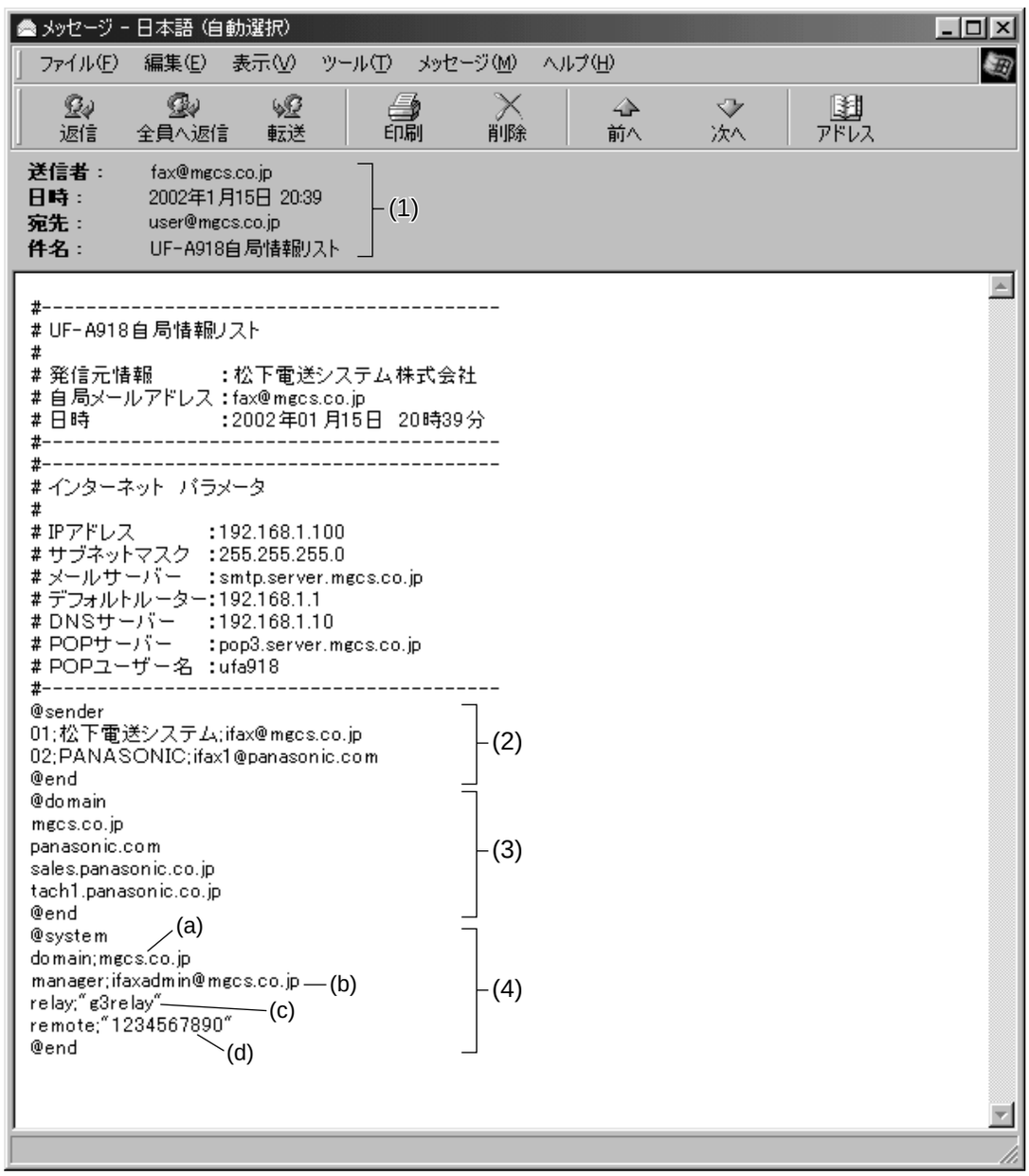
(1) 宛先(To) ： 本機の電子メールアドレス

差出人(From) ： 新規の電子メールメッセージを作成するとき、このフィールドは通常は表示されませんが、デフォルト電子メールアドレスが入っています。このフィールドは、インターネットパラメーターの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。

件名(Subject) ： データの取り出しをするには #get parameters(password)#と記述してください。

インターネットパラメーターの取り出し要求を受信した後、本機は "From" の内容を参照して電子メールにてインターネットパラメーターをテキストメッセージとして返信します。

インターネットパラメーター電子メール例



(1) 宛先(To) ： PC の電子メールアドレス
差出人(From) ： 本機の電子メールアドレス
件名(Subject) ： 自局情報リスト

(2) @sender ～ @end　：発信者情報を(2)の @sender ～ @end の部分へ表示します。
登録された24個以内の発信者選択用ユーザー名、電子メールアドレスを表示します。

(3) @domain ～ @end　：設定されているドメイン名を (3)の @domain ～ @end の部分へ表示します。
最大10個までのインターネットFAXから一般のFAXへ中継送信を許可するドメイン名を表示します。

(4) @system ～ @end
：設定されているインターネットパラメーターを (4)の @system ～ @end の部分へ表示します。
表示されるインターネットパラメーターは次の通りです。
(a) デフォルトドメイン管理者電子メールアドレス(最大 60 桁まで)
(b) 管理者用電子メールアドレス
(c) 中継用パスワード
(d) リモートパスワード

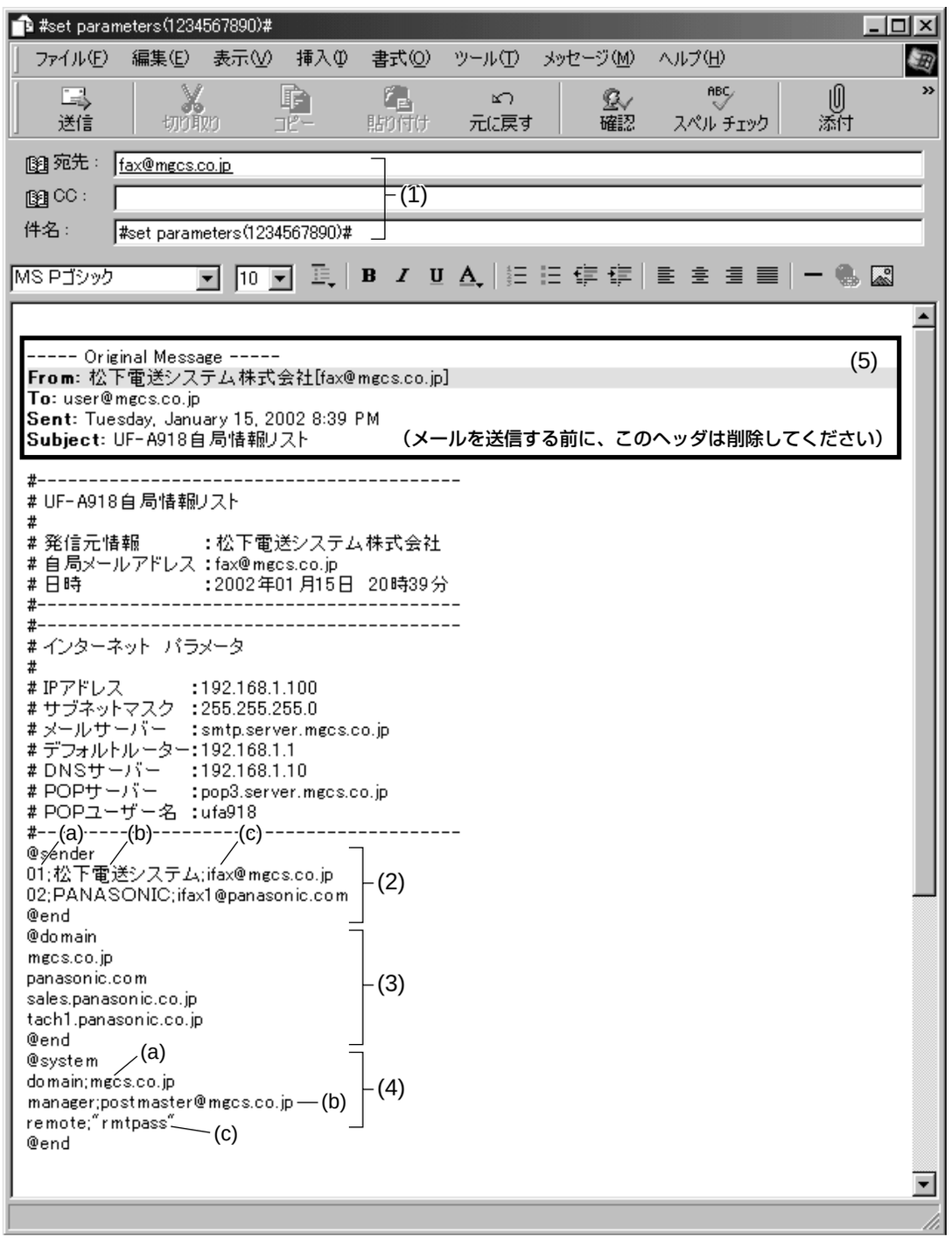
■バックアップまたは取り出しをしたインターネットパラメーターの編集

インターネットパラメーターを取り出した後、バックアップの目的でテキスト形式(.txt)のファイルに保存します。

インターネットパラメーターの変更を行うには以下の手順に従います。

1. 新規メッセージの作成を行い、To、From、Subject の各欄へ(1)のように記入します。
   宛先(To)　　：本機の電子メールアドレス
   差出人(From)　：新規メッセージを作成する時に表示されません。通常このフィールドには、あらかじめ設定されているデフォルトの電子メールアドレスが入ります。
   件名(Subject)　：データ登録のためには #set parameters(password)# と記述してください。
2. バックアップされたインターネットパラメーターのテキストファイルを開いて、新規メッセージの本文へ貼り付けます。
3. エラーとならないように、電子メール本文にヘッダー情報がある場合は削除してください。"#" に続く情報は削除しても、そのまま残しておいてもかまいません。
4. 設定内容の編集を行います。
5. すべて完了したら、ファイルを別名で保存を選択して、拡張子.txtでバックアップ用として保存してください。
6. 編集されたインターネットパラメーターを本機へ電子メールにて送信します。

本機のインターネットパラメーター電子メール例



(1) 宛先(To) : 本機のメールアドレス
差出人(From) : 新規電子メールメッセージを作成する時、通常このフィールドは表示されませんが、デフォルトの電子メールアドレスが入っています。このフィールドは、インターネットパラメーターの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。
件名(Subject) : データを登録するには #set parameters(password)# と記述してください。

(2) @sender ～ @end : 発信者（From）情報を(2)の @sender ～ @end の間に記述します。
24 個以内で発信者選択用ユーザー名称、メールアドレスを登録します。
各データの区切りにセミコロン(;)を記入します。以降のフィールドが空白の場合は、各区切り毎にセミコロン(;)を挿入します。
各発信者選択用の記述データは、単一行で完結する必要があります。
構文は＜発信者選択番号＞ ;＜ユーザー名称＞ ;＜メールアドレス＞
(a) 01 ～ 24 ：発信者選択番号の表示
(b) ユーザー名称（かな漢字英数字 20 文字）
(c) メールアドレス（最大 60 桁）

(3) @domain ～ @end : ドメイン名を(3)の @domain ～ @end の部分へ記述します。
インターネットFAXから一般FAXへ中継送信を許可するドメイン名を最大 10 個まで登録します。

(4) @system ～ @end : インターネットパラメーターを(4)の @system ～ @end の部分へ設定します。
登録するインターネットパラメーターは次の通りです。
(a) デフォルトドメイン（最大 50 桁）
構文は domain:＜デフォルトドメイン＞
(b) 管理者メールアドレス（最大 60 桁）
構文は manager:＜管理者のメールアドレス＞
(c) 中継用パスワード（最大 10 文字）
構文は relay:＜中継用パスワード＞
例にならって " "で中継用パスワードを囲む必要があります。
(d) リモートパスワード（最大 10 桁）
構文は remote:＜リモートパスワード＞
例にならって " "でリモートパスワードを囲む必要があります。

(5) : 本機に電子メールを送信してインターネットパラメーターを再設定する前に、このヘッダを削除する必要があります。" # " 記号に続く情報は無視されます。したがって、" # "以降は削除しても、そのまま残しておいてもかまいません。

■ ワンタッチ／短縮ダイヤルのメールリモート登録

この機能を使用して、ご使用の PC から本機へ電子メールを送信することにより、ワンタッチと短縮ダイヤルの変更、バックアップ、または再設定を簡単に行うことができます。

本機は、 PC による電子メールの件名"Subject"の行に入力されたコマンドを解析し、ワンタッチまたは短縮ダイヤルの登録または取り出しを実行します。

電子メールの件名 "Subject" の行には、次の 2 種類のコマンドを入力できます。

1) データを設定するには、**#set abbr(password)#**と入力します。
このパスワードは、本機の自局情報に登録されたリモートパスワードです(例:123456789)。このコマンドを初めて使用するときは、未使用のワンタッチ／短縮ダイヤルを自由に設定できます(その前にワンタッチ／短縮ダイヤルのデータリストを受信する必要はありません)。希望のワンタッチ／短縮ダイヤルにすでにデータが登録されている場合は、このコマンドを送信すると、既存の設定値が上書きされます。したがって、既存のワンタッチ／短縮ダイヤルを編集する場合は、このコマンドではなく、以下に説明する受信コマンドを使用することをお勧めします（82 ～ 86 ページ）。
2) データを受信するには、**#get abbr(password)#**と入力します。

お知らせ

● この機能を有効にするには、システム登録の No.158（メールリモート登録）を "2 ：あり " に変更する必要があります（☛96 ページ）

■ワンタッチ／短縮ダイヤル全体の削除

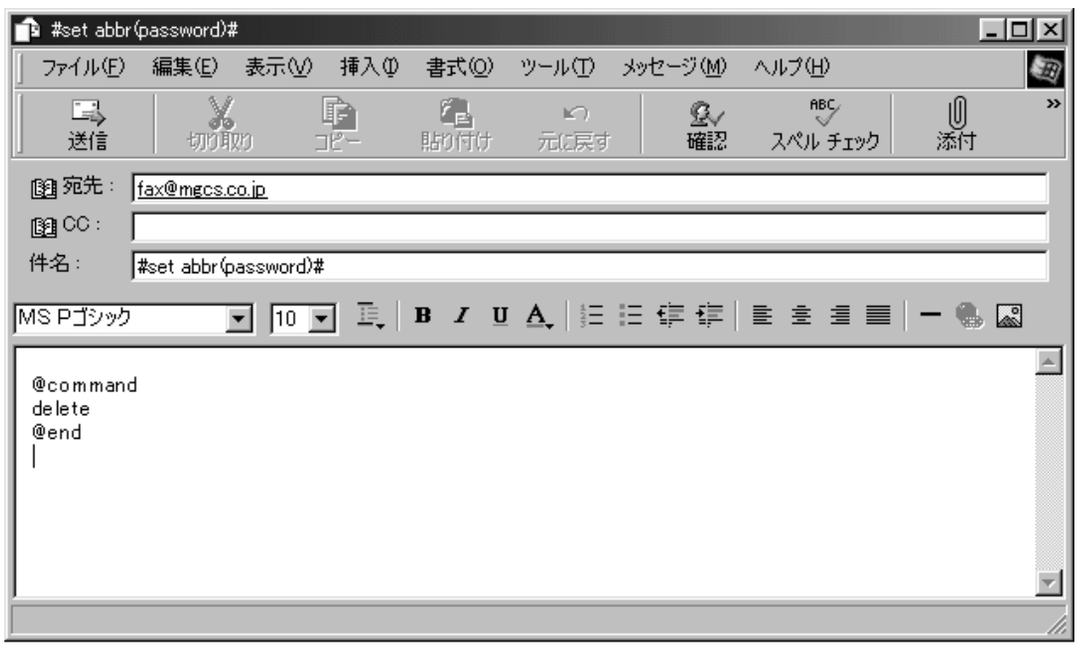
本機のワンタッチ／短縮ダイヤルのデータ全体を削除する場合は、電子メールの本文に以下のコマンドを入力します。

@command
delete
@end

このコマンドを@begin～@endブロックの前に挿入して、ワンタッチ／短縮ダイヤルのデータ全体を削除し、新しいデータでワンタッチ／短縮ダイヤルを再設定することもできます。
この方法を使用すれば、本機から返信される電子メールに「上書き警告メッセージ」は表示されません。

ワンタッチ／短縮ダイヤルのデータ全体を削除するには、電子メールの件名 "Subject"の行に以下のコマンドを入力します。

#set abbr(password)#:
このパスワードは、本機の自局情報に登録されたリモートパスワードです。このコマンドを送信する前に、88～94ページで説明するデータの取り出しと編集の手順に従って、PCへの既存データの受信とバックアップを実行してください。



お知らせ

● “delete”を行った場合、ワンタッチボタンの内容は削除され、お買い上げ時の状態となります。

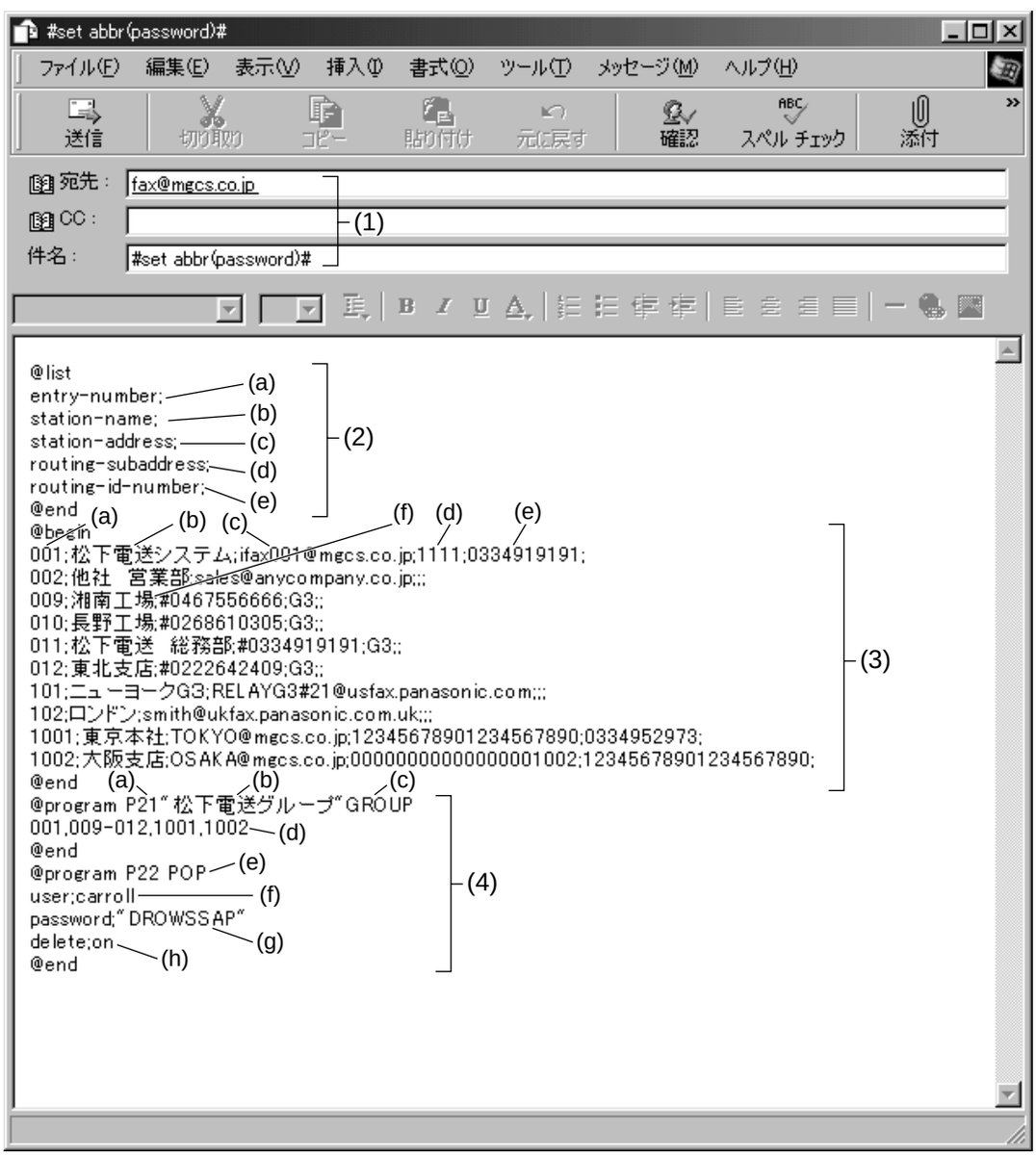
■ワンタッチ／短縮ダイヤルを初めて登録する

電子メールの本文にテキストで記述し、本機の電子メールアドレスに送信します。電子メールの件名 "Subject" の行に、次のように入力します。

#set abbr(password)#:
このパスワードは、本機の自局情報に登録されたリモートパスワードです。

ワンタッチ／短縮ダイヤルを初めて登録する場合の記述例を以下に示します。

ワンタッチ／短縮ダイヤルを初めてリモート登録する場合の記述例



(1) 宛先(To) : 本機のメールアドレス
差出人(From) : 新規電子メールメッセージを作成する時、通常このフィールドは表示されませんが、デフォルトの電子メールアドレスが入っています。このフィールドは、ワンタッチ／短縮ダイヤルデータの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。
件名(Subject) : データを登録するには、#set abbr(password)# と記述してください。

(2) @list ～ @end : @list と @end の間に @begin ～ @end の中に記述する内容を指定します。
(a) entry − number：登録番号（必ず記述してください）
(b) station − name：宛先名称（必要なとき入れます）
(c) station−address:電子メールアドレスまたは電話番号(必ず記述してください)
(d) routing − subaddress：ルーティングサブアドレス（必要なとき入れます）
(e) routing − id − number：ルーティング数字 ID 番号（必要なとき入れます）

(3) @begin ～ @end : @begin ～ @end の間にワンタッチ／短縮ダイヤルのデータを記述します。
各データフィールドの区切りにセミコロン(;)を記入します。以降のフィールドが空白の場合は、各区切り毎にセミコロン(;)を挿入します。
各記述データは、単一行で完結する必要があります。
@list ～ @end で記述した内容で構文を指定します。@begin の前に @list ～ @end を使って構文を指定していない場合は、デフォルトの構文は次の通りになります。
＜登録番号＞ ;＜宛先名称＞ ;＜宛先のアドレス＞ ;＜ルーティングサブアドレス＞ ;＜ルーティング数字 ID ＞ ;
(a) 登録番号：登録される電子電話帳
000 ～ 099： 00 ～ 99 の短縮ダイヤル番号を示します。（最大 100 個）
1001 ～ 1060： 01 ～ 60 のワンタッチ番号を示します。
(b) 宛先名称：登録される宛先名称（かな漢字英数字 20 文字）
(c) 宛先のアドレス：電子メールアドレスまたは電話番号（最大 60 桁）
(d) ルーティングサブアドレス:ルーティングに使用されるサブアドレス。(最大20桁)
(e) ルーティング ID 番号：ルーティングに使用される数字 ID 番号。（最大 20 桁）
(f) 電話番号の場合、シャープ記号(#）の後に入力します。

(4) @program ～ @end : @programと@endの間にグループダイヤルまたはPOP手動受信キーとして登録されるワンタッチのデータを記述します。
(a) ワンタッチ： P01 ～ P60
(b) グループダイヤル名称：登録されるグループダイヤル名称（かな漢字英数字20文字）例にならって ” ” で囲む必要があります。
(c) GROUP：ワンタッチをグループダイヤルとして設定するための構文。
(d) 登録番号：登録されるワンタッチ、短縮ダイヤル番号
000 ～ 099： 00 ～ 99 の短縮ダイヤル番号を示します。（最大 100 個）
1001 ～ 1060： 01 ～ 60 のワンタッチ番号を示します。
(e) POP：ワンタッチを POP 手動受信キーとして登録するための構文。
(f) POP ユーザー名：登録される POP ユーザー名（最大 40 桁の英数字）
(g) POP パスワード：登録される POP パスワード（最大 10 桁の英数字）
(h) 電子メールの受信後にPOPサーバー上の電子メールを削除するかどうかを設定します。
（off：削除しません on：削除します）

お知らせ

- 「宛先名称」以外は半角文字で入力してください。
- 以下の場合、電子メール経由での登録はできません。
  - ・通信予約がある場合
  - ・LAN ボードが動作中の場合
- 電子メールで登録を行った後、登録結果の電子メールが返信されます。
- ご利用のメールアプリケーションによってはある一定の桁数に達すると、本文途中で自動的に改行を行うものがあります。その場合は、自動改行送りを無効にする、一行あたりの桁数を増やす等の対応をしてください。

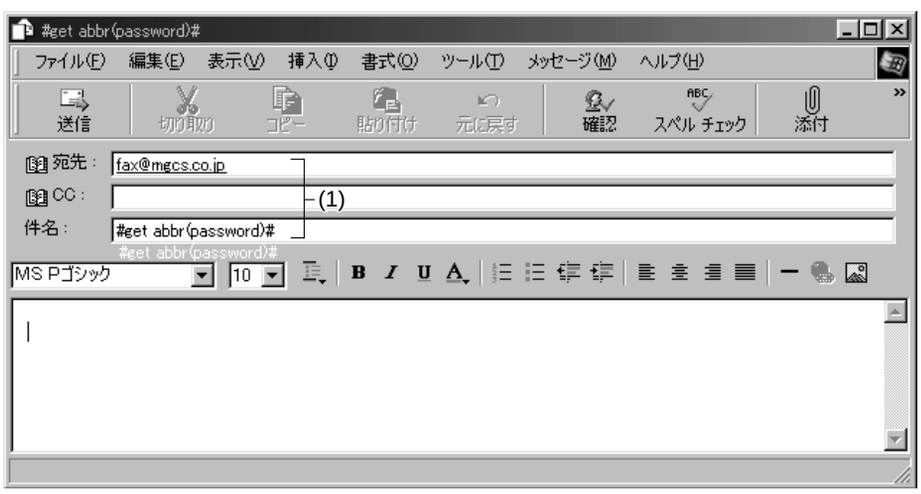
■ワンタッチ／短縮ダイヤルデータの取り出し

現在のワンタッチ／短縮ダイヤル取り出しをするには、件名"Subject"に以下のコマンドを入力した電子メールを、本機の電子メールアドレスに送信します。

#get abbr(password)#:
このパスワードは、本機の自局情報に登録されたリモートパスワードです(例:123456789)。

CC、Bccと電子メールの本文は空欄にしてください。

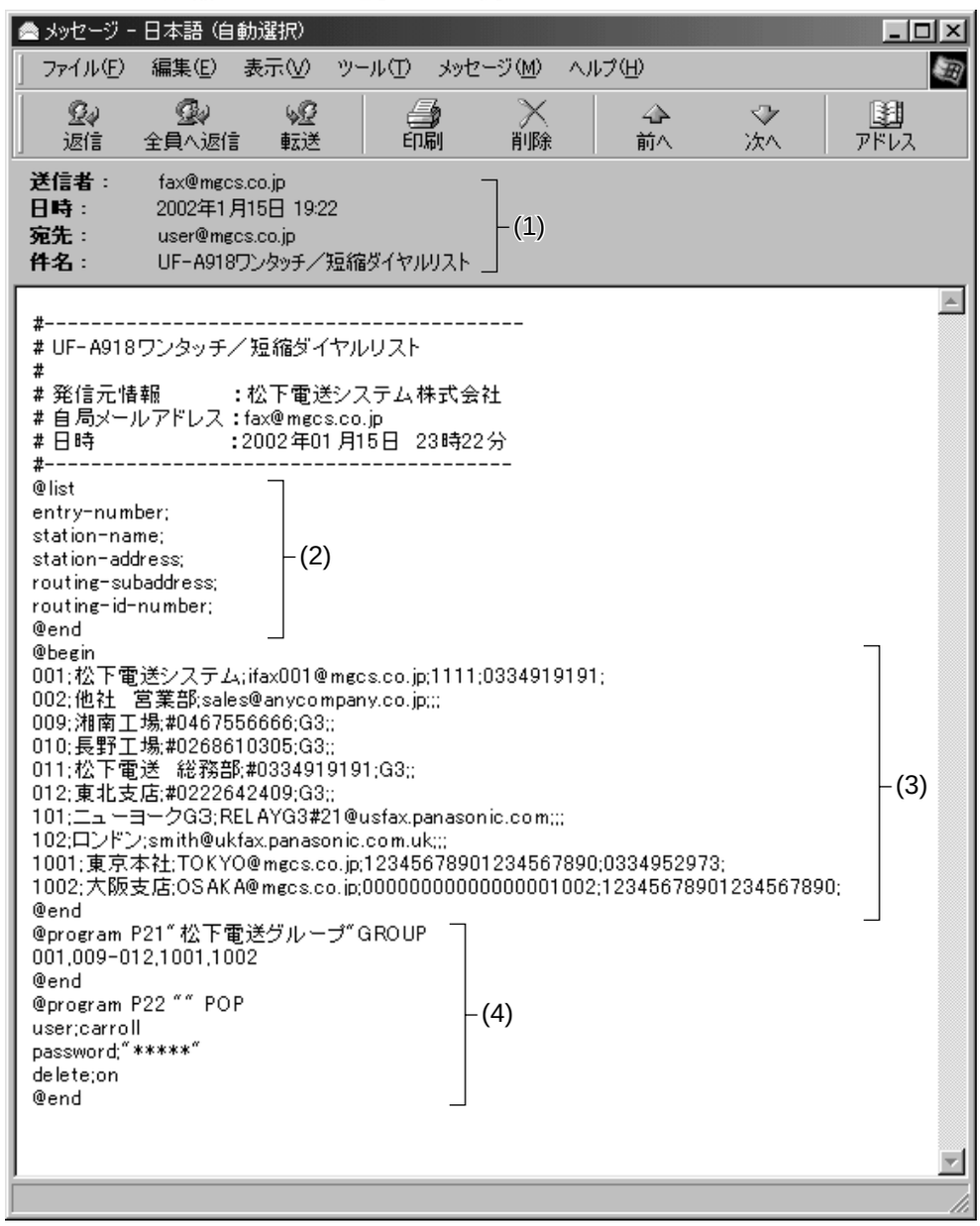
ワンタッチ／短縮ダイヤルデータの取り出しをする場合の電子メールの例



(1) 宛先(To) : 本機の電子メールアドレス。
差出人(From) : 新規の電子メールメッセージを作成するとき、このフィールドは通常は表示されませんが、デフォルトの電子メールアドレスが入っています。このフィールドは、ワンタッチ／短縮ダイヤルデータの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。
件名(Subject) : データの取り出しをするには、#get abbr(password)#と入力します。

本機は、現在のワンタッチ／短縮ダイヤルデータの取り出しを要求する電子メールの受信後、本文にワンタッチ／短縮ダイヤルの情報が記述された電子メールを、"From:"の行で指定されたアドレスに返信します。

本機のワンタッチ／短縮ダイヤルの電子メール例



(1)宛先(To) ： PC のメールアドレス。
差出人(From) ： 本機の電子メールアドレス。
件名(Subject) ： ワンタッチ／短縮ダイヤルリスト。

(2) @list ～ @end ブロック
： (2)の部分の@listと@endの間に、@begin～@endで使用している構文を表示します。

(3) @begin ～ @end ブロック
： (3)の部分の @begin と @end の間に、本機に登録されている、ワンタッチ／短縮ダイヤルを表示します。

(4) @program ～ @end ブロック
： (4)の部分の @program と @end の間に、本機にグループダイヤルまたは POP 手動受信として登録されているワンタッチを表示します。

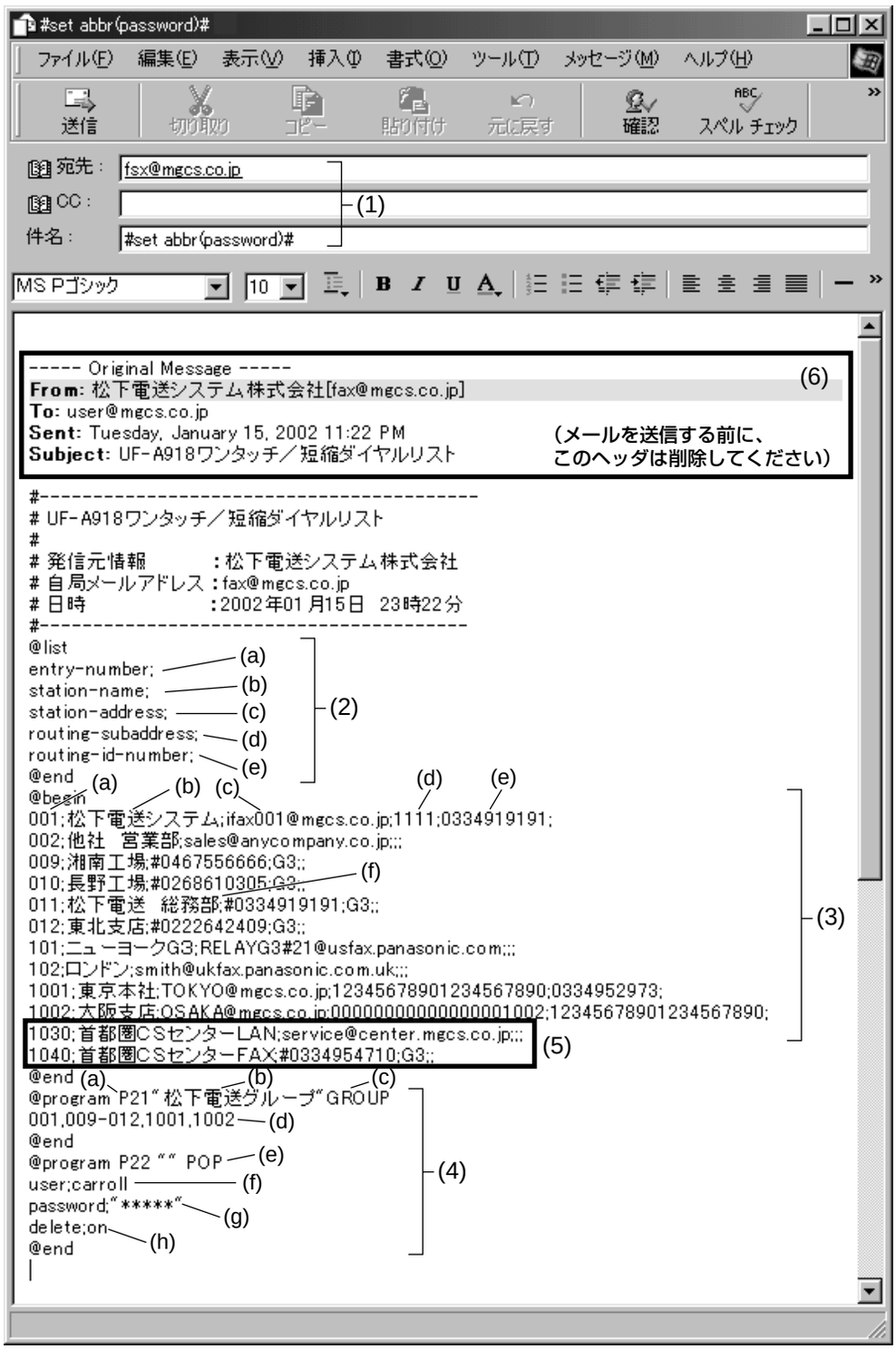
■バックアップまたは取り出しをしたワンタッチ／短縮ダイヤルの編集

ワンタッチ／短縮ダイヤルのデータを記録した電子メールを本機から受信した後、バックアップのために、その電子メールをテキストファイル(.txt)としてPC上に保存してください。

ワンタッチ／短縮ダイヤルのデータを変更するには、以下の手順に従います。

1. 新規メッセージの作成を行い、To、From、Subjectの各欄へ(1)のように記入します。
   宛先(To)　　：本機の電子メールアドレス。
   差出人(From)　：新規メッセージを作成する時は表示されません。通常このフィールドには、あらかじめ設定されているデフォルトの電子メールアドレスが入ります。
   件名(Subject)　：データの登録のためには、#set abbr(password)#と記述してください。
2. バックアップされたワンタッチ／短縮ダイヤルのテキストファイルを開いて、新規メッセージの本文へ貼り付けます。
3. エラーとならないように、電子メール本文にヘッダー情報がある場合は削除してください。"#"に続く情報は削除しても、そのまま残しておいてもかまいません。
4. ワンタッチ／短縮ダイヤルの編集を行います。
5. すべて完了したら、ファイルを別名で保存して、拡張子.txtでバックアップ用として保存してください。
6. 編集されたワンタッチ／短縮ダイヤルを本機へ電子メールにて送信します。

本機のワンタッチ／短縮ダイヤルの電子メール例



(1) 宛先(To) : 本機のメールアドレス
差出人(From) : 新規電子メールメッセージを作成する時、通常このフィールドは表示されませんが、デフォルトの電子メールアドレスが入っています。このフィールドは、ワンタッチ／短縮ダイヤルデータの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。
件名(Subject) : データを登録するには、#set abbr(password)# と記述してください。

(2) @list ～ @end : @list と @end の間に @begin ～ @end の中に記述する内容を指定します。
(a) entry − number：登録番号（必ず記述してください）
(b) station − name：宛先名称（必要なとき入れます）
(c) station−address:電子メールアドレスまたは電話番号(必ず記述してください)
(d) routing − subaddress：ルーティングサブアドレス（必要なとき入れます）
(e) routing − id − number：ルーティング ID 番号（必要なとき入れます）

(3) @begin ～ @end : @begin ～ @end の間にワンタッチ／短縮ダイヤルのデータを記述します。
情報を編集、削除します。
各データフィールドの区切りにセミコロン(;)を記入します。以降のフィールドが空白の場合は、各区切り毎にセミコロン(;)を挿入します。
各記述データは、単一行で完結する必要があります。
@list ～ @end で記述した内容で構文を指定します。@begin の前に @list ～ @end を使って構文を指定していない場合は、デフォルトの構文は次の通りになります。
＜登録番号＞;＜宛先名称＞;＜宛先のアドレス＞;＜ルーティングサブアドレス＞;＜ルーティング数字 ID ＞;
(a)登録番号：登録されるワンタッチ。短縮ダイヤル番号
000 ～ 099： 00 ～ 99 の短縮ダイヤル番号を示します。（最大 100 個）
1001 ～ 1060： 01 ～ 60 のワンタッチ番号を示します。
(b) 宛先名称：登録される宛先名称（かな漢字英数字 20 文字）
(c) 宛先のアドレス：電子メールアドレスまたは電話番号（最大 60 桁）
(d) ルーティングサブアドレス:ルーティングに使用されるサブアドレス。(最大20桁)
(e) ルーティング数字 ID ：ルーティングに使用される数字 ID 番号。（最大 20 桁）
(f) 電話番号の場合、シャープ記号(#) の後に入力します。

(4) @program ～ @end : @programと@endの間にグループダイヤルまたはPOP手動受信キーとして登録されるプログラムのデータを記述します。
(a) ワンタッチ：P01 ～ P60
(b) グループダイヤル名称:登録されるグループダイヤル名称(かな漢字英数字20文字)
例にならって” ”で囲む必要があります。
(c) GROUP：ワンタッチをグループダイヤルとして設定するための構文
(d) 登録番号：登録されるワンタッチ、短縮ダイヤル番号
000 ～ 099： 00 ～ 99 の短縮ダイヤル番号を示します。（最大 100 個）
1001 ～ 1060： 01 ～ 60 のワンタッチ番号を示します。
(e) POP：ワンタッチを POP 手動受信キーとして登録するための構文。
(f) POP ユーザー名：登録される POP ユーザー名（最大 40 桁の英数字）
(g) POP パスワード：登録される POP パスワード（最大 10 桁の英数字）
(h) 電子メールの受信後にPOPサーバー上の電子メールを削除するかどうかを設定します。
（off ：削除しません on：削除します）

(5) : これらの２つのワンタッチダイヤルがリストに追加されました。

(6) : 本機に電子メールを送信してもワンタッチ／短縮ダイヤルを再設定する前に、このヘッダを削除する必要があります。“#” 記号に続く情報は無視されます。したがって、“#” 以降は削除しても、そのまま残しておいてもかまいません。

■通信管理レポートの取り出し

通信管理レポートの取り出しをするには、件名 "Subject"に以下のコマンドを入力した電子メールを、本機の電子メールアドレスに送信します。

#get jnl(password)#:
このパスワードは、本機の自局情報に登録されたリモートパスワードです(例:123456789)。

通信管理レポートは、この電子メールを送信した PC に返信されます。

通信管理レポートの取り出しをした後、固定幅のフォント（例えば、ターミナルやクーリエ）に変換して、取り出した通信管理レポートの内容を PC 上で位置合わせしてください。
本機の自局情報に登録された管理者の電子メールアドレスに、通信管理レポートを送信したことを知らせる別の電子メール（"Internet Fax Return Receipt"）が送信されます。

お知らせ

- この機能を有効にするには、システム登録の No.158 (メールリモート登録)を"2:あり " に変更する必要があります（☛96 ページ）。
- システム登録の No.13（通信管理レポート）と No.157（管理レポート送信）の設定が共に "2:あり " の場合、通信管理レポートは自動で No.157（管理レポート送信）にて登録した宛先に送信されます。

■メールリモートの登録

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 登録モードを選ぶ

ファンクション ○ 7ま PQRS

2 システム登録を選ぶ

4た GHI セット ○ を押す

3 メールリモート登録を選び

1あ 5な JKL 8や TUV セット ○ を押す

```
158 メールリモート登録     設定：1
 1．なし          2．あり
うすく■■■□□こく       小さい
```

4 “あり”を選ぶ

2か ABC

```
158 メールリモート登録     設定：2
 1．なし          2．あり
うすく■■■□□こく       小さい
```

5 セット ○ を押す

```
160 ドメイン名設定         設定：2
 1．なし          2．あり
うすく■■■□□こく       小さい
```

6 ストップ ⊖ を押す

お知らせ

- 設定を途中でやめるときは、ストップ ⊖ を押してください。
- 設定項目の一覧は、112ページを参照してください。

LAN 中継同報の登録

■中継局の自局情報の登録

LAN 経由で受け付けた電子メールを、一般回線へ中継通信するのに必要な中継局の情報を登録します。あらかじめ、システム登録の「142 LAN 中継機能」を「あり」に設定しておいてください。（☛60 ページ）

- 中継用パスワード（受信した電子メールがLAN 中継同報指示であることを判定するために使用します。（☛62 ページ））
- 管理者用メールアドレス（LAN 中継同報の指示を受け付けたことを電子メールで管理者に通知するために使用します。（☛63 ページ））
- 中継許可用ドメイン名（ LAN 中継同報の受け付けを許可するインターネットファクスや PC のドメイン名を登録します。（☛62 ページ））

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 **ファンクション ○ 7 ま PQRS 1 あ セット ○ を押す**

2 **▼ または ▲ を押して、「中継用パスワード」を表示させる**

```
中継用パスワード
_                    英記号
うすく■■■□□こく     小さい
```

3 **中継用パスワード（最大 10 文字）を入れる**

・文字（英記号）を入力するには（☛67 ページ）

```
中継用パスワード
ＲＥＬＡＹ_          英記号
うすく■■■□□こく     小さい
```

4 **セット ○ を押す**

・通信ポートの登録をします。

5 **管理者メールアドレス（最大 60 桁）を入れる**

```
管理者メールアドレス
_                    英記号
うすく■■■□□こく     小さい
```

6 **セット ○ を押す**

・次の登録項目に移ります。

7 **中継許可用ドメイン名（最大30文字）を入れる**

・手順7～8を繰り返してドメイン名（01）～（10）を登録してください。

・必要なドメイン名の入力が終了したら、手順9へ進んでください。

```
ドメイン名（０１）
_                    英記号
うすく■■■□□こく     小さい
```

8 セット を押す

・ストップ を押す前に ▼▲ を押すと、登録内容の確認ができます。

9 ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

- メールアドレスなどの入力を間違えたときは、◀▶ や クリア を押して入れ直してください。
- 自局情報の登録を途中でやめるときは、ストップを押してください。
- 中継用パスワードは、外部からの不正利用を防ぐため、慎重な管理を行ってください。

■ワンタッチダイヤルの登録

ワンタッチダイヤルに、「宛先の電話番号」と共に、中継局を登録しておくと、原稿をセットしてワンタッチダイヤル、スタート を押すだけでLAN 中継同報の指定ができます。(☛59ページ)

- 中継情報を登録したい時は、あらかじめシステム登録の「104 短縮ダイヤル情報」を“あり”に設定しておいてください。
- あらかじめシステム登録の「140 LAN中継指示」を“あり”に設定しておいてください。
  “なし”に設定されている場合は、ワンタッチダイヤルに登録はできますが、LAN中継送信指示をすることはできません。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション 7 ま PQRS 2 か ABC セット を押す

```
ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録

うすく■■■□□こく      小さい
```

2 1 あ を押す

```
ワンタッチダイヤルの登録
ボタン（０１～６０）
          を押してください

うすく■■■□□こく      小さい
```

3 ワンタッチダイヤル（01 ～ 60）を押す

・すでに登録されている内容がある場合、その番号が表示されます。
・間違えたときや登録済のボタンを押した場合は、▼ または ▲ を押し、ほかのワンタッチボタンを選べます。
・「アドレスを登録してください」と表示された場合は、Eメール を押して切り替えてください。
・文字（英記号）を入力するには（☛67 ページ）

例：「ワンタッチ：01」

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
ダイヤルを登録してください
_                      外線

うすく■■■□□こく      小さい
```

4 宛先のダイヤル番号（最大 60 桁）を入れる

・間違えた場合は、◀または ▶を押してカーソルを移動させて クリアー で消してから、入れ直します。

例

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
ダイヤルを登録してください
0334952973_            外線

うすく■■■□□こく      小さい
```

5 セット を押す

・ダイヤル番号が登録されます。

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
名称を登録してください(かな漢)
_

うすく■■■□□こく      小さい
```

6 宛先名（最大 20 文字）を入れる

・宛先の名前を入れます。
（☛取扱説明書（ファクス編）「文字入力のしかた」を参照してください）

例

```
東京本社_
  入力モード
■

うすく■■■□□こく      小さい
```

7 セット を押す

・宛先名が登録されます。

ワンタッチダイヤル登録：０１
検索文字を入力してください
検索文字：と

うすく■■■□□こく　　小さい

8 検索文字を確認して セット を押す

・検索文字が登録されます。
・システム登録の「107 代行宛先通信」（☛ファクス編取扱説明書を参照してください）の設定が“あり”の場合、登録できます。

代行宛先を登録してください

短縮：＿　　（２桁）

うすく■■■□□こく　　小さい

9 代行宛先を入れて セット を押す

・システム登録の「152 SUB ルーティング」、「153 数字 ID ルーティング」が”あり”に設定されている場合は、続けて登録できます。（☛107 ページ）

特殊通信機能を登録しますか

１．はい　　２．いいえ

うすく■■■□□こく　　小さい

10 1あ を押す

中継情報を登録しますか
１．中継機　　２．中継機以外
３．ＬＡＮ中継　４．いいえ

うすく■■■□□こく　　小さい

11 3さ DEF を押す

ＬＡＮ中継指示宛先の登録
宛先を指定してください

うすく■■■□□こく　　小さい

12 中継局（メールアドレス）が登録されている短縮、ワンタッチを指定し、セット を押す

・あらかじめ中継局を登録しておいてください。（☛105 ページ）
・間違えたときは クリアー を押して、指定しなおします。

ＬＡＮ中継局の登録

短縮：＿　　（２桁）

うすく■■■□□こく　　小さい

13 送信時の A3 原稿を B4 に縮小するか、しないかを設定する

・1あ または 2か ABC を押します。
・相手機の能力に合わせて設定します。

ワンタッチダイヤル登録：０１
送信時Ａ３→Ｂ４縮小をしますか
1．しない　　２．する

うすく■■■□□こく　　小さい

14 送信時の画質設定をする

・1あ または 2か ABC を押します。
・相手機の能力に合わせて設定します。

ワンタッチダイヤル登録：０１
相手能力（400dpi）の登録
1．しない　　２．する

うすく■■■□□こく　　小さい

15 ・続けてワンタッチダイヤルの登録ができます。手順３からの操作をしてください。

ワンタッチダイヤルの登録
ボタン（０１～６０）
を押してください

うすく■■■□□こく　　小さい

16 ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

- ワンタッチの登録を途中でやめるときは、ストップを押してください。
- 手順４でダイヤル番号として登録できるのは、数字、＊、＃、ポーズ（−）、トーン（／）、モニター（スペース）の最大60桁です。
- 手順12で指定するワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルには中継局に登録されている中継用パスワードが登録されているメールアドレスが含まれていなければなりません。（☛105ページ）
- 他機種に400dpiで送信した場合、正常に通信できないことがあります。
  また、複数宛先を行なった場合、400dpiの登録が「しない」で設定されている宛先が含まれていると、同報するすべての送信は400dpiで送信されません。

■短縮ダイヤルの登録

短縮ダイヤルに、「宛先の電話番号」と共に、中継局を登録しておくと、原稿をセットして 短縮 短縮番号（00～99）、スタート を押すだけでLAN 中継同報の指定ができます。

- 中継情報を登録したい時は、あらかじめシステム登録の「104 短縮ダイヤル情報」を“あり”に設定しておいてください。
- あらかじめシステム登録の「140 LAN 中継指示」を“あり”に設定しておいてください。“なし”に設定されている場合は、短縮ダイヤルに登録はできますが、LAN 中継送信指示をすることはできません。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション 7 PQRS 2 ABC セット を押す

```
ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録

うすく■■■□□こく　　小さい
```

2 2 ABC を押す

```
短縮ダイヤルの登録　　設定数：000
短縮番号を指定してください
短縮：__　　（2桁）

うすく■■■□□こく　　小さい
```

3 短縮番号（00～99）を押す

・すでに登録されている内容がある場合、その番号が表示されます。

・間違えたときや登録済のボタンを押した場合は、▼または ▲ を押し、ほかの短縮ボタンを選べます。

・「アドレスを登録してください」と表示された場合は、Eメール を押して切り替えてください。

・文字（英記号）を入力するには（☛67 ページ）

例：「短縮：01」

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮：01
ダイヤルを登録してください
_　　外線

うすく■■■□□こく　　小さい
```

4 宛先のダイヤル番号（最大 60 桁）を入れる

・間違えた場合は、◀または▶を押してカーソルを移動させて クリアー で消してから、入れ直します。

例

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮：01
ダイヤルを登録してください
0334919191_　　外線

うすく■■■□□こく　　小さい
```

5 セット を押す

・ダイヤル番号が登録されます。

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮：01
名称を登録してください(かな漢)
__

うすく■■■□□こく　　小さい
```

6 宛先名（最大 20 文字）を入れる

・宛先の名前を入れます。
（☛取扱説明書（ファクス編）「文字入力のしかた」を参照してください）

例

```
松下電送システム__
  入力モード
■

うすく■■■□□こく　　小さい
```

7 セット を押す

・宛先名が登録されます。

短縮ダイヤルの登録　　短縮：０１
検索文字を入力してください
検索文字：ま

うすく■■■□□こく　　小さい

8 検索文字を確認して セット を押す

・検索文字が登録されます。
・システム登録の「107 代行宛先通信」（☛ファクス編取扱説明書を参照してください）の設定が“あり”の場合、登録できます。

代行宛先を登録してください

短縮：＿　　（２桁）

うすく■■■□□こく　　小さい

9 代行宛先を入れて セット を押す

特殊通信機能を登録しますか

１．はい　　２．いいえ

うすく■■■□□こく　　小さい

10 1あ を押す

中継情報を登録しますか
１．中継機　　２．中継機以外
３．ＬＡＮ中継　４．いいえ

うすく■■■□□こく　　小さい

11 3さ DEF を押す

ＬＡＮ中継指示宛先の登録
宛先を指定してください

うすく■■■□□こく　　小さい

12 中継局（メールアドレス）が登録されている短縮、ワンタッチを指定する

・間違えたときは クリアー を押して、指定しなおします。

ＬＡＮ中継局の登録

短縮：＿　　（２桁）

うすく■■■□□こく　　小さい

13 送信時のA3原稿をB4に縮小するか、しないかを設定する

・1あ または 2か ABC を押します。
・相手機の能力に合わせて設定します。

短縮ダイヤルの登録　　短縮：０１
送信時Ａ３→Ｂ４縮小をしますか
1．しない　　２．する

うすく■■■□□こく　　小さい

14 送信時の画質設定をする

・1あ または 2か ABC を押します。
・相手機の能力に合わせて設定します。

短縮ダイヤルの登録　　短縮：０１
相手能力（400dpi）の登録
1．しない　　２．する

うすく■■■□□こく　　小さい

15 ・続けて短縮ダイヤルの登録ができます。
手順３からの操作をしてください。

短縮ダイヤルの登録　　設定数：001
短縮番号を指定してください
短縮：＿　　（２桁）

うすく■■■□□こく　　小さい

16 ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

- 短縮ダイヤルの登録を途中でやめるときは、ストップを押してください。
- 手順４でダイヤル番号として登録できるのは、数字、＊、＃、ポーズ（−）、トーン（／）、モニター（スペース）の最大60桁です。
- 手順12で指定するワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルには中継局に登録されている中継用パスワードが登録されているメールアドレスが含まれていなければなりません。（☛105ページ）
- 他機種に400dpiで送信した場合、正常に通信できないことがあります。
  また、複数宛先を行なった場合、400dpiの登録が“しない”で設定されている宛先が含まれていると、同報するすべての送信は400dpiで送信されません。

■中継局の登録

ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに、「宛先の電話番号」と共に、中継局を登録しておくと、ワンタッチダイヤル（または短縮ダイヤル）で宛先を指定した後、スタート を押すだけで中継同報の指示ができます。

- 同報機能を持った中継局を、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録します。
- 中継局はメールアドレスが登録された宛先のみです。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション 7 ま PQRS 2 か ABC セット を押す

```
ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録

うすく■■■□□こく　　小さい
```

2 2 か ABC を押す

```
短縮ダイヤルの登録　　設定数：000
短縮番号を指定してください
短縮：__　　（２桁）

うすく■■■□□こく　　小さい
```

3 短縮番号（00～99）を押す

・すでに登録されている内容がある場合、その番号が表示されます。
・間違えたときや登録済のボタンを押した場合は、▼または▲を押し、ほかの短縮ボタンを選べます。
・「ダイヤルを登録してください」と表示された場合は、Eメール を押して切り替えてください。
・文字（英記号）を入力するには（☛67ページ）

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮：０１
アドレスを登録してください
_　　英記号

うすく■■■□□こく　　小さい
```

4 宛先のメールアドレス（最大60桁）を入れる

・中継局に登録されている中継用パスワードを含むメールアドレスを登録します。
・間違えた場合は、◀または▶を押してカーソルを移動させて クリアー で消してから、入れ直します。

例

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮：０１
アドレスを登録してください
RELAYG3@iFAX.com_　　英記号

うすく■■■□□こく　　小さい
```

5 セット を押す

・メールアドレスが登録されます。

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮：０１
名称を登録してください(かな漢)
_

うすく■■■□□こく　　小さい
```

6 宛先名（最大20文字）を入れる

・宛先の名前を入れます。
（☛取扱説明書（ファクス編）「文字入力のしかた」を参照してください）

例

```
長野松下電送_
　入力モード
■

うすく■■■□□こく　　小さい
```

7 セット を押す

・宛先名が登録されます。

```
短縮ダイヤルの登録        短縮：０１
検索文字を入力してください
検索文字：な

うすく■■■□□こく      小さい
```

8 検索文字を確認して セット を押す

・検索文字が登録されます。
・システム登録の「152 SUB ルーティング」（☛112 ページ）の設定が“あり”の場合、登録できます。

```
短縮ダイヤルの登録        短縮：０１
サブアドレスを登録してください
―

うすく■■■□□こく      小さい
```

9 サブアドレスを確認して セット を押す

・サブアドレスが登録されます。
・システム登録の「153 数字IDルーティング」（☛112 ページ）の設定が“あり”の場合、登録できます。

```
短縮ダイヤルの登録        短縮：０１
数字ＩＤを登録してください
―

うすく■■■□□こく      小さい
```

10 数字 ID を登録して セット を押す

・数字 ID が登録されます。

```
短縮ダイヤルの登録      短縮：０１
送信時Ａ３→Ｂ４縮小をしますか
1．しない        2．する

うすく■■■□□こく      小さい
```

11 送信時の A3 原稿を B4 に縮小するか、しないかを設定する

・(1あ) または (2かABC) を押します。
・相手機の能力に合わせて設定します。

```
短縮ダイヤルの登録      短縮：０１
相手能力（400dpi）の登録
1．しない        2．する

うすく■■■□□こく      小さい
```

12 送信時の画質設定をする

・(1あ) または (2かABC) を押します。
・相手機の能力に合わせて設定します。

```
短縮ダイヤルの登録      設定数：001
短縮番号を指定してください
短縮：__      （２桁）

うすく■■■□□こく      小さい
```

13 続けて短縮ダイヤルの登録ができます。手順３からの操作をしてください。

14 ストップ を押す

お知らせ

● 登録を途中でやめるときは、ストップを押してください。
● 他機種に 400dpi で送信した場合、正常に通信できないことがあります。
また、複数宛先を行なった場合、400dpi の登録が“しない”で設定されている宛先が含まれていると、同報するすべての送信は 400dpi で送信されません。

ルーティングの登録

ルーティング通信で転送する相手先の宛先、数字IDおよびサブアドレスを電子電話帳に登録します。ファクス通信時の送信側から送られてきたサブアドレスまたは数字IDが一致した場合に、一致した電子電話帳の宛先に転送します。あらかじめシステム登録の「152 SUBルーティング」、「153 数字IDルーティング」を“あり”に設定しておいてください。（☛48ページ）

■ワンタッチダイヤルの登録

1 **「ダイヤルの登録」の「ワンタッチダイヤルの登録」の手順８までの操作を行なう（☛99ページ）**

・あらかじめシステム登録の「152 SUBルーティング」、「153 数字IDルーティング」を“あり”に設定しておくと次の表示がされます。

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
サブアドレスを登録してください
_
うすく■■■□□こく　　小さい
```

2 **サブアドレス（最大20桁）を登録する**

例

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
サブアドレスを登録してください
1234567_
うすく■■■□□こく　　小さい
```

3 **セット ◯ を押す**

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
数字ＩＤを登録してください
_
うすく■■■□□こく　　小さい
```

4 **数字ID（最大20桁）を登録する**

例

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
数字ＩＤを登録してください
1111111_
うすく■■■□□こく　　小さい
```

5 **セット ◯ を押す**

・次の設定をつづけて行います。

お知らせ

- ワンタッチダイヤルの登録を途中でやめるときは、ストップ ⊖ を押してください。
- 数字IDによるルーティングを行なうときは、送信側のファクスに登録されている数字IDと同一内容の数字を、ワンタッチダイヤルの転送用相手数字IDに登録してください。ただし、スペース、「＋」など数字以外は削除して比較します。
- システム登録の「152 SUBルーティング」が“なし”に設定されている場合、手順４の画面から登録できます。
- システム登録の「153 数字IDルーティング」が“なし”に設定されている場合、手順３で セット ◯ を押すと手順５の画面に進みます。

■短縮ダイヤルの登録

1 **「ダイヤルの登録」の「短縮ダイヤルの登録」の手順８までの操作を行なう（☛102ページ）**

・あらかじめシステム登録の「152 SUB ルーティング」、「153 数字 ID ルーティング」を“あり”に設定しておくと次の表示がされます。

```
短縮ダイヤルの登録     短縮：０１
サブアドレスを登録してください
_
うすく■■■□□こく       小さい
```

2 **サブアドレス（最大 20 桁）を登録する**

例

```
短縮ダイヤルの登録     短縮：０１
サブアドレスを登録してください
1234567_
うすく■■■□□こく       小さい
```

3 **セット ○ を押す**

```
短縮ダイヤルの登録     短縮：０１
数字ＩＤを登録してください
_
うすく■■■□□こく       小さい
```

4 **数字 ID（最大 20 桁）を登録する**

例

```
短縮ダイヤルの登録     短縮：０１
数字ＩＤを登録してください
2222222_
うすく■■■□□こく       小さい
```

5 **セット ○ を押す**

・次の設定をつづけて行います。

お知らせ

- 短縮ダイヤルの登録を途中でやめるときは、ストップ ⊖ を押してください。
- 数字 ID によるルーティングを行なうときは、送信側のファクスに登録されている数字IDと同一内容の数字を、短縮ダイヤルの転送用相手数字IDに登録してください。ただし、スペース、「＋」など数字以外は削除して比較します。
- システム登録の「152 SUB ルーティング」が“なし”に設定されている場合、手順４の画面から登録できます。
- システム登録の「153 数字 ID ルーティング」が“なし”に設定されている場合、手順３で セット ○ を押すと手順５の画面に進みます。

■自局情報の登録

インターネット通信に必要な、LANシステムのIPアドレス情報などの各種設定を登録します。

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

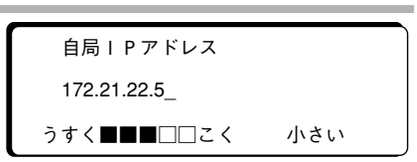
1 ファンクション ○ 7 まPQRS 1 あ セット ○ を押す

2 **▼または▲を押して目的の項目を表示します**

・「自局登録の種類（インターネット用）」（☛110ページ）を参照して、項目を選択します。

3 **設定値を選ぶ**

・「自局登録の種類（インターネット用）」（☛110ページ）を参照して、設定値を選択します。



4 セット ○ を押す

・続けて、表示されている項目の設定ができます。手順2からの操作をくり返します。

5 ストップ ⊖ を押す

・待機状態に戻ります。

■ 自局登録の種類（インターネット用）

本インターネットオプションを設置したときに「自局登録」へ次の項目が追加されます。

登録項目	内容
MAC アドレス	MAC アドレス
自局 IP アドレス	インターネットプロトコルアドレス
サブネットマス	サブネットマスク番号
メールサーバー名（※）	メールサーバー名（60 桁まで）
メールサーバー IP アドレス	メールサーバーの IP アドレス
デフォルトルータ IP アドレス	デフォルトルータの IP アドレス
自局メールアドレス	60 桁まで
DNS サーバー IP アドレス（※）	DNS サーバーの IP アドレス
POP サーバー名（※）	POP サーバー名（60 桁まで）
POP サーバー IP アドレス	POP サーバーの IP アドレス
POP ユーザー名	40 桁まで
POP パスワード	10 桁まで
ホスト名	60 桁まで
デフォルトサブジェクト	件名（Subject）の部分に自動挿入される内容（20 文字まで）
デフォルトドメイン	電子メールアドレス省略時の付加ドメイン名（50 桁まで）。 例： mgcs.co.jp （@ は自動で付加されます）
リモートパスワード	電子メールを使ったリモート操作によるインターネットパラメーター、宛先登録、通信管理レポートの取得に関するパスワード（10文字まで）
中継用パスワード	中継送信時の中継許可用パスワード（10 文字まで）
管理者メールアドレス	中継送信状況モニターと通信費用管理として利用（60 桁まで）
（中継許可）ドメイン名 01 ～ 10	中継許可ドメイン（30 桁まで）

お知らせ

● （※）の登録項目はシステム登録の「161 DNS 設定」が「あり」の場合設定できます。

システムの登録

■システム登録のしかた

ファクス ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 ファンクション **7 ま PQRS を押す**

```
登録モード                （1－6）
番号入力または∨、∧
を入力してください

うすく■■■□□こく      小さい
```

2 **4 た GHI セット を押す**

```
システムの登録          （001-165）
No.＝__        （3桁）

うすく■■■□□こく      小さい
```

3 **設定する番号（3桁）を入れ、セット を押す**

・「システム登録一覧表」（☛取扱説明書（ファクス編）および112ページ）を参照して、設定番号を選択します。

・設定を間違えたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「００２」

```
002 文字サイズ              設定：2
1．ふつう      2．小さい
3．細密        4．ハーフトーン

うすく■■■□□こく      小さい
```

4 **設定値を選ぶ**

・「システム登録一覧表」（☛取扱説明書（ファクス編）および112ページ）を参照して、設定値を選択します。

```
002 文字サイズ              設定：2
1．ふつう      2．小さい
3．細密        4．ハーフトーン

うすく■■■□□こく      小さい
```

5 **セット を押す**

・続けて、表示されている項目の設定ができます。手順4からの操作をくり返します。

```
004 済みスタンプ            設定：2

1．なし        2．あり

うすく■■■□□こく      小さい
```

6 **ストップ を押す**

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● システム登録を途中でやめるときは、ストップを押してください。

● 手順4の画面を表示しているとき、▼▲ を押すと、ほかの項目が選べます。

■ システム登録一覧表

本インターネットFAXユニットを設置したときに「システム登録」へ次の項目が追加されます。
お買い上げ時は、下線の位置に設定されています。

設定番号	設定項目	設定値	説　明
140	LAN中継指示	1：なし 2：あり	“あり”にすると、LAN経由の中継送信の指示を行います。
141	LAN縮小送信	1：なし 2：あり	“あり”にすると、LAN経由にて送信するときにA4 サイズに縮小されて送信します。
142	LAN中継機能	1：なし 2：あり	“なし”にすると、LAN中継動作を行いません。
143	LAN中継結果返送	1 ：なし 2 ：全通信 3 ：異常時	LAN中継の結果を指示元に返送するときの条件を選びます。
145	FROM選択機能	1：なし 2：あり	発信元やメールのFrom 欄の内容を選べるようにするときに、“あり”にします。24 個のユーザー名称（最大20文字）とメールアドレス（最大52桁）を登録できます。
146	POP取得間隔	0 ～3～60分	POPサーバーへメールの到着の確認をする間隔を設定します。
147	POP自動受信	1：なし 2：あり	“なし”にすると、POP取得時、自動受信しません。
148	POP受信後削除	1：なし 2：あり	“なし”にすると、POP受信後メール削除しません。
149	POPエラー時削除	1：なし 2：あり	“あり”にすると、POPサーバーに受信できないメールが来たときにこのメールを削除します。
150	送達確認	1：なし 2：あり	LAN受信時の結果を送信元に返送するとき設定します。
151	メールヘッダー表示	1：なし 2：全て 3：編集	メールを受信したときにプリントするヘッダーの内容を設定します。
152	SUBルーティング	1：なし 2：あり	サブアドレスによるルーティングを行うときに“あり”にします。
153	数字IDルーティング	1：なし 2：あり	数字IDによるルーティングを行うときに“あり”にします。
154	ルーティング時FROM	1：中継局 2：指示局	ルーティングにより、LANへメールを送るときのFrom欄の内容を選びます。
155	ルーティング時出力	1：異常時 2：全通信	ルーティング時に、受信した原稿を自局でプリントする設定を選びます。
157	管理レポート送信	1：なし 2：あり	“あり”にすると、管理レポートを登録された宛先へ送信します。
158	メールリモート登録	1：なし 2：あり	メールによるPCから短縮登録を行うとき“あり”にします。
160	ドメイン名設定	1：なし 2：あり	直接ダイヤルで送るとき、ドメイン名を入れて送信するとき“あり”にします。
161	DNS 設定	1：なし 2：あり	インターネット通信を行うときにDNSサーバーを使うときは“あり”にします。
162	TIFF ビューアーURL	1：なし 2：日本文 3：英＋日	メールのメッセージ中にURLアドレスを入れるときに言語の設定します。
163	ルーティングヘッダー	1：なし 2：あり	ルーティング時に、ルート局のヘッダー情報を付けるときに“あり”にします。
165	スキャナー解像度	1：細密 2：小さい	ネットワークスキャナーとしての解像度を設定します。

お知らせ

● 本インターネットオプションを設置したときは、システム登録のNo.034「省エネモード」の「省エネ」は設定できなくなります。

必要なときにお読みください

こんなときには

■主なエラーコード

インターネット通信のときに、通信できなかったときなどに、通信管理レポートにエラーコードが表示されます。エラーコードが表示されたときは、次の表に従って処置してください。
他のエラーコードは、ファクス編取扱説明書を参照してください。

エラーコード	原　因	処　置	参照ページ
712	電子メールアドレスの誤り	登録された電子メールアドレスを確認してください。SMTP サーバーの IP アドレスをシステム管理者にお問い合わせください。	ー
713	LANインタフェースのメモリーオーバフロー	ページあたりの文書データが 3.2MB を超えているため、送れません。	ー
714	LAN にログオンできない	10BASE-T/100BASE-TX ケーブルの接続を確認してください。予期できない問題が発生しました。システム管理者にお問い合わせください。	ー
715	TCP/IP 接続のタイムアウト	インターネットファクスのパラメーター設定値を確認してください。IP アドレス、ルーターIPアドレスの初期値、SMTPサーバーIPアドレスを確認してください。	ー
716	指定した SMTP サーバーにログインできない	SMTP サーバー IP アドレス設定値を確認してください。システム管理者にお問い合わせください。	ー
717	SMTP プロトコル伝送が不完全。SMTP サーバーのハードディスクが一杯の可能性	SMTP サーバーに障害があります。システム管理者にお問い合わせください。	ー
718	プリントデータ受信時のプリントメモリーオーバフロー。給紙カセットの用紙サイズよりも大きいサイズをアプリケーションで選択した	原稿サイズと解像度を確認してください。受信側で対応しているサイズと解像度で再送信してもらうように送信側に連絡してください。	ー
719	LANで受信したデータ形式が受信側に対応していない	対応するファイル添付形式で再送してもらうように送信側に連絡してください。TIFF-F 形式を確認してください。	ー
725	・ DNSサーバー接続のタイムアウト ・ DNSサーバーのダウン	DNS サーバー IP アドレスを確認してください。 システム管理者にご連絡ください。	ー
726	DNS サーバーからエラー応答を受信	POP サーバー名を確認してください。SMTPサーバー名を確認してください。	ー
730	PC によるリモート設定ができない。	システム登録 No.158（メールリモート登録）が「2：あり」に設定されていることを確認してください。	112 ページ
731	LAN 中継受信時に管理領域がいっぱい	現在の通信が終了後、LAN 中継指示を再送するように送信先に連絡してください。	ー

お知らせ

- 上記以外のエラーコードが表示された場合は、もう一度通信してみてください。
- 処置をしてもエラーコードが表示される場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

■主なメッセージ

通信エラーになったときは、ディスプレーにエラー内容を表すメッセージが表示されます。
他のエラーメッセージは、ファクス編取扱説明書を参照してください

エラーメッセージ	内　容	処　置	参照ページ
LAN ボードを確認してください	LAN との接続ができない	LAN ユニットを確認してください。	ー
通信エラーがありました	・メールアドレスが存在しない ・メモリーがいっぱいになった ・LAN との接続ができない ・未サポートのTIFF添付ファイルを受信した	・メールアドレスの登録内容を再確認してください。 ・1 ページあたりの情報量が多すぎて送信できません。 ・システム管理者にご相談ください。 ・相手に確認してください。	71 ページ 73 ページ
POP サーバーに接続できません	POP サーバーと接続できない	・POP サーバー IP アドレスまたは POP ユーザー名とパスワードを確認してください。 ・システム管理者にご相談ください。	109 ページ
DNS サーバーに接続できません	DNS サーバーと接続できない	・DNS サーバー IP アドレスを確認してください。 ・POP サーバー名を確認してください。 ・システム管理者にご相談ください。	109 ページ

お知らせ

● 上記処置をしてもエラーメッセージが表示される場合は、LINK ランプが点灯しているか確認してください。消灯している場合は LAN ケーブルを点検してください。それでもわからない場合は、サービス実施店にご相談ください。

リモート登録時のエラーメッセージ

■ エラーメッセージを送付先へ送る

ワンタッチ／短縮ダイヤルのリモート登録時にエラーとなった場合に、本機より電子メールで PC へエラーメッセージが送付されます。

	エラーメッセージ	内容と処置
1	554 Data transfer error (broken header)	ヘッダーまたはサブヘッダーの解析中にエラーになって処理できませんでした。再送してください。
2	554 Data transfer error (broken data)	データ解析中にエラーになって処理できませんでした。再送してください。
3	554 Data transfer error (FAX module)	データ処理中に内部エラーが発生して処理できませんでした。再送してください。
4	554 MIME attachment not supported (message/file)	サポートしていないMIMEの添付ファイルが送られました。テキストデータだけの添付ファイルで再送してください。
5	554 MIME format not supported	サポートしていない MIME タイプが送られました。テキストデータだけで再送してください。
6	554 FAX relay permission denied	中継要求のあったドメイン名は登録されていません。確認して再送してください。
7	554 Relay address unknown	中継要求のあった電話番号は宛先不明です。確認して再送してください。
8	554 Memory fully (FAX module)	FAXメモリーがいっぱいです。あとで再送してください。
9	554 Data transfer error	リスト上に無いエラーです。あとで再送してください。

■リモート登録失敗時のエラーメッセージ

ワンタッチ／短縮ダイヤルのリモート登録が失敗したときに、エラーメッセージがプリントされます。

	エラーメッセージ	内容と処置
1	@list ブロックにエラーがあります	ブロック終了コマンド「 @end 」が「 @list 」ブロックで記述されていません。「 @end 」コマンドを加えて再送してください。
2	@command ブロックにエラーがあります	ブロック終了コマンド「 @end 」が「 @command 」ブロックで記述されていません。「 @end 」コマンドを加えて、再送してください。
3	@begin コマンドがありません	ブロック開始コマンド「 @begin 」が「 @begin 」ブロックで記述されていません。「 @begin 」コマンドを加えて再送してください。
4	@begin ブロックにエラーがあります	ブロック終了コマンド「 @end 」が「 @begin 」ブロックで記述されていません。「 @end 」コマンドを加えて再送してください。
5	@system ブロックにエラーがあります	ブロック終了コマンド「 @end 」が「 @system 」ブロックで記述されていません。「 @end 」コマンドを加えて再送してください。
6	@sender ブロックにエラーがあります	ブロック終了コマンド「 @end 」が「 @sender 」ブロックで記述されていません。「 @end 」コマンドを加えて再送してください。
7	@domain ブロックにエラーがあります	ブロック終了コマンド「 @end 」が「 @domain 」ブロックで記述されていません。「 @end 」コマンドを加えて再送してください。
8	@relay ブロックにエラーがあります	ブロック終了コマンド「 @end 」が「 @relay 」ブロックで記述されていません。「 @end 」コマンドを加えて再送してください。
9	@program ブロックにエラーがあります	ブロック終了コマンド「 @end 」が「 @program 」ブロックで記述されていません。「 @end 」コマンドを加えて再送してください。
10	@system コマンドがありません	ブロック開始コマンド「 @system 」が「 @system 」ブロックで記述されていません。「 @system 」コマンドを加えて再送してください。
11	FAX メモリー転送が設定されているため リモート登録できません	システム登録の「メモリー転送」の設定を「なし」に変えて再送してください。
12	FAX 動作中のためリモート登録できません	ファクス動作終了後、再送してください。
13	以下のデータに上書されました	登録済のデータに上書されました。
14	リモート登録パスワードチェックエラー	パスワードを修正して再送してください。
15	リモート登録が許可されていません	メールリモート登録が許可されていません。システム登録の「メールリモート登録」の設定を「あり」に変えて再送してください。
16	Format Error :	各発信者選択用の記述データが一行で完結していないため、フォーマットが不完全となっています。一行で記述してください。
17	Warning :	入力されたフォーマットが正しくない、または文字数が最大桁数を超えています。修正して再送してください。
18	データが長すぎます	宛先名の文字数が最大桁数を越えています。修正して再送してください。

主な仕様

■インターネット部仕様

インターネット FAX	
適用回線	10BASE-T/100BASE-TX Ethernet [IEEE802.3u]
通信プロトコル	TCP/IP, SMTP, POP3, MIME
データ形式	TIFF-FX プロファイル S 、MMR（400dpi のみ）
送信原稿サイズ	A3 ～ A5
有効読取り幅	最大 292mm (A3)
用紙サイズ	A3, B4, A4, B5, A5
出力可能文字	JIS 第 1 ・第 2 水準
適合規格	IETF RFC2305, ITU-TT.37
ネットワークスキャナー	
送信原稿サイズ	A3 ～ A5
有効読取り幅	最大 292 mm (A3)
読み込み速度	0.7 秒（A4、文字サイズ：ふつう）
解像度	400dpi
ネットワークプリンター	
用紙サイズ	A3, B4, A4, B5, A5, ハガキ（手差し）
記録速度	18 PPM
解像度	600dpi/300dpi
対応 OS	Windows® 98/Me, Windows NT4.0/2000/XP

用語の説明

用　　語	解　　説
LAN (Local Area Network)	オフィス、工場、大学構内等の、限定された地域で、複数のコンピュータやプリンターなどを接続し、情報の共有化や、情報交換を行うネットワークです。
MIME (Multipurpose Internet Mail Extension)	インターネット上で、テキストデータ以外のマルチメディア情報も扱えるように拡張した、電子メールの通信手順です。
TCP (Transmission Control Protocol)	ネットワーク用の通信手順で、異なるホスト間の通信を行うための通信手順です。
IP (Internet Protocol)	ネットワーク用の通信手順で、異なるホスト上のアプリケーション間の通信を行うための通信手順です。
SMTP (Simple Mail Transfer Protocol)	電子メールを送受信するための TCP/IP による通信手順です。
メーリングリスト	あるアドレスに対して電子メールを送り、自動的に複数の人に電子メールのコピーを送るための、メールアドレスのリストです。
メールサーバー IP アドレス	メールサーバーのアドレスです。本製品は、あらかじめ設定されたメールサーバーとだけ通信を行います。
サブネットマスク	サブネットを認識するためのマスクビットです。通信時にルーターを介すか、介さないかの判定に使用します。
ディフォルトルーター IP アドレス	他のネットワークと通信する際に経由するルーターのアドレスです。
IP アドレス	インターネット上の装置やホストを特定するために割り当てられるアドレス番号で、32 ビットのアドレスフィールドを使用します。
TIFF (Tagged Image File Format)	異機種間でのグラフィックデータの交換ができるようデータの前のタグと呼ばれる部分を設け、データの記述形式を記載したデータファイルです。 本製品の TIFF ファイルは、 MH 方式によりデータを圧縮しています。
TIFF ビューアー	TIFF ファイルの中身を閲覧するための機能を持ったプログラムです。市販の TIFF ビューアーでは、本製品から送られた TIFF ファイルを表示できない場合があります。（☛ 44 ページ）
ホームページ	WWW サーバー上にアクセスした際、最初に表示されるページです。または WWW サーバー上に設けられたページそのものを指します。
メールアドレス	電子メールを送受信するための宛先です。ユーザー名、サブドメイン名、ドメイン名で構成されます。
中継用パスワード	LAN 中継通信を行う際に、パスワードとして用いるメールアドレスです。LAN 中継通信の宛先を表すメールアドレスの、ユーザー名（@の左側）の部分と比較して、一致した場合に LAN 中継通信を行います。
中継許可用ドメイン名	LAN 中継通信を指定できる端末であることの確認に用いるドメイン名です。LAN 中継通信を指定したインターネットファクス（または PC）を表すメールアドレスのドメイン名（@の右側）の部分と比較して、一致した場合に LAN 中継通信を行います。
送達通知メール	LAN 中継同報通信が終了したら、通信の結果を、 LAN 中継同報を指示したインターネットファクス（または PC ）へ電子メールで通知します。（☛ 63 ページ）
管理者用メールアドレス（管理者宛メール）	中継局を管理する担当者のメールアドレスです。インターネットファクス（または PC ）から、LAN 中継同報が指示されるごとに、管理者宛に、電子メールで通知します。

用　　語	解　　説
中継局	受信した原稿を複数のファクスへ LAN 中継同報送信する機能を持った端末を表します。
POP (Post Office Protocol)	メールサーバーにアクセスして自分宛のメールを取り出すための通信手順です。
10BASE-T/100BASE-TX	イーサーネット LAN システムの一種で、10/100Mbps での通信が可能です。“ T ”はツイストケーブルの意味で 2 本のケーブルをより対線としています。
クライアント	クライアント(端末)コンピューターの意味で、LAN 上でデータベース共用、グループ作業や通信を行うときに使用します。
DNS (Domain Name Server)	WWWやE-メイルなど、アプリケーション間の通信時に、IPアドレス（例「１２３．４５６．７．８９１」）とドメイン名（例「www.mgcs.nyc.com」）との間の変換（読みかえ）を自動的に行なうプログラムです。コンピューターが実際に扱う数字列である IP アドレスと、ユーザー（人間）が認識しやすい名前などの文字列とを変換するためのシステムです。多くの場合、 DNS サーバーと呼ばれる専用のコンピューター上で実行されます。
ドメイン名	インターネットに接続された個々のコンピュータを一意に識別する名称です。ドメイン名は DNS サーバーによって IP アドレスから翻訳されます。これは、IPアドレスが変更された場合でも、ユーザーに親しみやすい（記憶されやすい）名称を保持することが目的です。
イーサーネット	LANに利用されているコンピューターネットワークの一般的な方式です。
インターネット	全世界の政府系組織、教育組織、商業用組織、非営利組織、民間組織に設置された何百万台のものコンピュータを TCP/IP プロトコルで接続した、相互アクセス可能なネットワークです。利用可能なアプリケーションには WWW、E-メイル、FTP、ニュースグループなどがあります。
ISP (Internet Service Provider)	インターネットへの接続をユーザーに提供する組織です。ほとんどの ISP は営利団体です。
LAN (Local Area Network)	コンピュータが短距離ケーブルで接続されているネットワーク環境です。接続端末の数は 2 から数百までありますが、常に比較的狭い領域に限られています。
MAC アドレス	ハードウェアアドレスで、MAC（Media Access Control）アドレスとして装置に割り当てられています。MACアドレスは設定不可能となっています。MACアドレスはコロンで分割された 6 つの 16 進数で構成されています。 例：「 00:00:c0:34:f1:50 」
ネットワーク	2台あるいはもっと多くのコンピュータを結び、いつでもリソースを共有することができるようにすることが、コンピューター・ネットワークです。
プロトコル	装置間通信のための標準または言語。業界には多くの種類のプロトコルが存在し、IC やコンピューターを内蔵している製品はどれもある種のプロトコルを利用しています。インターネットでは、100を越える標準が共同してTCP/IPプロトコルを校正し、インターネット通信を滑らかで信頼できるものにしています。

必要なときにお読みください

用　　語	解　　説
ルーター	複数のLAN間の通信を可能にするネットワーク装置です。インターネットでは、それぞれの LAN のルーターが、インターネットを経由して転送すべきデータの経路を管理しています。
サーバー	クライアント（端末）コンピューターに対してデータ資源、通信接続、データ保存空間その他のサービスを提供する、ネットワークに接続されたコンピューターまたは装置をさすメールサーバーソフトウェアーはネットワーククライアントがメールアカウントを保有してメールの送受信を行なうことを可能にしています。
TCP/IP (Transmission Control Protocol/ Internet Protocol)	インターネットで使用されているプロトコルの最も基本的な集合体（プロトコルスイート）であり、あるインターネット端末と別の端末との間のデータ転送を可能にします。

索　引

◆A
ADF から電話帳機能で送る 34

◆F
FROM 選択機能の登録 42

◆L
LAN 中継機能の設定 60
LAN 中継送信指示の設定 61
LAN 中継同報 21, 58
LAN 中継同報指示 59
LAN 中継同報について 58
LAN 中継同報の通信結果 63
LAN 中継同報の登録 97
LAN を使って送信する 28

◆P
PC からインターネットファクス経由で
　ファクスへ送信する 64
PC からの LAN 中継同報指示 62
POP クライアントとしての設定 15
POP 受信 45
POP 手動受信の登録 48
POP による自動受信 47
POP による受信の設定 45
POP による受信 47

◆S
SMTP 転送としての設定 14

◆あ
相手先メールアドレスやネットワーク
　パラメータの文字（英数字）
　入力をするには 67
安全上のご注意 6

◆い
一度にたくさんの相手に送る
　（順次同報送信） 33
インターネット通信と一般回線との
　機能の違い 22
インターネット通信における注意点 23
インターネット通信について 18
インターネット通信の基本機能 18
インターネットに接続するための事前準備 13
インターネットパラメーターの取り出し 80
インターネットパラメーターの
　メールリモート登録 77
インターネットパラメーターを
　初めて登録する 78
インターネットファクス通信 18
インターネット部仕様 117
インターネットメール受信 18

◆え
エラーメッセージを送付先へ送る 115

◆お
主なエラーコード 113
主な仕様 117
主なメッセージ 114

◆か
各部の名前と働き 24

◆け
原稿台ガラスから送信する 35

◆こ
コントロールパネル 26
こんなときには 113

◆し
自局情報の登録 109
自局登録の種類（インターネット用） 110
システム登録一覧表 112
システム登録のしかた 111
システムの登録 111
受信のしかた 43
正面・右側面図 24

◆そ
送達確認 52
送達確認の設定 52

◆た
ダイヤル登録操作フロー 65
ダイヤルの登録 65
短縮ダイヤルで送る 29
短縮ダイヤルの登録 73, 102, 108

◆ち
中継局の自局情報の登録 97
中継局の登録 105
直接ダイヤルで送る 28

◆つ
通信管理レポート送信 51
通信管理レポート送信の設定 51
通信管理レポートの取り出し 95

◆と
登録済メールアドレスの消去 76
登録済メールアドレスの変更 75

◆ね
ネットワークスキャナー 20, 56
ネットワークプリンター 20, 57

◆は
背面・左側面図 25
バックアップまたは取り出しをした
　インターネットパラメーターの編集 83
バックアップまたは取り出しをした
　ワンタッチ／短縮ダイヤルの編集 92

◆め
メールアドレスを組み合わせて送る 32
メールアドレスを自動検索して送る 31
メールリモート登録 77
メールリモートの登録 96
メモリー転送 19, 53
メモリー転送の設定 53
メモリー転送の解除 55

◆も
文字入力の例 69
文字割り当て一覧 68

◆よ
用語の説明 118

◆り
リモート登録失敗時のエラーメッセージ 116
リモート登録時のエラーメッセージ 115

◆る
ルーティング 19, 50
ルーティングの設定 50
ルーティングの登録 107

◆わ
ワンタッチダイヤルの登録 71, 99, 107
ワンタッチ／短縮ダイヤル全体の削除 87
ワンタッチ／短縮ダイヤルデータの
　取り出し 90
ワンタッチ／短縮ダイヤルのメール
　リモート登録 86
ワンタッチ／短縮ダイヤルを
　初めて登録する 88
ワンタッチボタンで送る 30
ワンタッチボタンによる POP 受信 49

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ年月日	年　　月　　日	品番　UE-404083
販　売　店　名	☎　（　　）　　-	
サ　ー　ビ　ス 実 施 会 社 名	☎　（　　）　　-	

松下電器産業株式会社
松下電送システム株式会社

DZSD001700-0
K0202-0